

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
	(1) 学生確保の見通し	2
	1) 定員充足の見込み	2
	2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
	3) 学生納付金設定の考え方	8
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	8
2	人材需要の動向等社会の養成	9
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	9
	(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠...9	
	1) 持続可能社会の構築に関する人材育成の国際的な状況・動向	9
	2) 持続可能社会の構築に関する人材育成のわが国における状況	10
	3) 持続可能社会の構築に関する人材育成の社会的ニーズ	11
	4) 関係業界との連携体制	14

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

1) 定員充足の見込み

持続可能社会創成学環は、令和4年に設置予定の人文社会芸術総合研究科（改組前人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科，芸術文化学研究科）と理工学研究科（改組前 理工学教育部）の連係により設置する研究科等連係課程実施基本組織であり，入学者の属性についても基本的には連係元の組織とほぼ同じとなることを想定している。本学環への入学者は，連係元となる人文社会芸術総合研究科及び理工学研究科の母体である学部を卒業した学生並びに他大学の経済学系学部を卒業した学生を想定している。

そのため，入学定員の設定に当たっては，本学環が設置された際にストレートで入学することが見込まれる学内外の学士課程3年次の学生を中心に実施したアンケート結果に基づき，人文社会芸術総合研究科と理工学研究科の内数として，18名（人文社会芸術総合専攻8名及び理工学専攻10名）に設定した。（表1）

表1 持続可能社会創成学環 プログラム別の募集人数

プログラム名	募集人数
社会データサイエンスプログラム	8
グローバルSDGsプログラム	10
総計	18

①学内学生に対するアンケート結果，②学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果，③改組前の組織全体の入学者の実績の3つの観点から総合的に判断すると，本学環の入学定員18名は，充足できる見込みがあるといえる。

①学内学生に対するアンケート結果

本学環が設置された際にストレートで入学することが見込まれる本学の4年制学士課程の3年次の学生（令和3年1月時点）を中心にアンケートを実施した。アンケートの結果，持続可能社会創成学環（アンケート実施時「持続可能社会連係課程群」）の下に置く2つのプログラムに「ぜひ入学したい」と回答した人数は，社会データサイエンスプログラム5.5名相当，グローバルSDGsプログラム12.2名相当の合計17.7名相当である。

②学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

連係元の1つである人文社会芸術総合研究科の経済系については、近隣大学の経済系学部等からの進学実績があることからこれらの大学・学部等に対し、共創経済プログラム及び持続可能社会創成学環に対するアンケート調査を実施した。その結果、社会データサイエンスプログラムに7名、グローバルSDGsプログラムに4名、合計11名から「ぜひ進学したい」との回答があった。

③改組前の組織全体の入学者の実績

本学環の連係元の研究科の改組前の組織である人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科、芸術文化学研究科及び理工学教育部の平成28年から令和2年度の5年間の平均の入学者実績は表3のとおりである。

表3 H28-R02年度 改組前組織全体の入学者実績

研究科名	入学者数（年平均）	平均定員充足率
人文科学研究科	9名	1.08倍
人間発達科学研究科	12名	0.97倍
経済学研究科	19名	1.04倍
芸術文化学研究科	8名	1.00倍
理工学教育部	217名	1.25倍
合計	265名	1.07倍

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①学内学生に対するアンケート結果

本学環が設置された際にストレートで入学することが見込まれる本学の4年制学士課程の3年次の学生（令和3年1月時点）を中心に、オンラインによる説明会を実施の上、学内のMoodleシステムを活用しアンケートを実施した（資料1, 2）。また、アンケート時は文理融合型データサイエンス研究科連係課程及びグローバルSDGs研究科連係課程の設置を想定し、両研究科連係課程を持続可能社会連係課程群と総称していたが、その後の検討の結果、新たに設置する新組織を社会データサイエンスプログラム及びグローバルSDGsプログラムからなる「持続可能社会創成学環」と変更している。学環内のプログラムとなったもののプログラムの趣旨、概要及び教育内容等は、アンケート時の連係課程群の構想内容とほぼ相違無いものである。

アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

持続可能社会連係課程群 → 持続可能社会創成学環

文理融合型データサイエンス研究科連係課程 → 社会データサイエンスプログラム

グローバルSDGs研究科連係課程

→ グローバルSDGsプログラム

アンケートへの回答は、合計1,575件あり、うち1,250件が4年制学部の3年次の学生である。アンケート実施時における4年制学部3年次学生は1,753名であるため、回答率は71.3%である。

持続可能社会創成学環の下に置く2つのプログラムに「ぜひ入学したい」と回答した者の数は、次のとおりである。

社会データサイエンスプログラム	5名
グローバルSDGsプログラム	12名
合計	17名

なお、今回の全学的な大学院改組では、2つ以上の研究科の緊密な連係による研究科等連係課程実施基本組織を設置する構想としており、連係元の研究科と研究科等連係課程実施基本組織との間で、はっきりと決めきれない学生が出るのが想定されたため「②いどのプログラム・研究科連係課程にするか迷っている」の選択肢を設け、具体的な組合せを回答させている。この回答を選択した場合は、組合せの内容を按分してそれぞれのプログラム等に加算した。按分したものを加算した結果は、次のとおりである。

社会データサイエンスプログラム	5.5名
グローバルSDGsプログラム	12.2名
合計	17.7名

グローバルSDGsプログラムは、学内からの希望者だけで募集予定人数10名を超えるのに対して、社会データサイエンスプログラムは募集予定人数8名を下回っている。しかし、後述するように、学外者へのアンケートで、社会データサイエンスプログラムに7名、グローバルSDGsプログラムに4名希望者がいるため、両プログラムとも十分に定員を充足できるものとする。

また、本学環に入学を希望すると回答した本学の学部3年生の所属を人社芸術系（人文学部、人間発達科学部、経済学部、芸術文化学部）と理工系（理学部、工学部、都市デザイン学部）に大別すると、次のとおりである（表4）。

表4：本学環に入学を希望する本学学部3年生の学部の種別

プログラム名等	人社芸術系	理工系	合計
社会データサイエンスプログラム	1	4.5	5.5
グローバルSDGsプログラム	3	9.2	12.2
学環合計	4	13.7	17.7

さらに、富山大学の新しい大学院構想について「関心がある」と答えた1,088件のうち、「持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること」に関心を持ったと答えた回答が47件、「データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること」に関心を持ったと答えた回答が29件あり、本学環に対する学生の関心が高いことが伺えた。さらに、「高度なスキル・リテラシーが学べること（193件）」「分野の連携と融合が進んでいること（319件）」、「分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること（141件）」などについても学生の関心が高く、本学環で強力に推し進めるデータサイエンス力の強化、文理融合教育・研究、分野の異なる副指導教員による多角的な研究指導などは、学生の関心にも沿っていた。

また、「学部卒業後は進学せず就職」を選択した学生のうち、就職後、働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として入学したいプログラムについて回答を求めたところ、回答があった519名のうち、13名が社会データサイエンスプログラム、28名がグローバルSDGsプログラムへの入学を希望していた。本学環では、高度な専門能力を身に付けたいと考える社会人の大学院入学にも対応できるよう、講義や演習、実習による学修に重きを置き、特別研究の学修時間が従来に比べて少ないカリキュラムを両プログラムに共通して設けている。

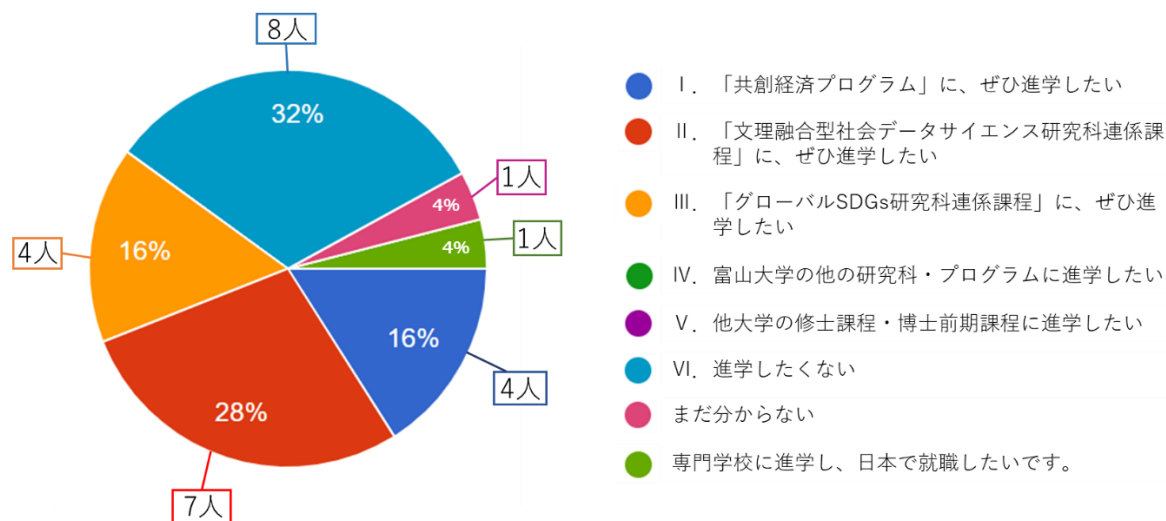
②学外者へのアンケート結果

本学環の係元である人文社会芸術総合研究科の中でも主たる係として想定している経済学分野の改組元である経済学研究科は、学外からの進学者が極めて多いため、国内において進学実績のある近隣大学の経済系学部等に対し、共創経済プログラム及び持続可能社会創成学環に対するアンケート調査を実施した。その結果、社会データサイエンスプログラムに7名、グローバルSDGsプログラムに4名、合計11名から「ぜひ進学したい」との回答があった。

学外者からの入学希望に加え、前述の学内者へのアンケート結果を総合すると、社会データサイエンスプログラムは13名、グローバルSDGsプログラムは16名の進学ニーズが見込まれる。グローバルSDGsプログラム（募集予定人数10名）及び社会データサイエンスプログラム（募集予定人数8名）のいずれも十分に定員を充足できるものとする。

【アンケート結果抜粋】

7. あなたが、ぜひ進学したいと思うプログラム・関係課程はどれですか。



h

④改組前の組織全体の入学者の実績

本学環の係元となっている理工学研究科と人文社会芸術総合研究科の改組元の組織の過去5年間の入学志願状況は、表6のとおりである。人社芸術系研究科（人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科，芸術文化科学研究科）の過去5年間の平均入学者数の合計は48人（入学定員充足率1.04倍），理工学教育部では，272名（入学定員充足率1.25倍）であり，既存の組織における定員充足率は十分確保されている。

学生は，人文学部，経済学部，芸術文化学部に対応した人文社会芸術総合研究科や理学部，工学部，都市デザイン学部に対応した理工学研究科等，既設の学部に対応した研究科だけでなく，これらの研究科の係により設置し横断的・融合的教育を行う，持続可能社会創成学環や医薬理工学環にも各自の興味と志望に基づき進学することとしている。

人文社会芸術総合研究科は入学定員の38名に加え本学環の入学定員として8名，理工学研究科は入学定員の249名に加え本学環の入学定員として10名，医薬理工学環の入学定員として29名をそれぞれ設定している。よって，人文社会芸術総合研究科と本学環との入学定員の比率は38：8となり，理工学研究科と本学環及び医薬理工学環との比率は249：10：29となる。本学環の係元の人文社会芸術総合研究科は，現在の人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科及び芸術文化科学研究科からの改組により，理工学研究科は，理工学教育部からの改組により設置する研究科であり，本学環の入学者の属性についても基本的には，係元の改組前の組織とほぼ同じとなることを想定している。

本学環への入学者数について，人文社会芸術総合研究科と本学環，理工学研究科と本学環，医薬理工学環の入学定員比率を踏まえて按分すると，人社芸術系研究科（人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科，芸術文化科学研究科）の過去5年間の平均入学

者数の実績においては、8.3名(48名×8/46名)、理工学教育部では、9.4名(272名×10/288名)の計17.7名が本学環に入学することがおおよそ想定される。

前述の学内学生及び学外学生に対するアンケート結果から想定される進学者数も踏まえると、十分に定員充足の見込があると考えられる。

表6：理工学教育部，経済学研究科，人文科学研究科，人間発達科学研究科及び芸術文化科学研究科の過去5年間の入学志願状況

研究科等名	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均	
理工学教育部	理学領域	志願者数	106	98	116	98	84	100
		受験者数	104	94	112	93	80	97
		合格者数	95	86	95	86	74	87
		入学者数	84	76	87	77	61	77
		入学定員	64	64	64	64	64	64
		入学定員充足率	1.31	1.19	1.36	1.20	0.95	1.20
	工学領域	志願者数	216	202	221	234	225	220
		受験者数	210	200	215	227	221	215
		合格者数	197	192	211	218	211	206
		入学者数	192	178	199	205	202	195
		入学定員	153	153	153	153	153	153
		入学定員充足率	1.25	1.16	1.30	1.34	1.32	1.28
	合計	志願者数	322	300	337	332	309	320
		受験者数	314	294	327	320	301	311
		合格者数	292	278	306	304	285	293
		入学者数	276	254	286	282	263	272
		入学定員	217	217	217	217	217	217
		入学定員充足率	1.27	1.17	1.32	1.30	1.21	1.25
経済学研究科	志願者数	27	29	24	25	29	27	
	受験者数	27	29	24	25	28	27	
	合格者数	17	23	19	19	23	20	
	入学者数	16	23	19	17	19	19	
	入学定員	18	18	18	18	18	18	
	入学定員充足率	0.89	1.28	1.06	0.94	1.06	1.04	
人文科学研究科	志願者数	11	8	11	12	13	11	
	受験者数	11	7	11	11	13	11	

	合格者数	10	7	11	9	10	9
	入学者数	9	6	11	8	9	9
	入学定員	8	8	8	8	8	8
	入学定員充足率	1.13	0.75	1.38	1.00	1.13	1.08
人間発達 科学 研究科	志願者数	11	16	12	17	18	15
	受験者数	11	16	11	16	18	14
	合格者数	11	15	11	15	13	13
	入学者数	10	14	8	15	11	12
	入学定員	12	12	12	12	12	12
	入学定員充足率	0.83	1.17	0.67	1.25	0.92	0.97
芸術文化 学研究科	志願者数	10	11	18	12	14	13
	受験者数	10	9	16	12	14	12
	合格者数	9	8	9	9	10	9
	入学者数	9	8	9	7	7	8
	入学定員	8	8	8	8	8	8
	入学定員充足率	1.13	1.00	1.13	0.88	0.88	1.00

3) 学生納付金設定の考え方

「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に基づき、本学が定める「富山大学における授業料その他の費用に関する規則」（資料4）のとおり、年額535,800円を設定する。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学環は、学生確保に向けて、養成する人材像や当該人材を育成するための特徴的なカリキュラム等を紹介すべく、プログラム毎に動画を作成し、令和3年1月にMoodleを活用したオンデマンド形式の説明会を実施した。今後、本学環の公式ウェブサイトを開設するほか、パンフレットを作成し、学内外に配布する。さらに、大学院進学・入学説明会を、会場形式・オンライン形式の両方で開催し、積極的に広報するとともに、本学環の魅力を積極的にアピールする。

また、本学環の入学者として想定している留学生に向けて、本学学長裁量経費を利用し、「Withコロナ時代に生き残る～地域に根差す大学の教育国際化推進事業」として、新たに大学教育の国際化に関する取組の可視化を推進させる。具体的には、YouTubeなどの動画サイトやSNS情報発信ツールやウェブページの整備を通して、若い学生の感性を組み込みながら動画や画像を作成し、多言語（中国語、ベトナム語、タイ語、ラオス語など）によるコロナ禍での富山県における学生生活について国際的な情報の発信と拡散によって

留学生の確保に努める。

2 人材需要の動向等社会の養成

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

持続可能社会創成学環では、経済、社会、環境が調和した「持続可能社会」の構築に貢献できる高度専門職業人の養成を目的とし、理工学と人文・社会科学の研究科が連携しながら文理の枠を超えた教育・研究を提供する。現代社会が抱える諸課題の解決に「地域」と「地球規模」の両方の視点から取り組むことのできる高度人材を育成するために、主に地域の課題に着目して、データサイエンスや人工知能といった基盤学術分野に重きを置いて教育する「社会データサイエンスプログラム」と、主に国際的な課題に対して超学際的なアプローチによる教育を施す「グローバルSDGsプログラム」から構成される、「持続可能社会創成学環」を設置する。本学環では、学術分野の異なる多様な教員が参画する学環共通科目や学生の多様なニーズに応えうる学術的に多彩なゼミナールを多く設けることで、持続可能社会の実現に必要な専門的知識を異なる多様な観点から分野横断的に学修する機会を提供し、本学環の目的とする人材を育成する。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 持続可能社会の構築に関する人材育成の国際的な状況・動向

持続可能社会の実現は人類全体の究極的な目標であり、「地域」と「地球規模」の諸課題解決に資する人材の社会的、地域的な需要は極めて高い。このような社会的ニーズを背景として、細分された学術分野の専門性を深めることを目的とした従来の学術分野に区分された教育ではなく、自然科学的認識と社会科学の認識の共存をもって、持続可能な社会構築に資する超学際的な高度専門職業人を育成する教育プログラムが国内外の高等教育機関において急速に増加・発展しているのが現状である。

①社会データサイエンスプログラム

データサイエンスや人工知能分野の人材育成の推進は世界中の初等中等教育、高等教育、社会人のリカレント教育の現場で劇的な教育改革が進行中である。データコンサルタントを必要とする分野は多岐に渡るため、例えば、米国では学生に最も人気のある職業のひとつとして、年間4,000人以上の統計学の修士を輩出している（アメリカ統計学会 American Statistical Association ホームページ）。一方、わが国では、研究室単位の教育から脱却できないことが主な要因となり、体系的なデータサイエンス教育の提供に関して大きく出遅れている。

②グローバルSDGsプログラム

サステナビリティ学は近年誕生した超学際的な学術であり、国際科学会議（ICSU）国際地球圏生物圏プログラム（1987年～2015年）が主催する世界会議「変化する地球の

挑戦2001」で紹介されて以来、欧米を中心とした世界中の高等教育機関でカリキュラム開発がなされている。現状では、学部課程プログラムとして10件（アメリカ、イギリス、ドイツ、オランダ、マレーシア）、大学院プログラムとして34件（アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、オランダ、スウェーデン、フィンランド、ブラジル、メキシコ、マレーシア）が確認できる。サステイナビリティ学の学術的な本質を考慮すると、定義された「国」の境界を越えた学生間の学術的な協調が必須となるため、今後も世界中の高等教育機関で当該学術分野のプログラム設置が急増することが予測される。

2) 持続可能社会の構築に関する人材育成のわが国における状況

内閣に設置された持続可能な開発目標（SDGs）推進本部により示された「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、国内における経済、社会、環境の分野での課題にも、またこれらの分野を横断する課題にも、取組を強化するのみならず、国際社会全体の課題としても取り組む必要があると明言されている。国内大学でも、この指針に従った実務に従事する人材育成を目的とした教育プログラムの開発が推進することが予想される。また、人口減少・超高齢化社会、デジタルサイエンスの発展という時代背景のもと、課題解決には仮想空間と現実空間を高度に融合するもの（Society5.0）が求められており、データサイエンス・AIを課題解決に活用できる高度人材の育成を目的とした教育に関しても体系的な取り組みが加速している。

①社会データサイエンスプログラム

数理・データサイエンスの社会的な重要性の高まりを背景に、国の「AI戦略2019」では、i) 文理を問わず、全ての大学・高専生約50万人卒/年が初級レベルの能力を習得すること、ii) 大学・高専生約25万人卒/年が自らの専門分野への応用基礎力を習得することが目標として掲げられている。富山大学では、2020年度以降に入学する全ての学部学生に対して数理・データサイエンス教育を必修化するとともに、関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス教育プログラム」を開設した。また、文部科学省が数理・データサイエンス教育の全国の大学への普及・展開の加速化を図るために設置した協力校として、本学の取組「数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及」が選定され、2020年度より2年間、本学が事業を総括し、金沢大学及び福井大学と連携しながら、ノウハウの共有や授業科目の提供（単位互換）等を行い、北陸地区の高等教育機関への普及を図っている。

②グローバルSDGsプログラム

国際的な広い観点から、持続可能な社会の実現に必要なサステイナビリティ学を学修し、分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身に付け、持続可能社会の構築・SDGsの達成に貢献できる人材育成のわが国における重要性は前述のとおりである。日本におけるサステイナビリティ学の提唱者は小宮山宏第28代東京大学総長であり、

地球システム、社会システム、人間システムの3つのシステム間の相互作用を主要な研究対象とすることを示している。この文理融合した超学際的学術を構築するため、各参加大学を結んだネットワーク型の連携機構としてサステナビリティ学連携研究機構（東京大学、京都大学、大阪大学、北海道大学、茨城大学）が構想され発足した（2005年）。その後、東京大学政策ビジョン研究センターと統合し、東京大学未来ビジョン研究センターが設置されるに至っている。また、2016年度より法政大学大学院においても、公共政策研究科サステナビリティ学専攻（修士課程、博士後期課程）が設置されている。この様に、持続可能社会の構築に資する人材育成プログラムとしても、サステナビリティ学はわが国において定着し始めている。また、本プログラムで導入する特色のひとつであるバイリンガル教育体制も国内大学の様々な学術分野の大学院で浸透しており成果を挙げている。

3) 持続可能社会の構築に関する人材育成の社会的ニーズ

環境、経済、社会の相互に絡み合っている諸課題に対して、分野横断的アプローチを通じて解決策を提示することができる人材は、国内外官公庁、地方自治体、関連企業、教育機関、研究者等として社会的ニーズが高く、今後益々高まることが予想される。修了者の活躍の場として期待される企業側からの評価を確認するため、平成29年度から令和元年度に、人社芸術系学部（人文学部、経済学部、人間発達科学部、芸術文化学部）、大学院を卒業・修了した者を3名以上採用した企業等143社・機関、及び理工系学部・大学院、創薬科学科・創薬科学専攻を卒業・修了した者を2名以上採用した企業等、又は1名採用で富山県、石川県、愛知県に本社又は事業所等がある企業等428社・機関にアンケート調査を行った（資料4、5）。その結果、文系、理系、文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待するかという設問に対して、「期待する」「やや期待する」との回答が得られた割合は以下のとおりである。

採用する社員に期待する能力	回答
対象分野における高度な専門知識と運用能力	93%
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	95%
論理性や批判的思考に関する能力	90%
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	97%
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	96%
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	66%
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	98%
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	61%
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	80%
データ処理、分析、活用能力	90%

研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	81%
---------------------	-----

本学環で特色として強調している、「自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力」「データ処理、分析、活用能力」「高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力」に対して高い社会的ニーズがあることが伺い知れる。以上のことから、本学環が育成する人材は、企業の多くが求めている人材と一致しており、当該人材に対する社会的需要は高いと判断できる。

①社会データサイエンスプログラム

本プログラムの特徴は、富山市をはじめとする行政機関や民間企業と課題やデータを共有し、データサイエンス・AIを活用して、より実践的な課題解決に取り組む点にある。この様なアプローチでデータサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材の育成は地域社会の活性化にも繋がる。社会においても自己のバックグラウンドを活かして、データサイエンス・AIを課題解決に活用できる高度人材の需要は高い。また、本プログラムではリカレント教育も重視しており、地方公共団体の行政職や企業に在籍する社会人の入学者が、地域や在籍企業が直面する実際の課題を修士論文テーマと位置付けて課題解決を行うことができるように配慮している。修士2年では、在籍企業に就労しながら修士研究に取り組むことも可能である。

企業を対象としたアンケートにおいて(資料4, 5),「地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか」という設問に対し、84%(82企業・団体)が「評価できる」という回答している(図1の設問1)。「設置構想は、客観的に判断して評価できますか」という設問に対しても、79%(77企業・団体)が「評価できる」と回答している(図1の設問2)。また、社会データサイエンスプログラムが設置された場合、当該大学院の修了者の採用について、「採用したい」が67%(65企業・団体)であった(うち「積極的に採用したいが」24%(22企業・団体))(図1の設問3)。さらに、「大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか」という設問に対しては、27%が「幅広く仕事に活用できる技能(データ分析など)を習得できる内容」を希望している。以上のことから、本プログラムが育成する人材の社会的需要は高い。

設問1：地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか

設問2：社会データサイエンスプログラムの改組構想は、客観的に判断して評価できますか

設問3：社会データサイエンスプログラムが設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか

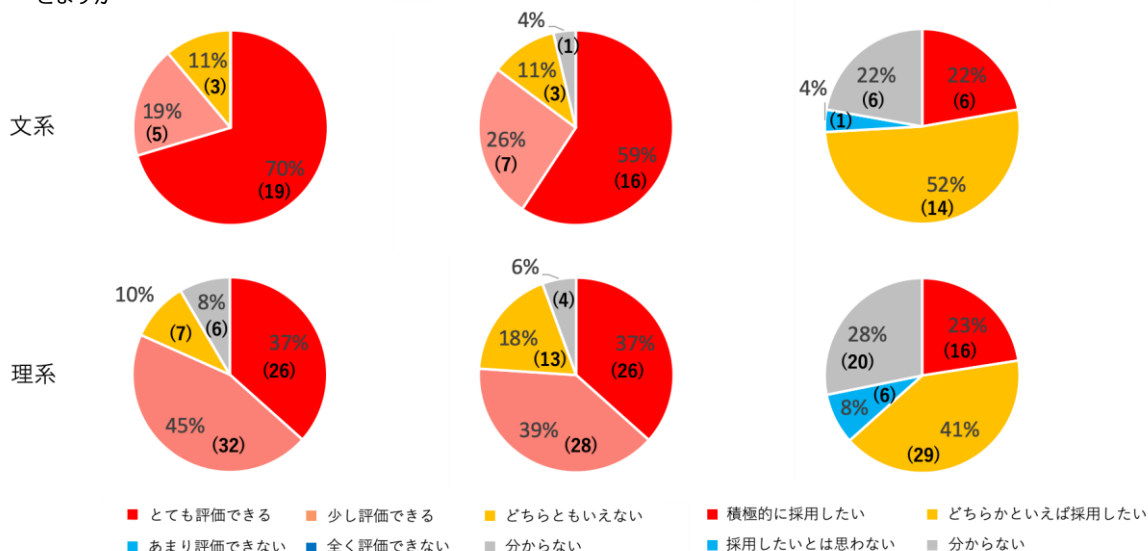


図1：富山大学の卒業生（学部卒業生および大学院修了者）を採用した企業等428社・団体を対象としたアンケート調査結果。括弧内の数字は回答した企業・団体等の実数。

②グローバルSDGsプログラム

本プログラムは「One Planet, One Health」をキャッチフレーズとして、地球持続ビジョンと国際的視点を持ち、国際社会が抱える様々な課題に対して柔軟に対応し、解決していく人材育成を目的としている。中核市としての都市環境と高度差4000 mの自然環境という多様なフィールドを活用して、持続可能社会を目指す上での多岐にわたる課題に対する対応力と問題解決能力を身につける機会を提供できる点にも特色がある。また、地域社会でグローバルに活躍できる多様な国籍のバイリンガル人材育成も特徴のひとつである。

上述の企業を対象としたアンケート結果を集計したところ（資料4、5）、グローバルSDGsプログラムにおいて、「国際的な広い観点からSDGsを学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか」という設問に対して、87%（85企業・団体）が「評価できる」と回答している（図2の設問1）。「グローバルSDGsプログラムの設置構想は、客観的に判断して評価できますか」という設問に対して、「評価できる」とした回答は85%（83企業・団体）である（図2の設問2）。また、グローバルSDGsプログラムが設置された場合、当該大学院の修了者の採用について、採用したいが60%（58企業・団体）、内積極的に採用したいが22%（20企業・団体）であった（図2の設問3）。以上、本プログラムが育成する人材の社会的ニーズは高いといえる。

設問1 :
国際的な広い観点からSDGsを学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか

設問2 :
グローバルSDGsプログラムの改組構想は、客観的に判断して評価できますか

設問3 :
グローバルSDGsプログラムが設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか

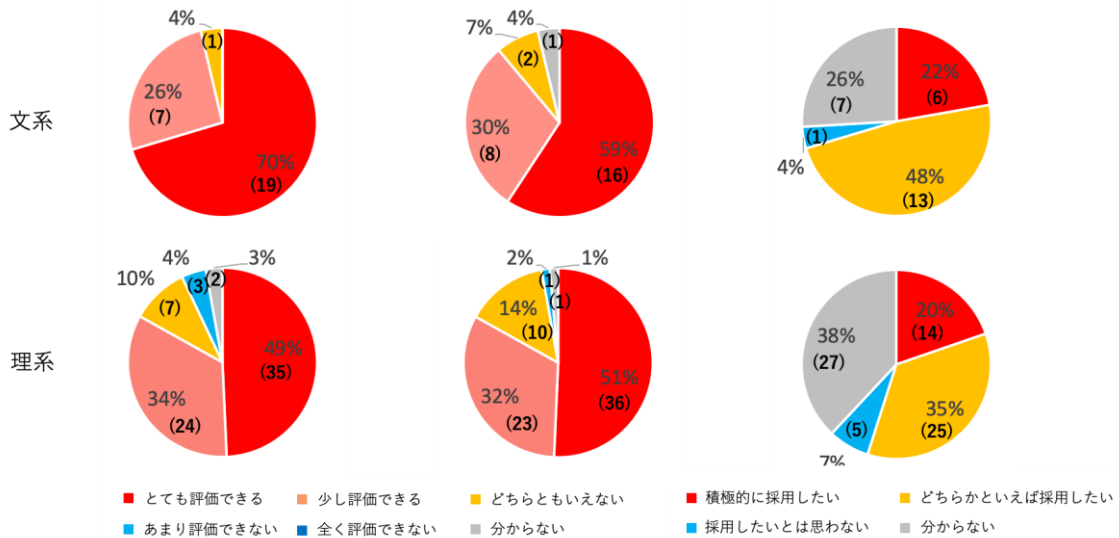


図2：富山大学の卒業生（学部卒業生および大学院修了者）を採用した企業等428社・団体を対象としたアンケート調査結果。括弧内の数字は回答した企業・団体等の実数。

4) 関係業界との連携体制

本学環では、これまで本学が構築してきた地域の行政機関や自治体、民間企業、海外協定校との連携を活用し、本学環の教育プログラムを実施する。

① 社会データサイエンスプログラム

地域の行政機関や自治体、民間企業が有するオープンデータを活用した、研究教育を実施するために、既存の企業、機関との連携を活かすと共に、それらをさらに強化、拡充する予定である。

② グローバルSDGsプログラム

海外協定校、及び、国内のサステナビリティ学を推進している教育機関と連携して本プログラムを実施する。具体的には、本学との大学間協定などを通じて関係の深い国内外の教育・研究機関から教員を積極的に招き、分野横断的な諸課題解決の取り組みを学ぶと共に、国際性を涵養できる研究指導体制を構築することも予定している。また、日本人学生・外国人留学生の双方にメリットのあるバイリンガル教育を通じ、高い語学力と高度な専門技能を有する学生を育成にも上述の連携を活用する。今後推薦入試において海外協定校枠を設け、密接かつ恒常的な海外協定校との連携を強めていく予定である。

る。さらに、研究課題の内容を鑑み、必要に応じて海外の協定校から副指導教員を選出し、共同研究指導（シングルデグリー型コチューテル）を実施する。パンデミック後の社会への適応を考慮した遠隔の研究指導体制を海外協定校と連携することで構築し、これまでとは異なる格段に視座の広いグローバルな研究指導体制の導入を目指す。

資料目次

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

- 資料1 在学を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート結果・・・17
- 資料2 富山大学大学院人社芸術総合研究科（仮称）及び持続可能社会関係課程群（仮称）の進学に関する調査・・・48
- 資料3 富山大学における授業料その他の費用に関する規則・・・57
- 資料4 企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート結果・・・64
- 資料5 企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート結果・・・87

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

- | | |
|---|---|
| <p> 人文社会芸術総合研究科 → 人文社会芸術総合研究科
 持続可能社会連係課程群 → 持続可能社会創成学環
 文理融合型データサイエンス研究科連係課程 → 社会データサイエンスプログラム
 グローバルSDGs研究科連係課程 → グローバルSDGsプログラム </p> | <p> 医薬理工連係課程群 → 医薬理工学環
 創薬・製剤工学研究科連係課程 → 創薬・製剤工学プログラム
 応用和漢医薬学研究科連係課程 → 応用和漢医薬学プログラム
 認知・情動脳科学研究科連係課程 → 認知・情動脳科学プログラム
 メディカルデザイン研究科連係課程 → メディカルデザインプログラム </p> |
|---|---|

在学生を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

富山大学に在籍する全学生

(2) 調査の方法

上記対象学生等に、ウェブ上で説明資料の提示・説明動画の上映を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。

なお、都合によりウェブ閲覧できなかった学生に対しては、必要に応じて紙媒体による説明・アンケート回答を行った。

(3) 回答数

回答数：1,575名（うち学部3年生 1,250名）

(4) 調査期間

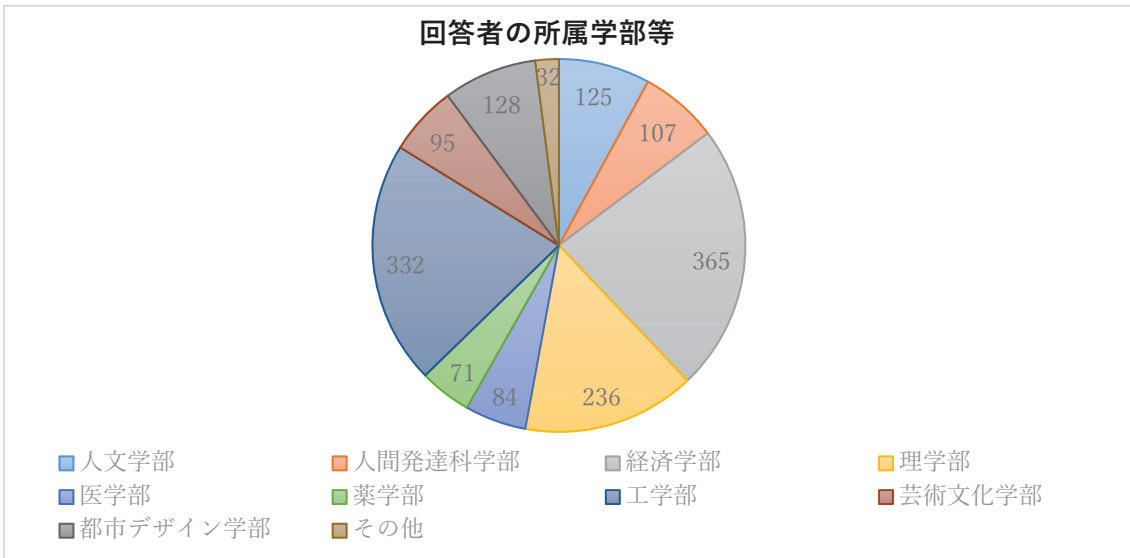
令和3年1月19日～3月1日

2. 調査結果

問1. あなたの所属を選択してください。

所属	回答数
人文学部人文学科	125
人間発達科学部発達教育学科	59
人間発達科学部人間環境システム学科	48
経済学部経済学科	119
経済学部経営学科	151
経済学部経営法学科	95
理学部数学科	38
理学部物理学科	46
理学部化学科	49
理学部生物学科	59
理学部生物圏環境科学科	44
医学部医学科	14
医学部看護学科	70
薬学部薬学科	18
薬学部創薬科学科	53

工学部工学科電気電子工学コース	77
工学部工学科知能情報工学科	75
工学部工学科機械工学コース	84
工学部工学科生命工学コース	52
工学部工学科応用化学コース	44
芸術文化学部芸術文化学科	95
都市デザイン学部地球システム科学科	33
都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	39
都市デザイン学部材料デザイン工学科	56
その他	32
合計	1,575



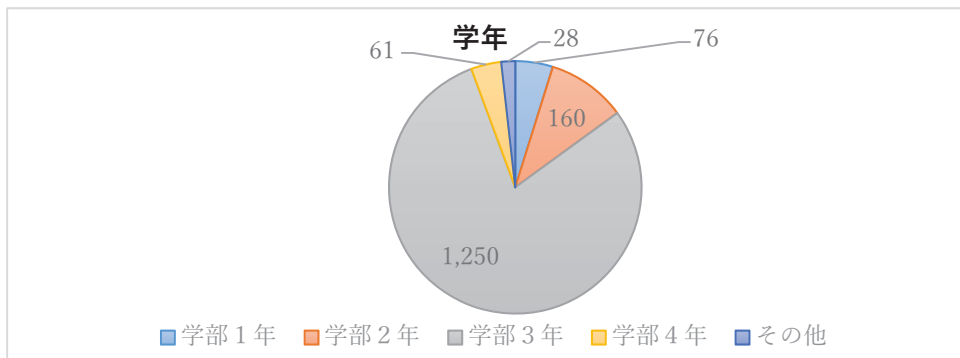
問1. その他の内訳

組織名等	回答
理学部地球科学科	4
工学部知能情報工学科	3
工学部機械知能システム工学科	4
工学部材料機能工学科	3
人間発達科学研究科	1
医学薬学教育部	1
医薬薬学教育部薬科学専攻	1
理工学教育部	2

理工学教育部数学専攻	1
理工学教育部生物圏環境科学専攻	2
理工学教育部電気電子システム工学専攻	1
理工学教育部生命工学専攻	3
理工学教育部環境応用化学専攻	1
理工学教育部材料機能工学専攻	2
生命融合科学教育部	1
教職実践開発研究科	1
無回答	1
合計	32

問2. あなたの学年を選択してください。

学年	回答数
学部1年	76
学部2年	160
学部3年	1,250
学部4年	61
その他	28
合計	1,575

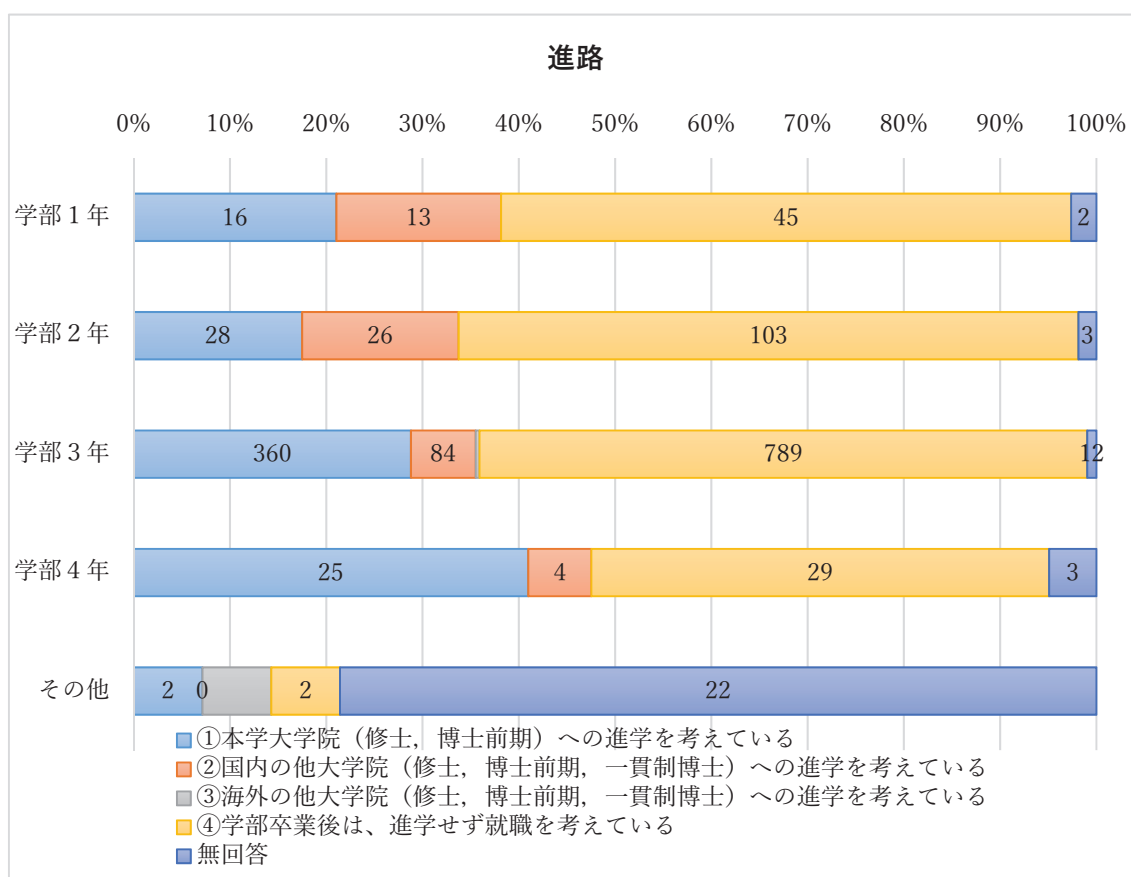


問2. その他の内訳

その他内訳	回答数
学部5年	1
学部6年	1
修士課程・博士前期課程1年	15
修士課程・博士前期課程2年	5
博士課程3年	1
博士課程4年	1
休学中	1
無回答	3
合計	28

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

進路	学部 1年	学部 2年	学部 3年	学部 4年	その 他	合計
①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている	16	28	360	25	2	431
②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている	13	26	84	4	0	127
③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている	0	0	5	0	2	7
④学部卒業後は、進学せず就職を考えている	45	103	789	29	2	968
無回答	2	3	12	3	22	42
合計	76	160	1,250	61	28	1,575



【問4～7は、学部3年のみを集計対象とする】

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科関係課程を1つ選択してください。

学内進学希望先		回答数	
① 人社芸術総合研究科心理学プログラム		4	
② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム		5	
③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム		1	
④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム		2	
⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム		1	
⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム		36	
⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム		23	
⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム		24	
⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム		33	
⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム		30	
⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム		67	
⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム		24	
⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム		15	
⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム		6	
⑮ 創薬・製剤工学研究科関係課程	医薬系	2	8
	理工系	6	
	小計	8	
⑯ 応用和漢医薬学研究科関係課程	医薬系	1	4
	理工系	3	
	小計	4	
⑰ 認知・情動脳科学研究科関係課程	医薬系	0	9
	理工系	9	
	小計	9	
⑱ メディカルデザイン研究科関係課程	医薬系	0	7
	理工系	7	
	小計	7	
⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程	人社芸術系	1	5
	理工系	4	
	小計	5	
⑳ グローバル SDGs 研究科関係課程	人社芸術系	3	12
	理工系	9	

	小計	12	
⑳どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている			33
無回答			11
合計			360

㉑の組合せ

- ・②人文・芸術プログラムと③共創経済プログラム… 3名
- ・②人文・芸術プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 1名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑯応用和漢医薬学研究科関係課程… 3名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程… 1名
- ・⑨生命・物質化学プログラムと⑮創薬・製剤工学研究科関係課程… 1名
- ・⑦数理情報学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 2名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑧物理学・応用物理学プログラムと⑪メカトロニクスプログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程と⑳グローバル SDGs 研究科関係課程… 1名
- ・⑩地球生命環境科学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑪メカトロニクスプログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 2名
- ・⑫マテリアル科学工学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑮創薬・製剤工学研究科関係課程と⑯応用和漢医薬学研究科関係課程… 3名
- ・⑱メディカルデザイン研究科関係課程と⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程… 1名
- ・具体的な組合せの回答なし 12

㉑の組合せを按分してポイント化したもの

学内進学希望先	ポイント
①人社芸術総合研究科心理学プログラム	0
②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	2
③人社芸術総合研究科共創経済プログラム	1.5
④総合医薬学研究科看護科学プログラム	0
⑤総合医薬学研究科先端医科学プログラム	0
⑥総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	2
⑦理工学研究科数理情報学プログラム	2.2
⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム	0.2
⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム	0.5
⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム	1

⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム			1.2
⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム			1
⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム			0
⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム			0
⑮創薬・製剤工学研究科連係課程	医薬系	0	2
	理工系	2	
	小計	2	
⑯応用和漢医薬学研究科連係課程	医薬系	1.5	3
	理工系	1.5	
	小計	3	
⑰認知・情動脳科学研究科連係課程	医薬系	0.5	0.7
	理工系	0.2	
	小計	0.7	
⑱メディカルデザイン研究科連係課程	医薬系	0	3
	理工系	2.5	
	人社芸術系	0.5	
	小計	3	
⑲文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	人社芸術系	0	0.5
	理工系	0.5	
	小計	0.5	
⑳グローバル SDGs 研究科連係課程	人社芸術系	0	0.2
	理工系	0.2	
	小計	0	
無効			12
合計			33

㉑のポイントを回答数に加算したもの

学内進学希望先	ポイント
①人社芸術総合研究科心理学プログラム	4
②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	7
③人社芸術総合研究科共創経済プログラム	2.5
④総合医薬学研究科看護科学プログラム	2
⑤総合医薬学研究科先端医科学プログラム	1
⑥総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	38
⑦理工学研究科数理情報学プログラム	25.2

⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム			24.2
⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム			33.5
⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム			31
⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム			68.2
⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム			25
⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム			15
⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム			6
⑮創薬・製剤工学研究科関係課程	医薬系	2	10
	理工系	8	
	小計	10	
⑯応用和漢医薬学研究科関係課程	医薬系	2.5	7
	理工系	4.5	
	小計	7	
⑰認知・情動脳科学研究科関係課程	医薬系	0.5	9.7
	理工系	9.2	
	小計	9.7	
⑱メディカルデザイン研究科関係課程	医薬系	0	10
	理工系	9.5	
	人社芸術系	0.5	
	小計	10	
⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程	人社芸術系	1	5.5
	理工系	4.5	
	小計	5.5	
⑳グローバル SDGs 研究科関係課程	人社芸術系	3	12.2
	理工系	9.2	
	小計	12.2	
合計			337

問5. 問3で「④学部卒業後は、進学せず就職」と回答した方についてお答えください。就職後、働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として入学したいプログラム・研究科関係課程がありましたら回答してください（複数選択可）。

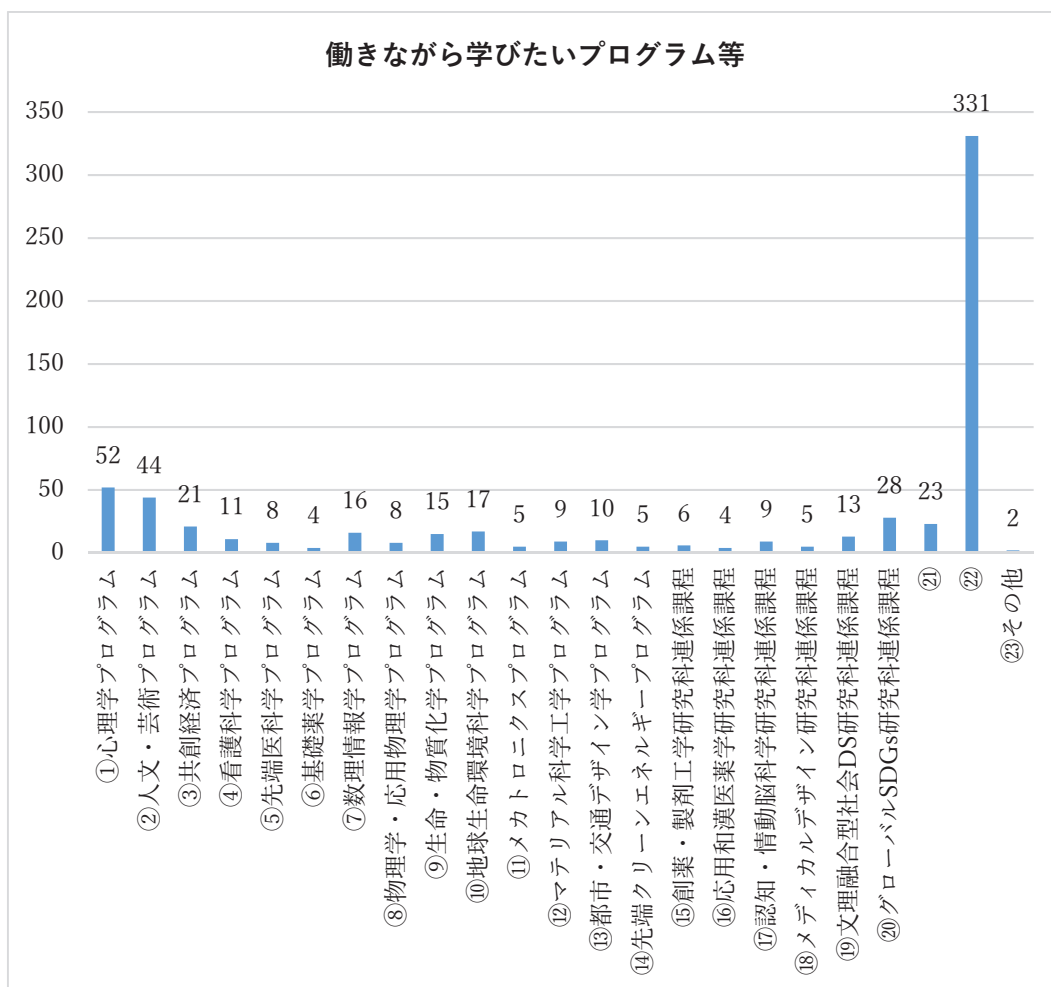
回答有無	回答数
回答あり	519
回答なし	270

【回答があった519名の回答の内訳、複数回答可】

プログラム名等	回答数
① 人社芸術総合研究科心理学プログラム	52
② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	44
③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム	21
④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム	11
⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム	8
⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	4
⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム	16
⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム	8
⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム	15
⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム	17
⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム	5
⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム	9
⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム	10
⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム	5
⑮ 創薬・製剤工学研究科連係課程	6
⑯ 応用和漢医薬学研究科連係課程	4
⑰ 認知・情動脳科学研究科連係課程	9
⑱ メディカルデザイン研究科連係課程	5
⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	13
⑳ グローバル SDGs 研究科連係課程	28
㉑ 働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として 大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない。	23
㉒ 働きながら大学院に行きたいとは思わない	331
㉓ その他	2
合計	646

問5. その他内訳

- ・教職大学院
- ・教育に関すること

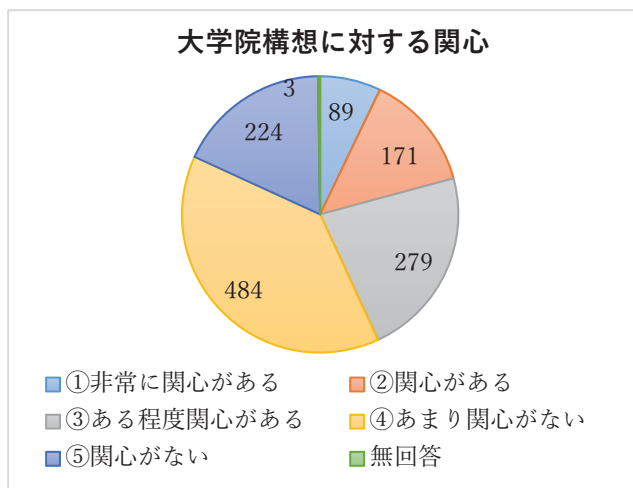


㉑…働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない

㉒…働きながら大学院に行きたいとは思わない

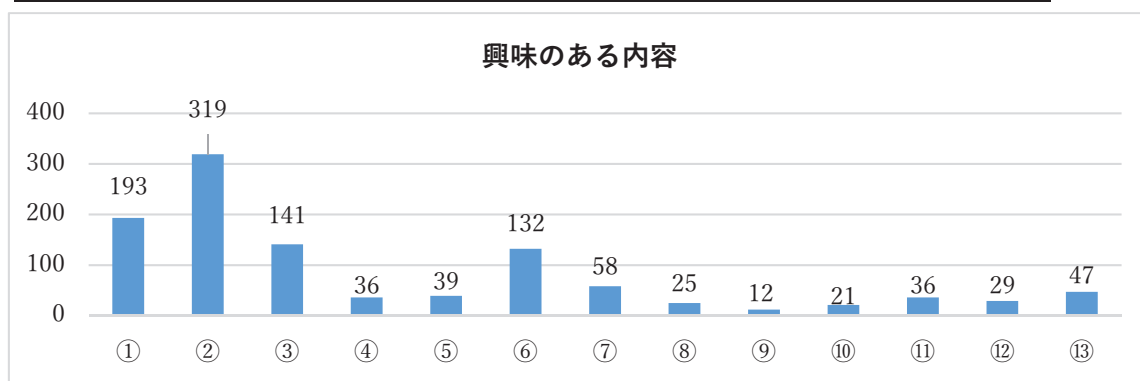
問6. 富山大学の新しい大学院構想について伺います。令和4年4月からの新しい大学院構想について、説明を聞いて（読んで）あてはまるものを選択してください。

大学院構想関心	回答数
①非常に関心がある	89
②関心がある	171
③ある程度関心がある	279
④あまり関心がない	484
⑤関心がない	224
無回答	3
合計	1,250



問7. 問6で「①非常に興味がある、②興味がある、③ある程度興味がある」のいずれかを選択した方のみお答えください。本学の大学院構想の中で、あなたが興味を持った項目にチェックしてください（複数回答可）。

興味を持った内容	回答数
①大学院共通科目が設定され、高度なスキル・リテラシーが学べること	193
②現在の学部の枠組みを超えた、分野の連携と融合が進んでいること	319
③分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること	141
④公認心理師養成課程が整備されること	36
⑤人社芸術系の大学院が実践的能力を育成することを目的とする大学院へと変わること	39
⑥理工系の大学院が理学と工学を融合させ、各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する大学院へと変わること	132
⑦医薬系の大学院が医療に関する実践的な多職種連携・協働とイノベーションにつながる包括的な医療的素養を学ぶ大学院へと変わること	58
⑧富山県の地域産業である薬業について、創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成する研究科連係課程ができること	25
⑨富山県の地域産業である薬業について、和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成する研究科連係課程ができること	12
⑩富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成する研究科連係課程ができること	21
⑪医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成する研究科連係課程ができること	36
⑫データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること	29
⑬持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること	47
合計	1,088



問8. その他意見等があれば記載してください。

【本設問については全学生のものであり、原文のまま掲載】

- ・大学も生き残るために様々なことをしなければならず大変だと思う。
- ・わかんかった
- ・早めに入学要項を提示していただきたい。
- ・大学院共通の内容項目があることは分野が広がるため興味深かった。大学生の大学院進学率が理系学部の学生の方が高いため、理解はできるが理系学部の選択肢は非常に多い中、文系学部の選択肢はそれほど広がっていないように感じた。"
- ・学部生は学部の研究室と大学院構想における各コースの繋がりによっては研究室の選び方も変わってくるので、お教えいただけると幸いです。
- ・経済学部卒業者でも数理情報プログラムに進学できるか興味があります。私は、データサイエンスを通してデータサイエンスのスキルは応用対象が経済のみならず、制御工学やコンピューターなど様々な学問に応用できると思いますしそうしたいです。なので経済学部でも数学や情報の教育を強化したほうが良いと思います。そして数理情報には経済・数学・情報工学たその他で様々な学部から募集できるようにしたほうが良いと思います。現在では、東京大学や筑波大学などではそういった経済学部出身・もしくは他学部からでも情報理工系の院進学を実現している人がいます。参考にしていただけるとありがたいです。
- ・税理士の科目免除が可能な大学院(夜間)を設けることで、北陸の優秀な社会人が集まり、互いに切磋琢磨する相乗効果が期待される。
- ・創薬科学科に入ったのは、薬学部だからこそできる研究をするためであったのに、他学部と編成されることに納得できない。
- ・心理学プログラムに臨床心理士の養成課程は設置されないのか。
- ・ぜひ大学院に行きたいです！
- ・まず富山大学の大学院には関心がない。その上でこのようなアンケートを強制的に回答させられることについても正直理解ができない。しっかりと説明をしてからアンケートは取るべきであると思う。
- ・大学院構想によって、富山大学の将来はどうなりますか。
- ・試験期間中に行って回答が集まるわけがない。興味あるが回答に時間を割けない。是非試験期間前か試験期間後に行うべきだった。
- ・名称がもっと短いとわかりやすいと思います。(書類や宣伝)内容は、詳細を記したパンフレットやHPで知らせたり、コース名でアピールするだけでも充分だと思います。
- ・早く大学院入試の要項を公開してほしい(特にGPA入試の基準GPA)
- ・学部の卒業研究での学部間の連携は考えられていますか。例えば、理学部生物学科では研究内容が医学部の基礎研究と似通った部分があり、卒業研究であっても他学部の研究室に配属できるようになれば研究の幅が広がると考えます。また、五福キャンパスと杉谷キャン

ンパスでは閲覧できる論文や資料に差があることから、五福キャンパスの生命系の学科と杉谷キャンパスの学部との連携が深まり自由な研究ができることを期待します。

- ・現在、富山大学(人間発達科学部)は公認心理師養成に対応していないのに、人間発達科学部を卒業した学生が本学の大学院で公認心理師を目指すことができるようになると捉えられるような表記の仕方は適切ではないと思った。
- ・問7にある項目は組織再編がなければできないものなのか、とは思いますが。
- ・人社芸術総合研究科人文・芸術プログラムだけ、説明資料が他に比べて詳細が記載されておらず、進学の見込みとしているので、どんな授業が行われるかも記載してほしい。
- ・幅広い分野について学び、身につけることができるのは良いことだと思いますが、以前より専門性が浅くならないか少し気がかりです。
- ・学生は期末試験を目前に控えているのだからこんな時にアンケートをしてほしくないと思いました。
- ・SDGsの研究に理工学部と経済学部との合同での取り組みには他学部ですが興味を持ちました。
- ・ただでさえ、総合大学となり肩身狭い思いをして芸術文化について学んでいるのに、更に狭い枠の中で学ぶ環境はとて息がし辛くともではないが入りたいとは思わない。芸術文化が社会貢献できるように他分野とも絡めて学ぶシステムにしたいのだろうが、学部自体も一般教養の多さに圧倒され専門分野に手がつかず一年無駄にした気持ちで、残りの3年間では技術が理想に追いつかない。一年からもっと専門的なことができるかつてのシステムの方が断然よかった。なぜカリキュラムを変えたのか未だにわからない。この状態のまま、新体制の大学院に進んだとしても技術の向上が思い通りに行く気がしない。
- ・分野の融合を意識するのは良いが、学部の教養一元化のように内容の薄い改革にならないか懸念がある。また改革自体は良い取り組みだと思うが、同時に大学院に進学しやすい環境を整える事も重要であるとあると感じる。特に奨学金を借りてる立場からすると、大学院進学はいくら能力があろうと経済的・時間的なリスクが大きいので、大学側としても出来ることは限られるだろうが、可能な限り補助が無いと進学の見込みは選べないままであると感じる。最後に繰り返すことになるが、改革自体には期待しているので、是非富山大学の強みを押し出して欲しい。
- ・新大学院構想につきまして、大変興味を持ちました。本件から少し逸れた意見となり大変恐縮なのですが、次回の大学院入試に関しまして、TOEICが必要になりますでしょうか。現在、TOEICの会場内の人数制限のため、受けたくても受けられない状況が続いております。そのため、TOEICが入試必須条件になりますと、大学院に行こうに行けない状況になってしまいますので、大学院を目指している身として、TOEIC免除か、もしくは他の資格(英検等)の代替可能といった措置を取って頂けると幸いです。
- ・現3年生が富山大学に入学する際にも、工学部の学科名称変更があったのと同様の違い程度なのだろう、と思いました。そもそも大学に3年間在籍していても、大学院で具体的

に何をしているのか、何を研究しているのかは未だに理解していません。

- ・現状まだよく分からない。(新大学院制度に関して)
- ・TOEIC のテストが抽選なので、申し込んでも未だに当選していません。推薦以外で大学院に行くためには TOEIC の点数が今年の 4 月までに必要だと聞きました。3 月 21 日にあるテストの結果発送予定が 4 月 20 日で、恐らく最後のチャンスだと思います。これも落選したら推薦以外で大学院に行けないのでしょうか。
- ・都市デザイン学部の 1 期生が卒業するタイミングに合わせた改組で、非常に良い転機であるにもかかわらず、やはり地球システム科学科と材料デザイン工学科は旧過程とおよそ変化のない進路選択となりそうで残念でした。学部としても、3 学科がうまく連携しているとは言えない現状で、学部共通科目と称して、他学科の専門科目を必修で学ばなければならないにも関わらず、結局大学院でも都市を考えるような想定がなされないのは、やはり都市交通デザイン学科のための学部新設であったと思われるのも仕方ない。「いつかどこかで役に立つ」「本当に興味があれば選ぶこと自体は可能」ではなく、目指す方向性を学部で統一してほしい。学部学生の進学に対する見通しの悪さを認識してもらいたい。
- ・入試制度はできる限り早く連絡して欲しい。
- ・データサイエンスを推し進めるにあたりスパコンなどを導入することで学外へのアピールにつながりより良いものにできるのではないかと思う。
- ・個人的に、英語で学ぶというスタイルや富山大学の強みを活かすこと、文理融合型の学びが魅力的だと思った。先進的な学習ができれば良いと思う。
- ・都市デザイン学部で行った学部共通科目の必修にデータサイエンスや PBL 系の科目があるにもかかわらず、文理融合系研究科の想定進学ルートに都市デザイン学部 3 学科すべてが入っていないのはなぜなのか。選抜方法等の早期の情報開示に期待しています。
- ・決まっているようなものにアンケートを書かせる意図がわからない。
- ・せっかく和漢薬を大学で推しているのにも関わらず蓋を開けてみれば学ぶ機会も少ないし和漢薬に関する研究室の枠も少ないのはいかがなものかと思いました。和漢薬に力を入れていると聞いて本学を選んだのに正直がっかりしました。大学院についてこのように真剣に考えることができるのならもう少し和漢薬に関する枠を増やす努力もしてほしいです。
- ・さまざま大学院の構想がありますが、何をするのかパッとわからないので、アンケートに回答しにくいも思いました。
- ・和漢医学を本格的に学べるのは国内で富山大学だけなので、医学に対する一つのアプローチ方法として理解を深めたいと強く感じました。
- ・学部時の教養科目を学ぶ期間が長かったため、専門科目について学び始める期間が始まるのが遅く感じた。大学院共通科目の内容、実施方法によっては、専門的な知識を他分野と統合し、より有益な結果を得るという目的を達成するばかりか、前提となる専門的な知識を得る場すら損なわれる可能性があると思われる。特に私自身が現在学芸員科目で高岡か

ら五福に移動する時間等不都合が生じている。人文、社会学系の学問との共通点も多く、統合については悪くないと思うが、立地上時間的な制約が増え、結果的に高岡キャンパスで活動する学生に負担が集中している現状を鑑みて大学院共通科目を実施してほしい。オンライン化が浸透した現状であれば、土地、時間的制約は乗り越えられるものであり、対面授業を強行する等不合理なことはしないでいただきたいと思う。

- ・入学時にも五福での教養や今回の件など、私たちの代は実験台なのかなと感じました。こういう大事なことは1年以上前に伝えてください。私は”第1期”というのが嫌なので、このカリキュラムが進行するなら本学での修士への進学は考えさせていただきます。
- ・急に大学院構想の話を出されても困る。もっと早めに話して欲しかった
- ・大学院の制度が変更になることを知ったのが、去年(2020)の秋で、いきなり、自分たちの代から大学院が変わると分かったので正直とまどいがあった。もう少し改変があることを事前に知りたいと思ったので、少なくとも2年前期ぐらいには知らせてほしかった。また、大学院の説明動画も難しく、理解できないところも多かったので、もっとわかりやすく単純な形にしてほしい。
- ・youtube配信だと見る気が失せるので、やっぱり説明会は対面ですべきだと思いました。よく理解できました。
- ・選んだ研究科によって何が大きく変わるのかよく分からなかった。(授業が変わるのか、研究室での活動に変化はあるのか・・・)「基礎薬学プログラム」という名前は他の研究科に比べて第一印象があまりよくないのかなとおもいました。何も知らない企業の人から見たら他の研究科の方がすごそうに思います。
- ・創薬科学科の定員数が減少することですが、その際長らく残っている悪しき慣習である研究所の最低枠廃止をしないと学生の自主性を更に損なわれて大学院の構造も変化してしまいます。カリキュラム改革をするのであれば、最低枠を含めた弊大に残っている自主性を阻むような制度も見直すべきだと考えております。

在学生対象 調査票

問1. あなたの所属を選択してください。

- 人文学部人文学科
- 人間発達科学部発達教育学科
- 人間発達科学部人間環境システム学科
- 経済学部経済学科
- 経済学部経営学科
- 経済学部経営法学科
- 理学部数学科
- 理学部物理学科
- 理学部化学科
- 理学部生物学科
- 理学部生物圏環境科学科
- 医学部医学科
- 医学部看護学科
- 薬学部薬学科
- 薬学部創薬科学科
- 工学部工学科電気電子工学コース
- 工学部工学科知能情報工学コース
- 工学部工学科機械工学コース
- 工学部工学科生命工学コース
- 工学部工学科応用化学コース
- 芸術文化学部芸術文化学科
- 都市デザイン学部地球システム科学科
- 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
- 都市デザイン学部材料デザイン工学科
- 上記以外の所属 ()

問2. あなたの学年を選択してください。

- 学部1年
- …
- 学部4年
- その他 ()

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

- ①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている
- ②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ④学部卒業後は、進学せず就職を考えている

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科関係課程を1つ選択してください。

人社芸術総合研究科

- ①心理学プログラム
- ②人文・芸術プログラム
- ③共創経済プログラム

総合医薬学研究科

- ④看護科学プログラム
- ⑤先端医科学プログラム
- ⑥基礎薬学プログラム

※6年制学科に対応した博士課程は、令和6年4月設置に向けて構想中です。

理工学研究科

- ⑦数理情報学プログラム
- ⑧物理学・応用物理学プログラム
- ⑨生命・物質化学プログラム
- ⑩地球生命環境科学プログラム
- ⑪メカトロニクスプログラム
- ⑫マテリアル科学工学プログラム
- ⑬都市・交通デザイン学プログラム
- ⑭先端クリーンエネルギープログラム

医薬理工関係課程群

- ⑮創薬・製剤工学研究科関係課程
- ⑯応用和漢医薬学研究科関係課程
- ⑰認知・情動脳科学研究科関係課程
- ⑱メディカルデザイン研究科関係課程

持続可能社会関係課程群

- ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程
- ⑳グローバルSDGs研究科関係課程
- ㉑どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている
迷っている組み合わせ

()

- ②関心がある
- ③ある程度関心がある
- ④あまり関心がない
- ⑤関心がない

問7. 問6で「①非常に関心がある、②関心がある、③ある程度関心がある」のいずれかを選択した方のみお答えください。本学の大学院構想の中で、あなたが関心を持った項目にチェックしてください（複数回答可）。

- ①大学院共通科目が設定され、高度なスキル・リテラシーが学べること
- ②現在の学部の枠組みを超えた、分野の連携と融合が進んでいること
- ③分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること
- ④公認心理師養成課程が整備されること
- ⑤人社芸術系の大学院が実践的能力を育成することを目的とする大学院へと変わること
- ⑥理工系の大学院が理学と工学を融合させ、各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する大学院へと変わること
- ⑦医薬系の大学院が医療に関する実践的な多職種連携・協働とイノベーションにつながる包括的な医療的素養を学ぶ大学院へと変わること
- ⑧富山県の地域産業である薬業について、創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑨富山県の地域産業である薬業について、和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑩富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑪医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑫データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑬持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステイナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること
- ⑭その他（）

問8. その他意見等があれば記載してください。

富山大学大学院 改革・再編の構想

富山大学 理事（改革担当）・副学長
井上 将彦

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化学研究科

大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

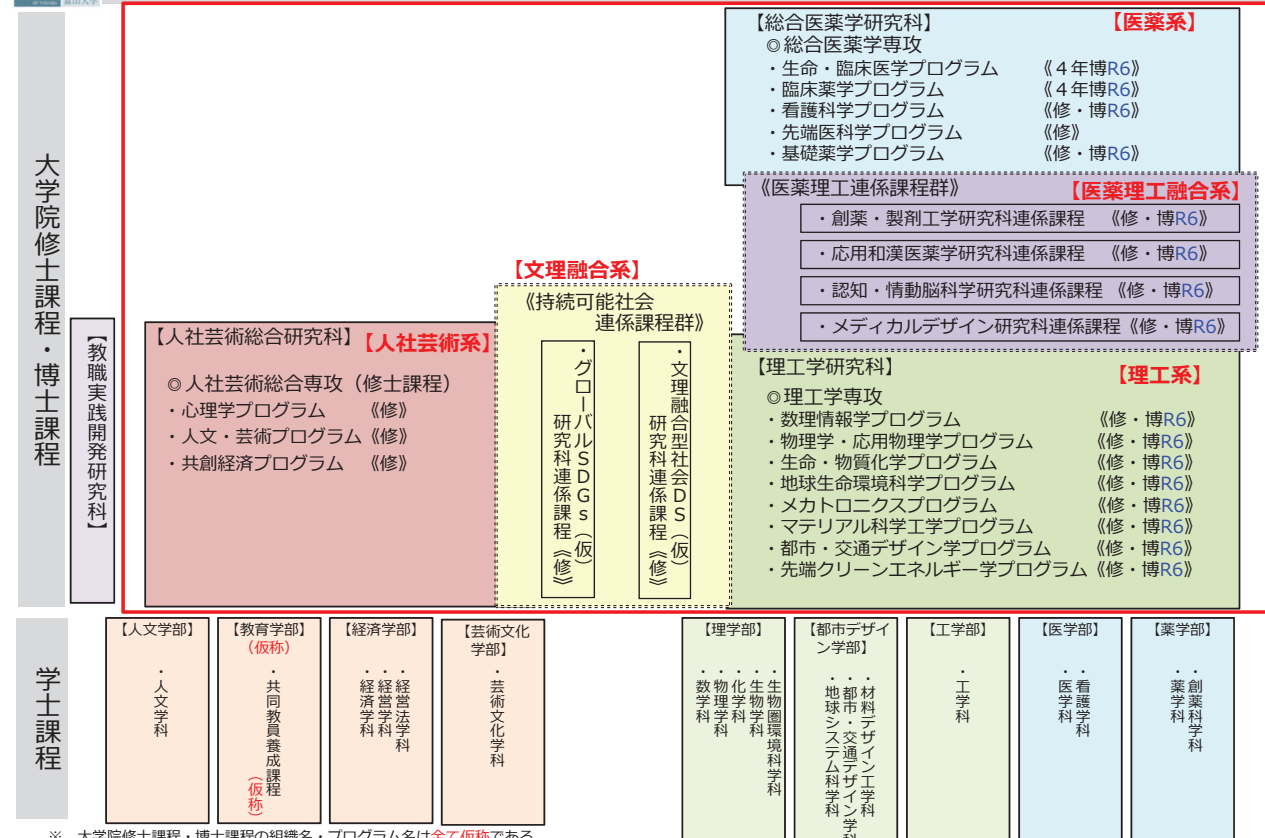
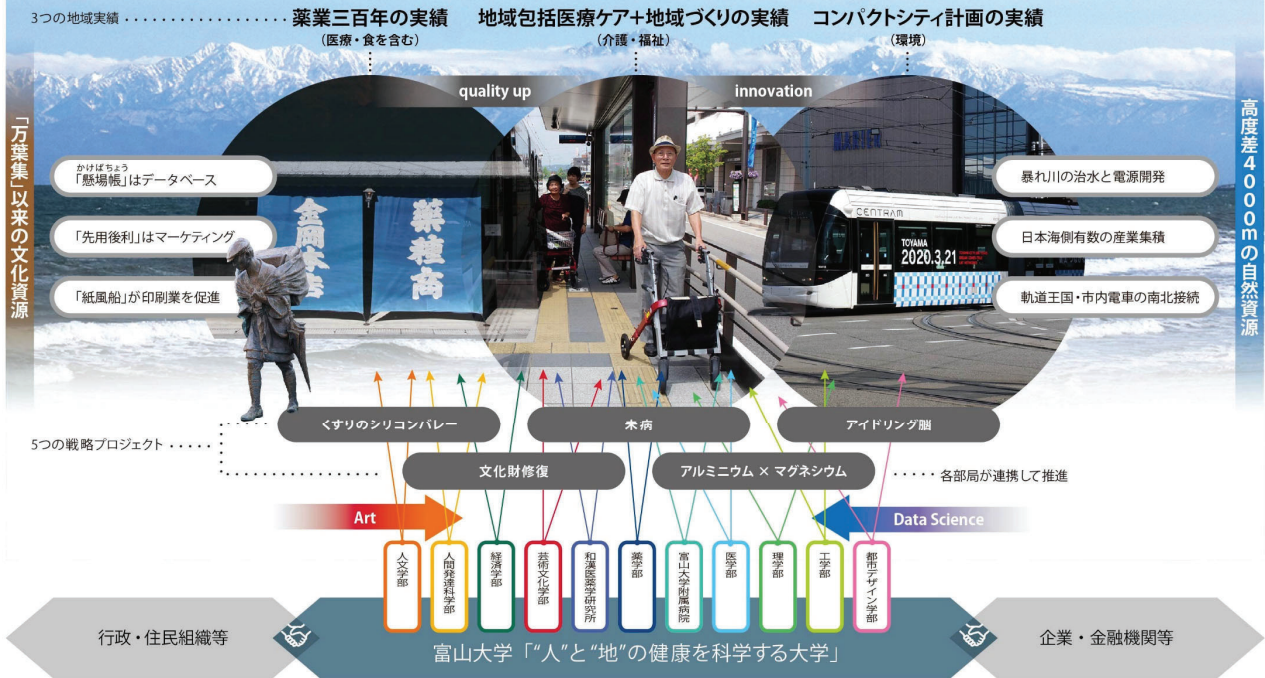
大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

[大目標] “人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”

[具体的戦略] “地域医療包括ケアと環境都市との相乗”



○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供。

【授業科目】

研究倫理 **必修**

科学技術と社会 **必修** (グローバルSDGs研究科関係課程を除く)

地域共生社会特論

研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用

アート・デザイン思考

英語論文作成Ⅰ

英語論文作成Ⅱ

データサイエンス特論

キャリア教育

知的財産法

※名称は、全て仮称

○生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入。

客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

○**人社会術総合研究科**

人文科学，社会科学，芸術を融合させた学びを提供しつつ，現実の課題をテーマとし，課題解決を通じて，実践的能力を養う教育システムを構築。心理学プログラムは，公認心理師養成に対応。

○**総合医薬学研究科**

大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システムを構築。

○**理工学研究科**

理工系の大学院が理学と工学を融合させ，各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する教育システムを構築。

○**創薬・製剤工学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成。

○**応用和漢医薬学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成。

○**認知・情動脳科学研究科関係課程**

富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成。

○**メディカルデザイン研究科関係課程**

医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成。

○**文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程**

データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成。

○**グローバルSDGs研究科関係課程**

持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び，SDGsの達成に貢献できる人材を育成。



想定進学ルート

想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程	想定される進学元
人社芸術総合研究科 心理学プログラム	人文学部、教育学部（仮称）
人文・芸術プログラム	人文学部、芸術文化学部、教育学部（仮称）
共創経済プログラム	経済学部、芸術文化学部
総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラム（R6設置予定）	医学部医学科、現役社会人・留学生・他大学
臨床薬学プログラム（R6設置予定）	薬学部薬学科
看護科学プログラム	医学部看護学科、現役社会人・留学生・他大学
先端医科学プログラム	現役社会人・留学生・他大学
基礎薬学プログラム	薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
理工学研究科 数理情報学プログラム	理学部数学科、工学部知能情報工学コース
物理学・応用物理学プログラム	理学部物理学科、工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
生命・物質化学プログラム	理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
地球生命環境科学プログラム	理学部生物学科・生物圏環境科学科、都市デザイン学部地球システム科学科
メカトロニクスプログラム	工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
マテリアル科学工学プログラム	都市デザイン学部材料デザイン工学科、工学部機械工学コース
都市・交通デザイン学プログラム	都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
先端クリーンエネルギー学プログラム	理学部化学科、工学部応用化学コース、都市デザイン学部材料デザイン工学科
医薬理工連携課程群 創薬・製剤工学研究科関係課程	薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
応用和漢医薬学研究科関係課程	薬学部創薬科学科、理学部化学科・生物学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
メディカルデザイン研究科関係課程	工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
認知・情動脳科学研究科関係課程	理系全般、現役社会人・留学生・他大学
持続可能社会関係課程群 文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程	理学部数学科、工学部知能情報工学コース、都市デザイン学部都市・交通デザイン学科、 経済学部、現役社会人・留学生・他大学
グローバルSDGs 研究科関係課程	理学部生物圏環境科学科、現役社会人・留学生・他大学



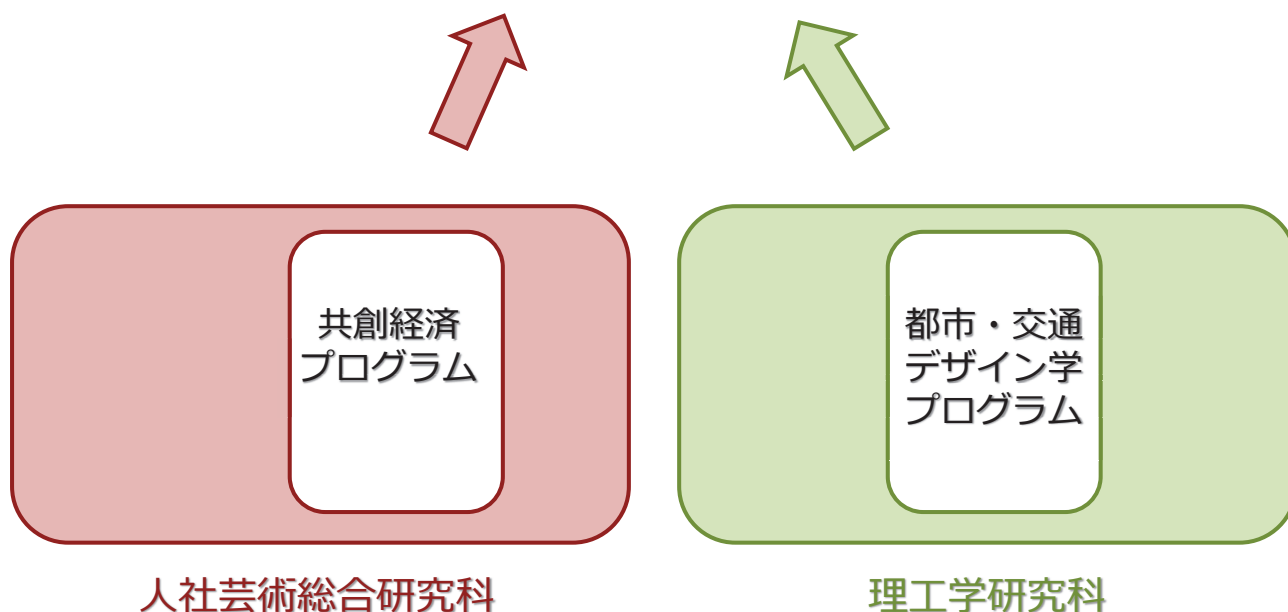
想定進学ルート

想定される進学元	想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程
人文学部	人文・芸術プログラム、心理学プログラム
経済学部	文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程、共創経済プログラム
理学部数学科	数理情報学プログラム、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程
理学部物理学科	物理学・応用物理学プログラム
理学部化学科	生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム
理学部生物学科	地球生命環境科学プログラム、和漢医薬学研究科関係課程
理学部生物圏環境科学科	地球生命環境科学プログラム、グローバルSDGs 研究科関係課程
医学部医学科	生命・臨床医学プログラム（R6設置予定）
医学部看護学科	看護科学プログラム
薬学部薬学科	臨床薬学プログラム（R6設置予定）
薬学部創薬科学科	基礎薬学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、 認知・情動脳科学研究科関係課程
工学部工学科電気電子工学コース	物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程
工学部工学科知能情報工学コース	数理情報学プログラム、物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程
工学部工学科機械工学コース	物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、マテリアル科学工学プロ グラム、メディカルデザイン研究科関係課程
工学部工学科生命工学コース	生命・物質化学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、和漢医薬学研究科関係課程 基礎薬学プログラム
工学部工学科応用化学コース	生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム
芸術文化学部	人文・芸術プログラム、共創経済プログラム
都市デザイン学部地球システム科学科	地球生命環境科学プログラム
都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	都市・交通デザイン学プログラム、文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程、
都市デザイン学部材料デザイン工学科	マテリアル科学工学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム
教育学部（仮称）	教職実践開発研究科、心理学プログラム、人文・芸術プログラム

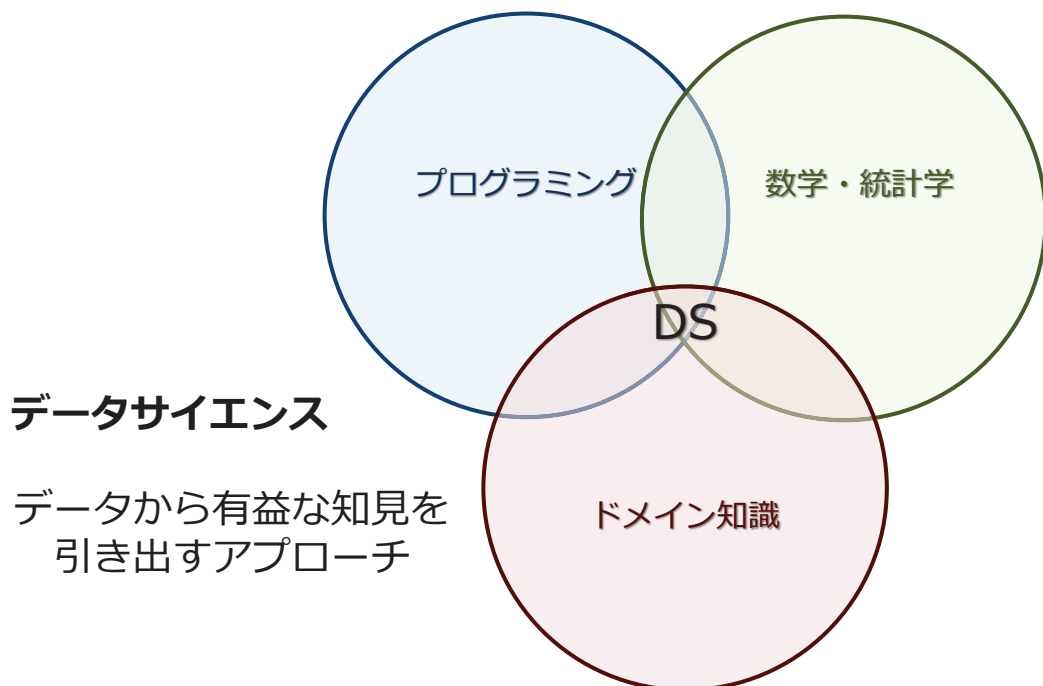
文理融合型社会データサイエンス 研究科連係課程

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。

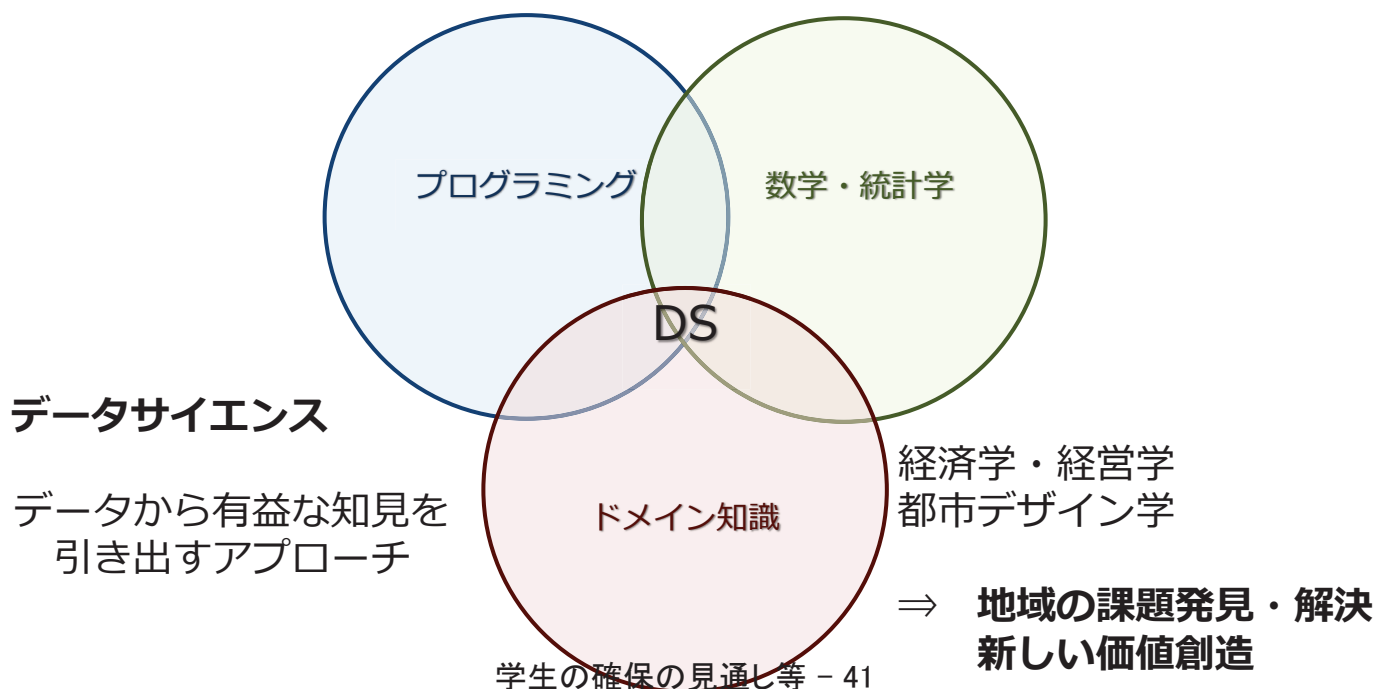
文理融合型社会データサイエンス 研究科連係課程



文理融合型社会データサイエンス 研究科連係課程



文理融合型社会データサイエンス 研究科連係課程



こどもを見守る地域連携事業（富山市）

小学生にGPSロガーを配布

児童の登下校路調査を実施



学校統合によって広がった小学校区において

効率的にこどもの登下校の安全安心を支える

地域連携モデル（見守り活動，道路環境整備など）を

検討・展開する

教育の特徴

- ・ **地域の自治体・企業との共同研究**

富山市をはじめとする自治体，企業のもつデータを
活用して地域の課題発見・解決

- ・ **テーラーメイド型学修プログラム**

研究課題に応じて他研究科専門科目（ドメイン科目）を
履修

- ・ **3名の教員が研究指導**

主指導教員（データサイエンス）
副指導教員（文系，理系）

入学者受入れ方針（案）

- 基礎的能力
- データサイエンス，AIに強い学修意欲
- 将来，専門知識と技術を活かして，地域活性化やSDGs達成に貢献する意欲

カリキュラム

- **全学共通科目**

研究倫理，知的財産法，アート・デザインの役割，など

- **連携課程群共通科目**

持続可能社会概論，デザイン思考，など

- **専門科目**

- (1) **DS基礎科目**

線形代数特論，数理統計学特論，情報科学特論，など

- (2) **DS実践科目**

情報センシング，データマイニング，機械学習論，など

- (3) **ドメイン科目**

持続可能な社会に資する交通デザイン（理工学研究科）
経営システム論（人社芸術総合研究科），など

- (4) **特別研究**

社会データサイエンス特別演習，
社会データサイエンス特別研究

学位授与方針（案）

基盤的能力

基盤となる学識，社会で活躍するためのコミュニケーション力および論理的思考力を備え，様々な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を身に付けている。

専門的学識

課題解決に必要な専門知識，研究能力および高度専門職業人に必要な実践的能力を身に付けている。

倫理観

高度専門職業人として活動するうえでの倫理観。規範意識を身に付けている。

創造力

現代社会のデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに，そこから新しい価値を創造することができる。

修了後の主な進路

- ・ **地域の経済を支える人材**
総合商社，広告代理店，保険会社，金融機関，サービス産業
- ・ **地域の公的機関を支える人材**
行政機関（国・県・市町村），病院・医療機関，インフラ
- ・ **地域の産業を支える人材**
IT企業，製造業，製薬業，農林水産業
- ・ **都市・交通デザイン学系博士課程(R6設置予定)**

「人」と「地」の健康」に対し、スマートシティの実現にデータコンサルタントとして貢献できる人材を育成する

地域の経済・公的機関・産業をDSで支えるオールラウンド型

地域の経済を支える人材
総合商社、広告代理店、保険会社、金融機関、サービス産業

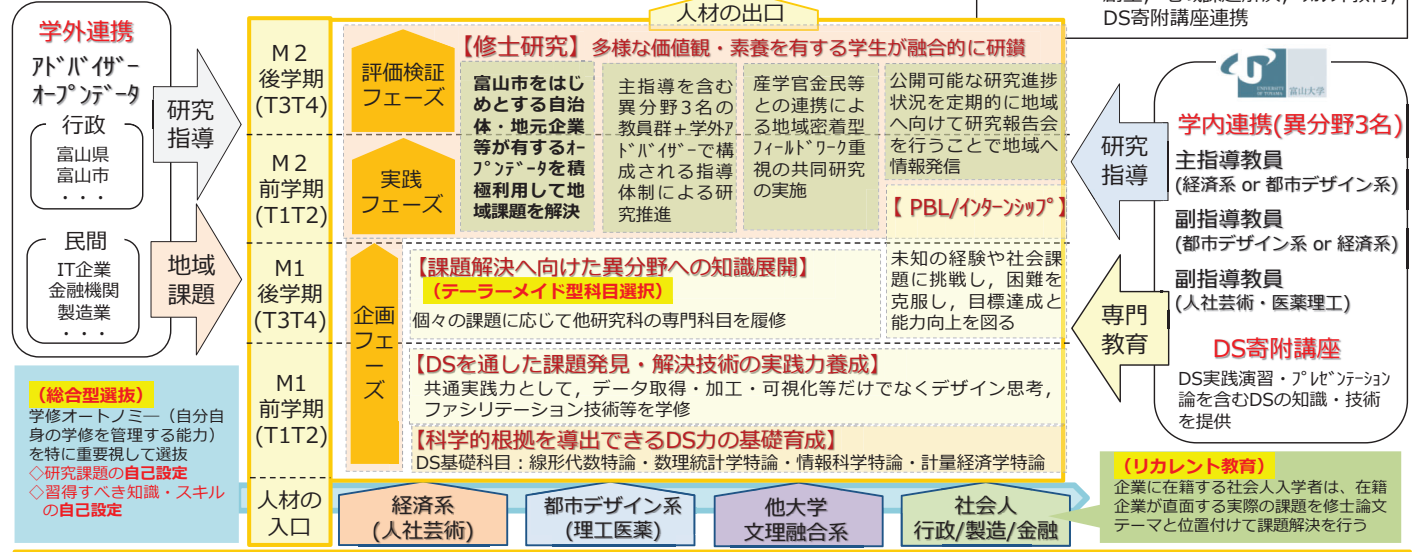
地域の公的機関を支える人材
行政機関(国・県・市町村)、病院・医療機関、インフラ業

地域の産業を支える人材
IT企業、製造業、製菓業、農林水産業

都市・交通デザイン系博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士(学術)
募集人員：修士10人
想定進学元：経済系、都市デザイン系、他大学文理融合系、社会人
想定就職先：国(総務省/国交省/環境省等)、地方自治体、コンサルタント(政策/都市/IT)、保険、IT企業、旅行等
キーワード：文理融合、持続可能社会、地方創生、地域課題解決、リカレント教育、DS寄附講座連携



個々の課題に応じたテーラーメイド型学修プログラムによる文理融合型DSジェネラリストの育成

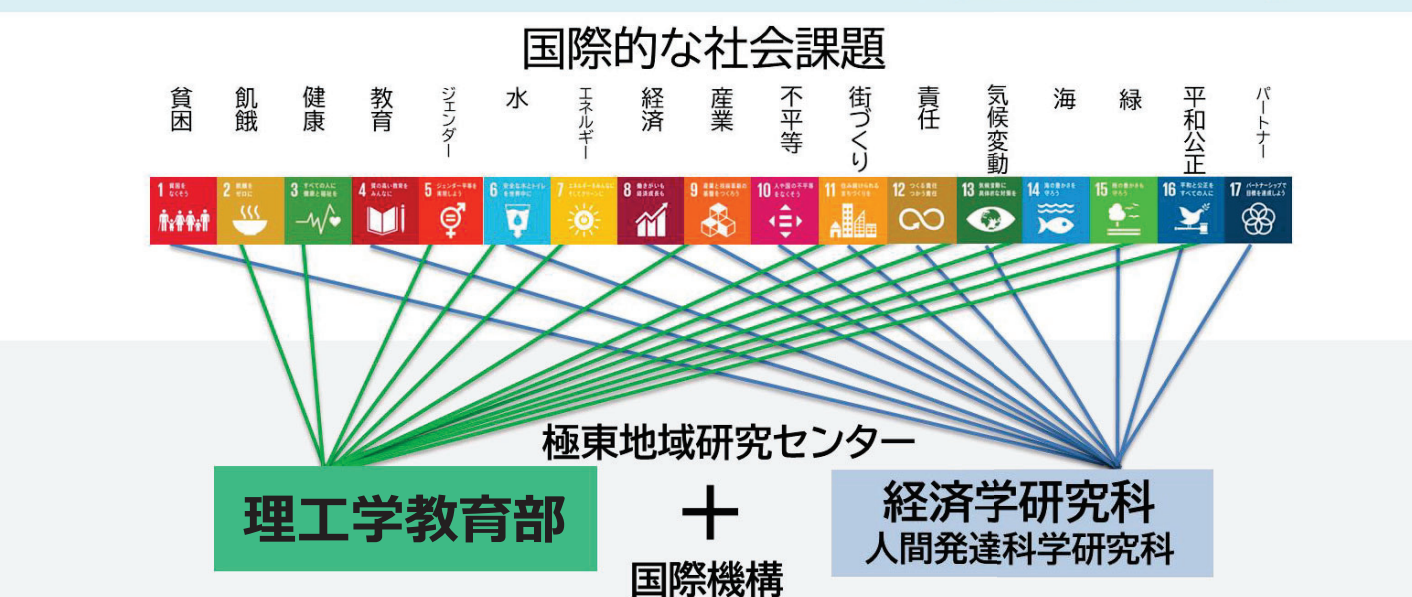
○研究科連係課程の概要
現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことによる課題発見・解決力と価値創造力を有し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材育成を目指す

○研究科連係課程の特色ある教育
・研究課題に応じて習得すべき知識・スキルを事前に計画する能力を総合型選抜で精査(入学前に履修モデルを決定)
・課題に応じて他研究科専門科目を履修するテーラーメイド型学修プログラムと文理融合型の教育研究指導体制
・富山市と連携し(物流や交通量などのオープンデータの活用)スマートシティの実現に向けた実践的な課題解決型の共同研究を推進
・グローバルSDGsとの連携により、ローカルとグローバルの視点を養成

○人と地の健康との関連
地域が抱える様々な課題に対して課題解決を導くデータ分析を行うことで、人と地の健康の実現に向けた様々な知見を得る

富山大学大学院改組構想「持続可能社会連係課程群」
グローバルSDGs研究科連係課程

Sustainable Development Goals
持続可能な開発目標



大学院学位プログラム

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。

グローバルSDGs研究科関係課程

特色・強み

1. 文理融合・分野横断的な講義や演習・課題解決型の特別研究「超学際的アプローチ」

- 持続的な産業構造
- 持続的な社会構造
- 持続的な環境資源の利活用に必要な経済学
- 地域研究
- 農学
- 地球科学
- 生態学
- グリーンケミストリー

2. 日英バイリンガルのカリキュラム

3. リサーチトラック + スペシャリスト・トラックによる 実践的専門知識の習得



授与学位:修士(サステナビリティ学)

キーワード:持続可能社会、文理融合教育、バイリンガル教育、リカレント教育対応

2

求める学生・人材

サステナビリティ学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、持続可能社会の構築に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生。

アジア各国
からの留学生

理学系、工学系、
社会科学系

官公庁、
金融・製造業

他大学
理工・社会科学系

本研究科関係課程修了によって習得する能力・人材像

①基盤的能力

サステナビリティ学分野の基盤となる
豊かな学識、英語力、論理的思考力、俯瞰力

②専門的学識

専門知識、研究能力、実践的能力

③倫理観

研究倫理に関する規範意識

④創造力

新たな知の創造力、価値を生み出す能力、
問題解決力

地球規模、地域の両方の視点において、持続可能社会の実現のために課題解決ができる人材

3

学修内容 クォーター制を導入

①基盤的能力

専門分野以外の学問分野の科目を学修させ、また、国際的な情報の理解と発信の基礎となる英語力の習得

全学共通科目:「サイエンス・ライティング」、「科学技術と持続可能社会」

連係群共通科目:「持続可能社会概論」、「高低差4000mの共生社会」、
「サステナビリティ環境科学」、「サステナビリティ国際政治経済学」

②専門的学識

サステナビリティ学分野における研究能力や専門の職業における実践的能力を身につけるために必要な、専門的学識・能力および実践的能力の習得

連係群共通科目:「文化の多様性と持続可能社会」、「アカデミックライティング・コミュニケーション特論」、「サステナビリティデータ解析演習」、「サステナビリティ画像解析・GIS演習」

選択科目:海外の大学間学術交流締結校との「グローバルSDGs海外実践実習」

③倫理観

情報セキュリティ・研究倫理に関する知識・規範意識の習得

④創造力

専門の研究・議論・発表による創造力・問題解決力の習得

特別研究(リサーチトラック)+広範分野を学修する講義・演習(スペシャリストトラック)

4

修了後の主な進路

政策立案者・公務員・教育職員

国内外官公庁・国際機関(国連・国際NGO)・地方自治体(国際系)・教育機関

世界の舞台で活躍する企業人

多国籍製造業・環境コンサルタント・金融業(CSR企業・認証制度企業・ESG投資関連企業)

サステナビリティ学研究者

研究者(公的研究機関・民間企業・サステナビリティ学系大学院進学)

入学者選抜方法は追って公表

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

人文社会芸術総合研究科 → 人文社会芸術総合研究科
持続可能社会連係課程群 → 持続可能社会創成学環
文理融合型データサイエンス研究科連係課程 → 社会データサイエンスプログラム
グローバルSDGs研究科連係課程 → グローバルSDGsプログラム

資料2

富山大学大学院人社芸術総合研究科（仮称）及び持続可能社会連係課程群（仮称）の進学に関する調査（富山大学以外の大学に在学する方）

調査の概要

（1）調査の対象

他大学（近隣大学）に在籍する学生

（2）調査の方法

上記対象学生等に、ウェブ上で説明資料の提示・説明動画の上映を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。

（3）回答数

回答数：25名

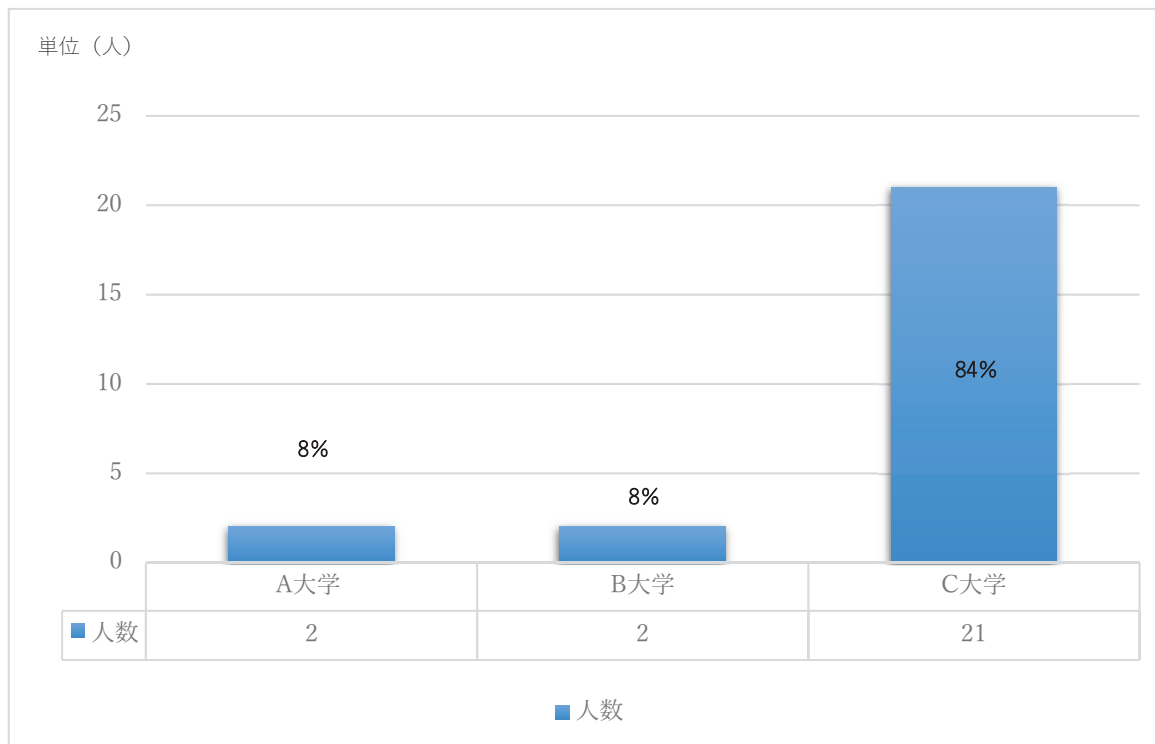
（4）調査期間

令和3年2月24日～3月1日

回答結果

1. あなたが所属する学校名、所属をご記入ください。

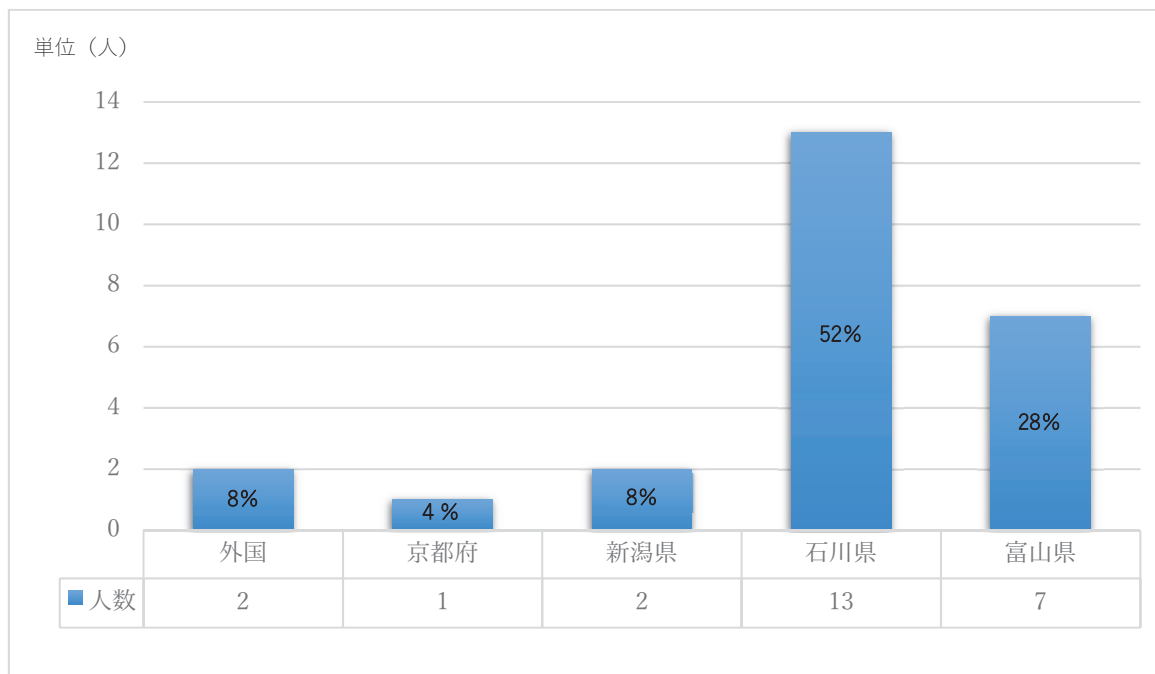
25件の回答



2. 大学進学前に通っていた高校の所在地（都道府県名、海外の場合は国名）

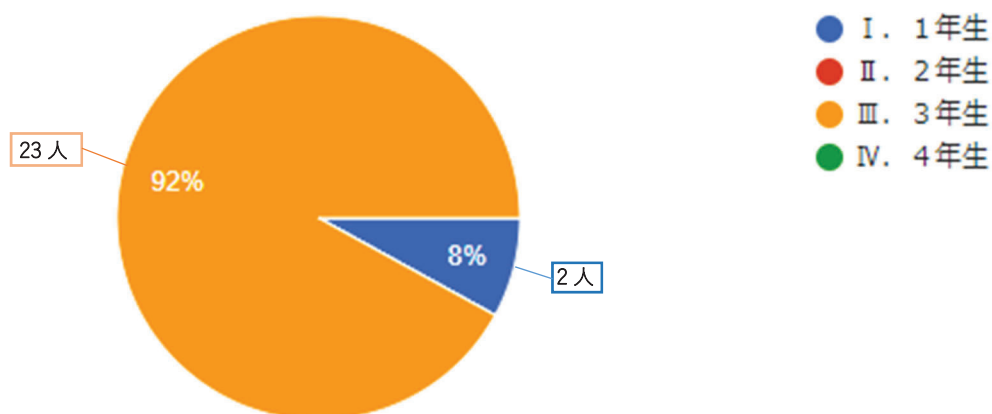
をご記入ください。

25件の回答



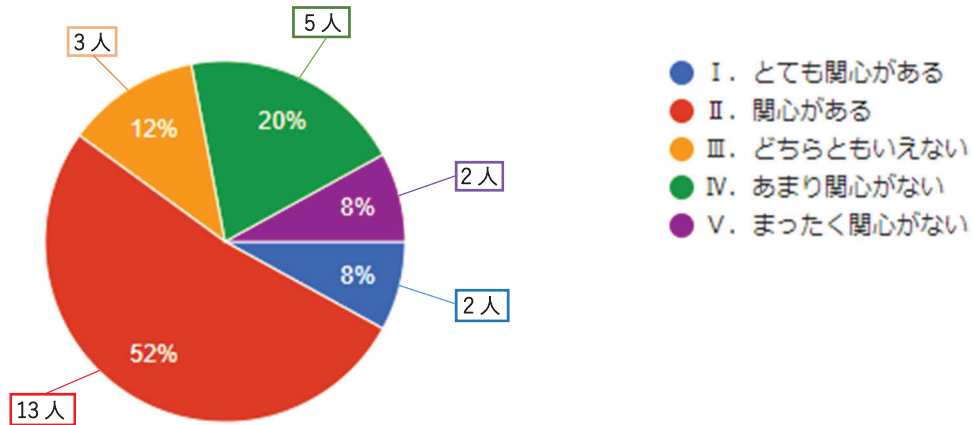
3. あなたの学年を教えてください。

25件の回答



4. 「共創経済プログラム」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。

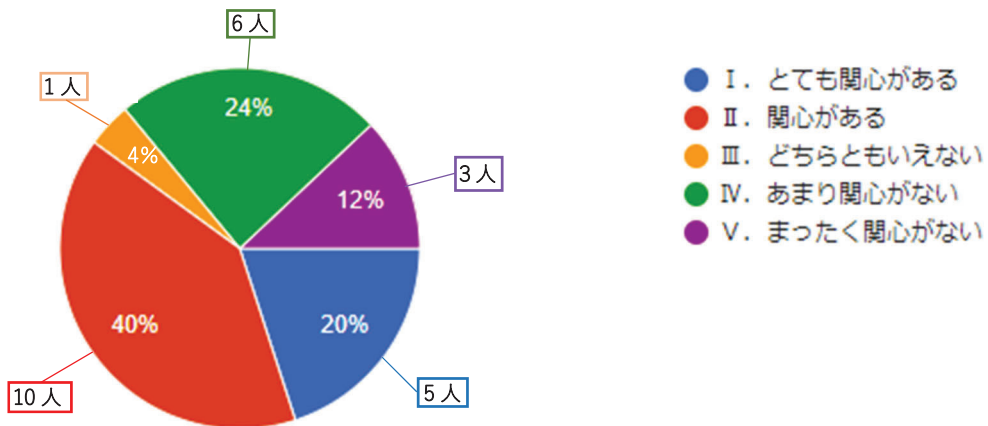
25件の回答



5. 「文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程」の構想概要について、

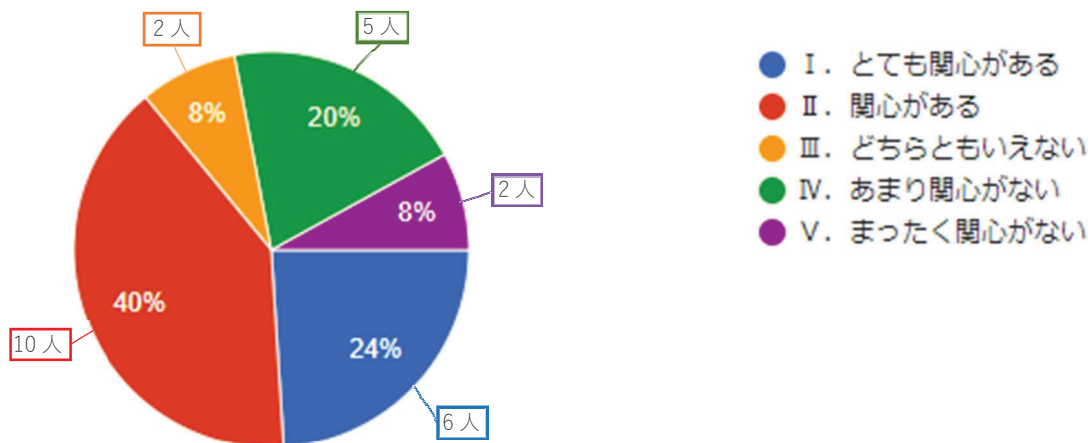
あなたはどのように思いますか。

25件の回答



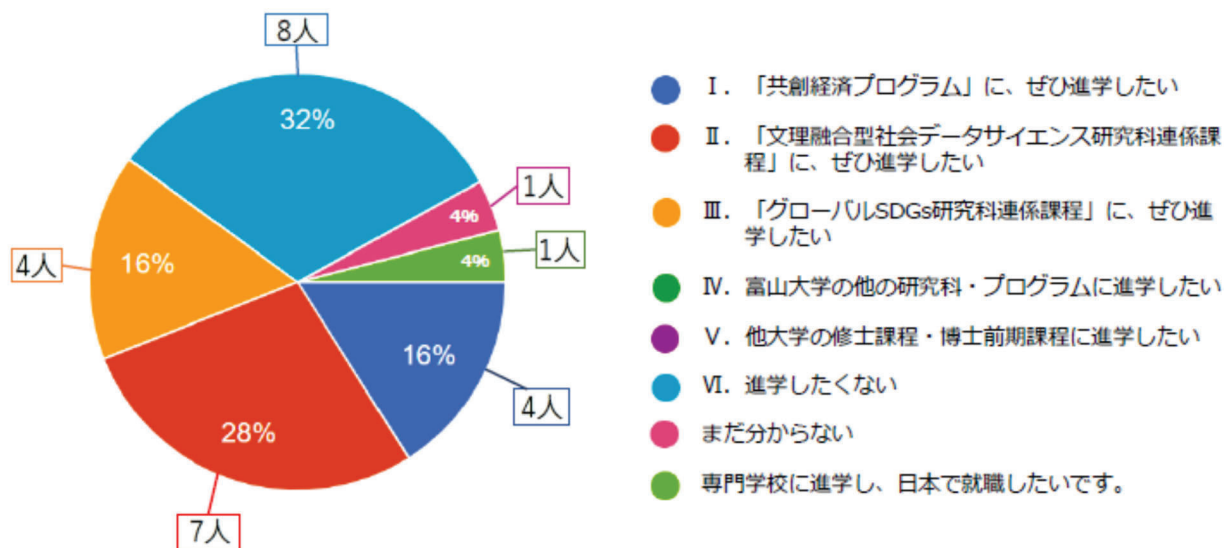
6. 「グローバルSDGs 研究科関係課程」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。

25件の回答



7. あなたが、ぜひ進学したいと思うプログラム・関係課程はどれですか。

25件の回答



8. 大学院構想に関するご意見、ご要望等がありましたら自由に記載してください。

- 共通してできるところあれば合同で何かをしてみたい。
- 3つの課程の区別(方針)が少しわかりにくい感じがした。(例えば経済系といっても、金融・地方経済などより細かく提示すると分かりやすくてよい。)
- 「文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程」の内容が理系寄りになっている気がするが、文系大学からでもいいのか少し気になる。

富山大学大学院人社芸術総合研究科（仮称）及び持続可能社会関係課程群（仮称）の進学に関する調査（富山大学以外の大学に在学する方）

現在、富山大学では、令和4年（2022年）4月に「大学院人社芸術総合研究科共創経済プログラム（仮称）」及び「持続可能社会関係課程群文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程（仮称）」、「同連携課程群グローバルSDGs研究科関係課程」の設置を構想しております。

このアンケートは、学生の皆様のニーズを把握し、今後の設置準備に役立てるために実施するものですので、是非ともご協力をお願いいたします。

なお、皆様からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

※構想概要をご覧いただいた上で、アンケートにご回答ください。

***必須**

1. あなたが所属する学校名、所属をご記入ください。 *

例) ●●大学経済学部経済学科、●●専門学校●●専攻

回答を入力

2. 大学進学前に通っていた高校の所在地（都道府県名、海外の場合は国名）をご記入ください。 *

例) 富山県、アメリカ合衆国

回答を入力



3. あなたの学年を教えてください。 *

- I. 1年生
- II. 2年生
- III. 3年生
- IV. 4年生
- その他:

4. 「共創経済プログラム」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。 *

- I. とても関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない

5. 「文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。 *

- I. とても関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない



6. 「グローバルSDGs研究科関係課程」の構想概要について、あなたはごどう思ひますか。 *

- I. とてふ関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない

7. あなたが、ぜひ進学したいと思ふプログラム・連携課程はどれですか。 *

- I. 「共創経済プログラム」に、ぜひ進学したい
- II. 「文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程」に、ぜひ進学したい
- III. 「グローバルSDGs研究科関係課程」に、ぜひ進学したい
- IV. 富山大学の他の研究科・プログラムに進学したい
- V. 他大学の修士課程・博士前期課程に進学したい
- VI. 進学したくない
- その他:

8. 大学院構想に関するご意見、ご要望等がありましたら自由に記載してください。

回答を入力

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)



「人」と「地」の健康に地域振興に寄与する高度専門家養成機関として貢献する

基本情報

授与学位：修士（経営学、学術、経済学）
 募集人員：修士14人
 想定進学元：人社芸術系（留学生を含む）
 想定就職先：国・地方自治体、製造業、金融・保険業、情報通信業、デザイン等
 キーワード：地域連携、リカレント教育対応、長期インターンシップ

経営領域重視型

地域企業で新規事業を企画するビジネスパーソン。
 地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

融合領域重視型

デザイン経営※により地域企業を活性化させるビジネスパーソン

経済領域重視型

地方公共団体で地域振興策を主導する行政担当者

社会・芸術系
 博士課程へ進学

人材の出口

学外との連携

実務経験者によるPBL

研究助言

地域課題

M2 後学期 (T3T4)

【修士論文】

複数の教員（主査、副査）による多面的指導によって複眼的な視野で修士論文を作成

M2 前学期 (T1T2)

【専門研究の深化】

経済学的思考・ビジネスマインドに加え、芸術系との融合領域としてのデザイン経営を通して専門分野の深化と多様化

M1 後学期 (T3T4)

【研究課題の設定】

融合教育・横断的教育とコース専門教育を通しての課題発見・課題設定

M1 前学期 (T1T2)

【課題発見・解決技術の基礎力養成】

共通科目や他コース科目の履修によって課題発見・解決技術の基礎力を養成

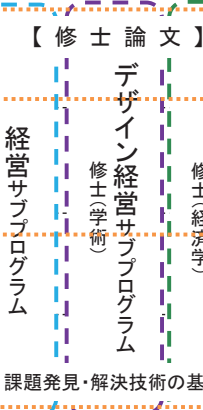
人材の入口

(COC+科目、全学横断PBL)

人社芸術系

製造業、金融業・保険、デザイン等、経済系行政職

他大学 人社芸術系



研究指導

横断的教育

教員(専門A)
 教員(専門B)

社会系
 芸術系

※デザイン責任者が経営チームへ参画することやデザイナーが事業戦略の最上流から参画することを通じて、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営

学際・融合：経済とデザインで地域社会創生を実現

- プログラムの概要
 経済学、経営学、デザイン学などから新たな事業を創出することで地域に貢献できる人材を育成することを目指す。
- プログラムの特色ある教育
 - ・公的セクター（経済学、公法学）と私的セクター（経営学、私法学）を包括したカリキュラム構成
 - ・地域と連携したPBL型授業
 - ・デザイン学と経営学の融合
- 人と地の健康との関連
 - ・企業や市町村と連携した授業を通して地域活性化や街づくりに貢献

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。

人社芸術総合研究科 共創経済プログラム 出口別履修モデル②（経営）

履修時期	科目区分	授業科目名（すべて仮）	履修目的と学修内容
M1前学期 (T1・T2)	全学共通科目	研究倫理	研究者・高度職業人として最低限身につけるべき研究倫理について学修する。
	研究科共通科目	地域づくり特論	地域問題に関する基本的知見を習得する。
	プログラム専門科目	国際経営特論 マーケティング特論 共創経済特別研究（経営）Ⅰ	国際経営特論では、日系企業の経営行動について学修する。 マーケティング特論では、企業のマーケティング行動を分析する。 共創経済特別研究（経営）Ⅰでは、経営学に関する修士論文の作成に必要となる調査（データ収集等）について指導する。
	補充履修(学士課程)※	マーケティング論A	学部時代に経営学を学ばなかった学生は、学士課程の経営学関連の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。
M1後学期 (T3・T4)	全学共通科目	アート・デザインの役割	アートやデザイン作品を生み出す思考方法について確認する。
	研究科共通科目	地域共創特別演習（PBL）	PBLを通じて社会的ニーズに応えられる実践的能力を身につける。
	プログラム専門科目	多国籍企業特論 国際取引法特論 共創経済特別研究（経営）Ⅱ	多国籍企業特論では、グローバル競争の現状を分析する。 国際取引法特論では、国際取引にかかる法理論を習得する。 共創経済特別研究（経営）Ⅱでは、経営学に関する修士論文の作成に必要となるデータ分析とその考察方法について指導する。
	補充履修(学士課程)※	貿易論A	学部時代に経営学を学ばなかった学生は、前学期に引き続き学士課程の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。
M2前学期 (T1・T2)	プログラム専門科目	人的資源管理特論	人的資源管理特論では、企業内部の人的資源管理を理論的に検討する。
		国際民事訴訟法特論 経営組織特論 共創経済特別研究（経営）Ⅲ	国際民事訴訟法特論では、海外との訴訟にかかる法理論を習得する。 経営組織特論では、組織論的観点からの経営現象の理解を目指す。 共創経済特別研究（経営）Ⅲでは、経営学に関する修士論文の作成に必要となる執筆方法について指導しつつ、期末には内容について中間発表を求める。
M2後学期 (T3・T4)	プログラム専門科目	管理会計特論	管理会計特論では、戦略マネジメントシステムについて学修する。
		共創経済特別研究（経営）Ⅳ	共創経済特別研究（経営）Ⅳでは、経営学に関する修士論文の作成にあたり、全般的に指導しつつ、期末には内容について発表を求める。

地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

共創経済プログラムにおいて身につけた日本および海外企業の経営に関する知識や論理的文書作成能力によって、地域企業（日本企業）の海外展開に貢献・参画できる。

※隣接分野からの入学者に対し、通常の大学院におけるカリキュラムに加えて、接続関係にある学士課程の授業科目を履修させることで、知識等を補充する。
 ※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

富山大学における授業料その他の費用に関する規則

平成17年10月1日制定 平成18年4月1日改正
 平成18年9月21日改正 平成19年4月1日改正
 平成20年4月1日改正 平成21年4月1日改正
 平成22年4月1日改正 平成27年4月1日改正
 平成29年7月11日改正 令和元年9月24日改正
 令和2年3月24日改正 令和2年7月1日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）における授業料その他の費用に関し、他の規則に別段の定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(授業料，入学料及び検定料の額)

第2条 本学において徴収する授業料（幼稚園にあつては、保育料。以下同じ。）の年額，入学料（幼稚園にあつては、入園料。以下同じ。）及び入学等に係る検定料は、次の表のとおりとする。

区分		授業料（年額）	入学料	検定料
大学の学部		535,800円	282,000円	17,000円
大学の夜間において授業を行う学部		267,900円	141,000円	10,000円
大学院の研究科及び教育部		535,800円	282,000円	30,000円
転入学 編入学 再入学	大学の学部	535,800円	282,000円	30,000円
	大学院の研究科及び教育部			
	大学の夜間において授業を行う学部	267,900円	141,000円	18,000円
研究生		(月額) 29,700円	84,600円	9,800円
科目等履修生		(1単位) 14,800円	28,200円	9,800円
特別聴講学生		(1単位) 14,800円	—	—
特別研究学生		(月額) 29,700円	—	—
幼稚園		73,200円	31,300円	1,600円
特別支援学校の高等部		4,800円	2,000円	2,500円

- 2 本学に附属して設置される小学校，中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の入学料は，これを徴収しないものとする。
- 3 小学校及び中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部において，入学を許可するための試験，健康診断，書面その他による選考等を行った場合に徴収する検定料の額は，次の表のとおりとする。

区分	検定料
小学校	3,300円
中学校	5,000円
特別支援学校の小学部	1,000円
特別支援学校の中学部	1,500円

- 4 大学の学部において、出願書類等による選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜等において第1次選考として書類審査等を行う場合を含む。以下「第1段階選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第2段階選抜」という。）を行う場合及び個別学力検査出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願資格のない者（以下「個別学力検査出願無資格者」という。）であることが判明した場合の検定料は、第1項の規定にかかわらず、次の表の学部等の区分に応じ、第1段階選抜及び個別学力検査出願無資格者にあつては同表の中欄に掲げる額を、第2段階選抜にあつては同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	第1段階選抜	第2段階選抜
	個別学力検査出願無資格者	
大学の学部	4,000円	13,000円
大学の夜間において授業を行う学部	2,200円	7,800円

- 5 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校において、抽選による選考等を行い、その合格者に限り試験、健康診断、書面その他による選考等（以下この項において「試験等」という。）を行う場合に係る検定料は、第1項及び第3項の規定にかかわらず、次の表の学校等の区分に応じ、抽選による選考等にあつては、同表の中欄に掲げる額を、試験等にあつては、同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	抽選による選考等	試験等
幼稚園	700円	900円
小学校	1,100円	2,200円
中学校	1,300円	3,700円
特別支援学校の小学部	500円	500円
特別支援学校の中学部	600円	900円
特別支援学校の高等部	700円	1,800円

- 6 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の転入学に係る入学料及び検定料は、次の表のとおりとする。

区分	入学料	検定料
幼稚園	31,300円	1,600円
小学校	—	3,300円
中学校	—	5,000円
特別支援学校の小学部	—	1,000円
特別支援学校の中学部	—	1,500円
特別支援学校の高等部	2,000円	2,500円

（長期履修に係る授業料）

第3条 学則第62条に規定する修業年限及び大学院学則第25条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して卒業又は修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該在学を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、前条第1項に規定する授業料の年額に修業年限又は標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額（その額に十円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

2 学部及び大学院研究科（教育部を含む。以下同じ。）において長期履修期間を短縮する変更が認められた場合の授業料の額は、初年度から変更後の長期履修期間により前項の規定に従い算出した額とし、変更前の授業料の額との差額については、長期履修期間を変更した最初の学期にそれを徴収する。

3 学部及び大学院研究科において長期履修期間の延長が認められた場合の授業料の額は、変更後の長期履修期間により第1項の規定に従い算出した額とし、既に履修した期間の授業料の額との差額については、その調整は行わない。

4 長期履修期間を超えてなお在学する者の授業料の額は、前条第1項に定める額とする。
（授業料の徴収方法等）

第4条 各年度に係る授業料の徴収は、当該年度において、学期その他の期間に区分して行うことを原則とする。ただし、学生又は生徒等の申出があったときは、一括して徴収することができる。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度に係る授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前年度において入学を許可するときにその一部又は全部を徴収することができる。

第5条 当該年度における在学期間が12月に満たない者の授業料は、授業料の年額の12分の1に相当する額に在学する月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を乗じて得た額を徴収することを原則とする。

（入学料の徴収方法）

第6条 入学料は、入学を許可するときに徴収することを原則とする。

（検定料の徴収方法）

第7条 検定料は、入学、転入学、編入学又は再入学の出願（第2条第3項、第4項及び第5項に規定する場合を含む。）を受理するときに徴収することを原則とする。

（寄宿料の額等）

第8条 寄宿料の月額は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分		寄宿料（月額）
新樹寮	S I	13,000円
	S II	18,000円
	D I	23,000円
五福国際交流会館	単身室	5,900円
	夫婦室	9,500円
	家族室	14,200円
杉谷国際交流会館	A室 世帯用（60㎡以上）	14,200円

	B室 世帯用 (50~60㎡)	11,900円
	C室 単身用 (25㎡以上)	5,900円

備考：新樹寮は、上記寄宿料のほか、維持管理費（共益費）月額2,000円を徴収する。

2 寄宿料は、寄宿舎に入居した日の属する月から退居する日の属する月まで、毎月その月の分を徴収することを原則とする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に徴収するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、学生の申出又は承諾があったときは、その申出又は承諾があった月分の寄宿料を併せて徴収することができる。

第8条の2 前条の規定にかかわらず、寄宿料は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額に、入居した日から退去する日までの日数を乗じた額とすることができる。

	区分	寄宿料（日額）
新樹寮	S I	900円
	S II	1,000円

2 寄宿料は、入居する日までに徴収することを原則とする。

（経済的負担の軽減のための措置）

第9条 本学は、学部及び大学院研究科の学生で経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他のやむを得ない事情があると認められる者に対し、授業料、入学料又は寄宿料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予その他の経済的負担の軽減を図るために必要な措置を講ずるものとする。

（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生の授業料の徴収方法）

第10条 研究生及び科目等履修生に係る授業料の徴収方法は、別に定める。

2 特別研究学生又は特別聴講学生に係る授業料の徴収方法は、研究生又は科目等履修生と同様とする。

（免許状更新講習に係る受講料の額及び徴収方法）

第11条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第9条の3の規定に基づき、本学が開設する免許状更新講習に係る受講料は、1時間につき1,000円とし、受講申請を受理するときに徴収するものとする。

（学位論文審査手数料の額及び徴収方法）

第12条 学位論文審査手数料は1件について58,055円とし、学位授与の申請を受理するときに徴収するものとする。

2 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文を提出した場合は、学位論文審査手数料を免除する。

（授業料免除等の取扱い）

第13条 授業料の免除の許可を受けた者について、免除の理由が消滅したことによりその免除を取り消した場合は、免除した前期及び後期の授業料の額を当該前期及び後期の月数で除して得た額に取り消しの日の属する月からその期の終わりの月までの月数を乗じて得た額を、取り消しの日の属する月に徴収するものとする。ただし、不正の事実の発見により取り消した場合にあっては、取り消しの日の属する月に、免除した前期又は後期の授業料の全額を徴収するものとする。

2 授業料の徴収猶予の許可を受けた者から授業料を徴収する時期は、徴収猶予の期間が満了する日の属する月とする。ただし、徴収猶予の理由が消滅したときは、その消滅した日の属する月に徴収するものとする。

- 3 月割分納による授業料の徴収猶予の許可を受けた者からは、毎月その月の分を徴収するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間の開始前に徴収するものとする。
- 4 授業料の徴収猶予（月割分納による徴収猶予を含む。）の許可を受けた者が退学をする場合は、その期において徴収するものとしている額を、退学の許可をするときに徴収するものとする。
- 5 前4項に規定するもののほか、授業料等の免除又は徴収猶予の実施について必要な事項は、別に定める。

（授業料等の不徴収）

第14条 本学大学院研究科の修士課程を修了し、引き続き本学大学院教育部の博士課程に進学する者については、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第28条並びに大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第13条及び第15条の規定に基づく措置により、本学において授業科目を履修する者（以下「特別聴講学生」という。）又は研究指導を受ける者（以下「特別研究学生」という。）に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、授業料については、特別聴講学生又は特別研究学生が公立大学又は私立大学の学生であるときは、第2条で定める額を徴収し、国立大学法人法（平成15年法律第112号）に定める国立大学の学生であるときは徴収しないものとする。

- 3 大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の学生が、相互にそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること。

- (3) 締結する協定又はその付属書において、有効期間が記載されていること。

- 4 大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生に係る、入学料及び検定料は徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の大学院学生が、相互に当該他の大学院等において研究指導を受けることを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること及び有効期間が記載されていること。

- 5 相互に検定料及び入学料を不徴収とする大学間協定を締結した国立大学法人が設置する大学の大学院から本学の大学院に転入学を志願する者にあつては、検定料及び入学料を徴収しないものとする。

- 6 産業教育振興法に基づく内地留学生及び科学教育研究室の研究生等別途実施要項等による者については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

（外国人留学生）

第15条 大学間交流協定、学部間交流協定及びこれらに準ずるものに基づき受け入れる外国人留学生については、締結する協定書又はその付属書において、授業料、入学料及び検定料が相互に不徴収とされている場合は、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 3 前2項に掲げるもののほか、外国人留学生については、第2条から第10条まで、第12

条から第 14 条までの規定を適用する。

(証明書の発行手数料の額及び徴収方法)

第16条 本学を卒業した者、修了した者、退学した者、除籍された者又は研究生、科目等履修生、特別聴講学生若しくは特別研究学生であった者が、本学が指定した証明書交付願により交付申請する場合は、証明書 1 通当り 500 円の手数料を徴収するものとする。

2 前項の手数料は、交付申請を受理するときに徴収するものとする。

3 第 1 項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、手数料を徴収しないものとする。

(1) 本学の学生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生を含む。）が申請する場合

(2) 附属学校に係る証明書を申請する場合

(3) 卒業、修了、退学又は除籍の日の属する月に申請する場合

(4) 外国に居住又は滞在している者が外国から直接申請する場合

(納付した授業料等)

第17条 納付した検定料、入学料、授業料、寄宿料、受講料及び証明書の発行手数料（以下「授業料等」という。）は還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

(1) 本学の入学者選抜において、出願書類等による第 1 段階目の選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による第 2 段階目の選抜を行う場合に、検定料を納付した者が、第 1 段階目の選抜で不合格となったとき及び個別学力検査出願無資格者であることが判明した場合 第 2 条第 4 項の選抜に係る検定料相当額

(2) 入学を許可されるときに授業料を納付した者が、入学年度の前年度の 3 月 31 日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額

(3) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、9 月末までに退学を許可された場合 後期分の授業料相当額

(4) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、10 月末までに休学を許可され、又は命じられた場合 後期分の授業料から後期の在籍月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(5) 研究生が、在学期間の中で退学した場合 納付された授業料から在学月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(6) 免許状更新講習の開講を本学の事由により取りやめた場合 当該免許状更新講習の受講料

(7) その他学長が、授業料等を返還するのが相当であると認めた場合 当該授業料等相当額

附 則

1 この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

2 平成 10 年度以前入学生の授業料の額については、第 2 条の規定にかかわらず、次の表のとおりとする。

区分	入学年度	授業料（年額）
----	------	---------

大学の学部	平成7・8年度入学生	447,600円
	平成9・10年度入学生	469,200円
大学の夜間において授業を行う学部	平成9・10年度入学生	234,600円
大学院学生	平成9・10年度入学生	469,200円

- 3 第10条の規定にかかわらず、高岡キャンパスにおいて平成18年3月31日まで実施する公開講座の講習料及び公開授業の受講料については、1時間につき420円とする。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第5項の規定は、平成18年度の転入学者から適用する。
- 2 この規則の施行前に認められた長期履修にかかる授業料の算出については、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行し、平成18年9月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に、新樹寮に入寮している者で、この規則の施行後に引き続き新樹寮に入寮する者の寄宿料の額は、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日までの間、月額700円とする。ただし、当該期間中に入寮生の申請により、改修後の居室に移動した場合は、改正後の第8条第1項の規定による。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

人文社会芸術総合研究科 → 人文社会芸術総合研究科
 持続可能社会連係課程群 → 持続可能社会創成学環
 文理融合型データサイエンス研究科連係課程 → 社会データサイエンスプログラム
 グローバルSDGs研究科連係課程 → グローバルSDGsプログラム

医薬理工連係課程群 → 医薬理工学環
 創薬・製剤工学研究科連係課程 → 創薬・製剤工学プログラム
 応用和漢医薬学研究科連係課程 → 応用和漢医薬学プログラム
 認知・情動脳科学研究科連係課程 → 認知・情動脳科学プログラム
 メディカルデザイン研究科連係課程 → メディカルデザインプログラム

企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

平成29年度～令和元年度に人文社会系学部・大学院を卒業・修了した者を3名以上採用した企業等 143社・機関

(2) 調査の方法

上記対象企業等に、質問及び構想に関する資料を送付し、インターネットを通じて回答を得た。

(3) 回答数・回答率

回答数：28社・機関 回答率：19.6%

(4) 調査期間

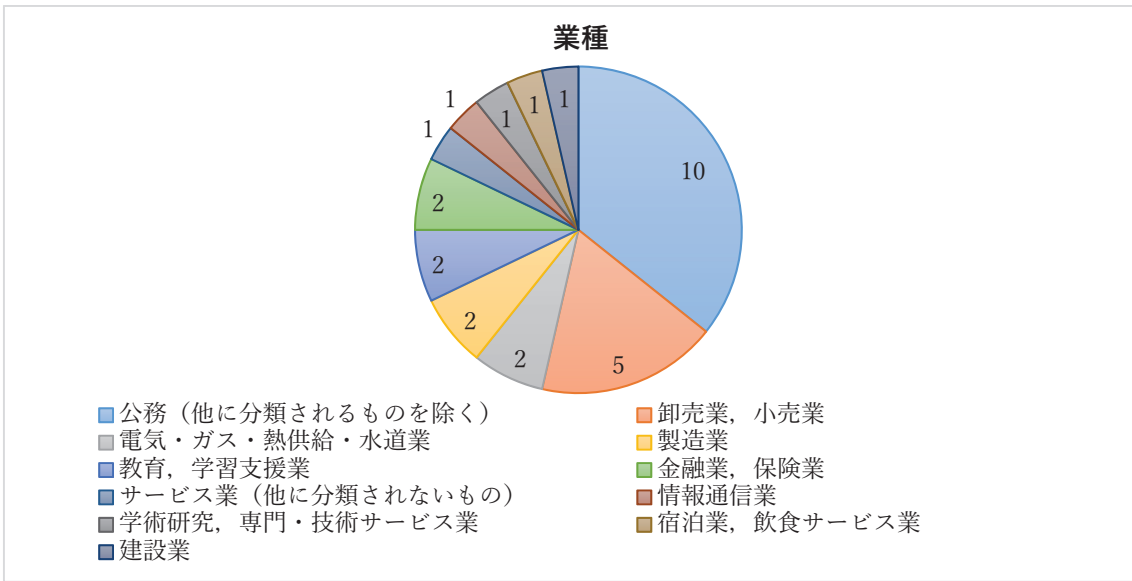
令和3年1月29日～2月17日

2. 調査結果

問1. 会社等の概要

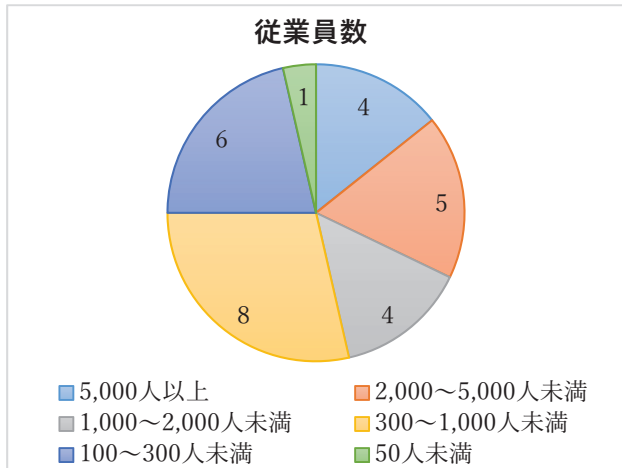
(1) 貴社・貴機関の属する業種について、次の中から該当するものを選択してください(主たるものを1つ)。

業種	回答数
公務（他に分類されるものを除く）	10
卸売業，小売業	5
電気・ガス・熱供給・水道業	2
製造業	2
教育，学習支援業	2
金融業，保険業	2
サービス業（他に分類されないもの）	1
情報通信業	1
学術研究，専門・技術サービス業	1
宿泊業，飲食サービス業	1
建設業	1
総計	28



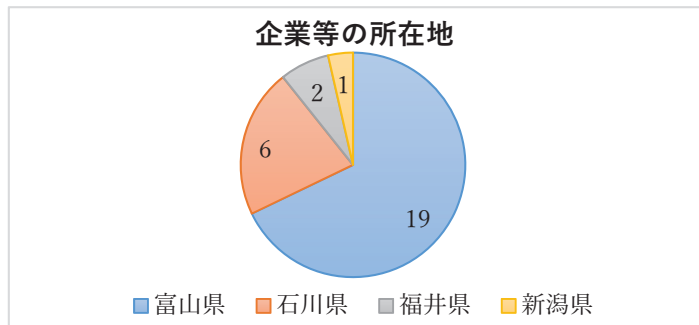
(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当するものを選択してください。

従業員数	回答数
5,000人以上	4
2,000～5,000人未満	5
1,000～2,000人未満	4
300～1,000人未満	8
100～300人未満	6
50～100人未満	0
50人未満	1
合計	28



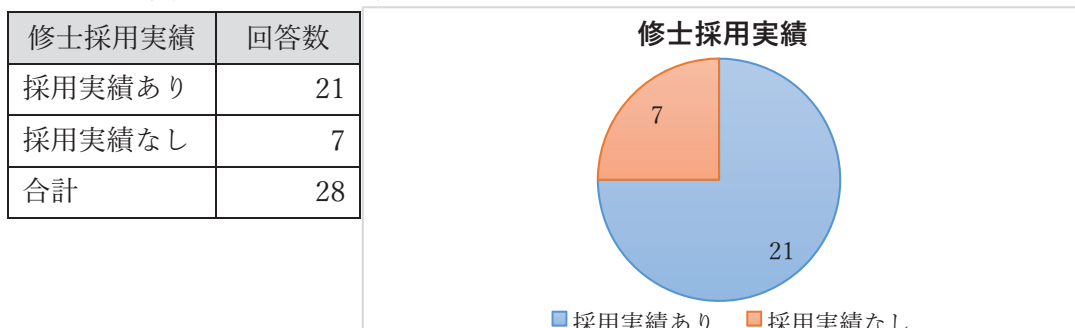
(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

所在地	回答数
富山県	19
石川県	6
福井県	2
新潟県	1
合計	28



問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

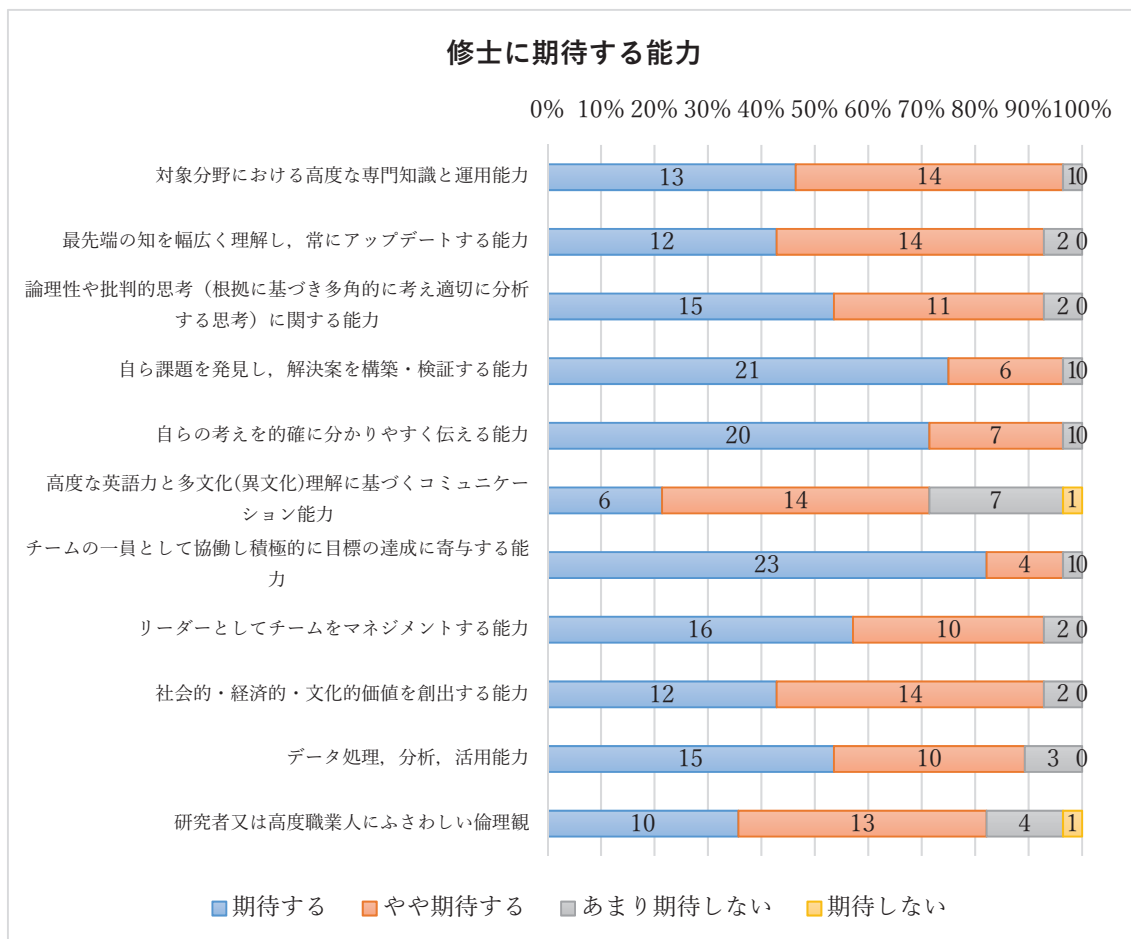


(2) 貴社・貴機関が文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
対象分野における高度な専門知識と運用能力	13	14	1	0	28
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	12	14	2	0	28
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	15	11	2	0	28
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	21	6	1	0	28
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	20	7	1	0	28
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	6	14	7	1	28
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	23	4	1	0	28
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	16	10	2	0	28
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	12	14	2	0	28
データ処理, 分析, 活用能力	15	10	3	0	28
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	10	13	4	1	28

その他の回答

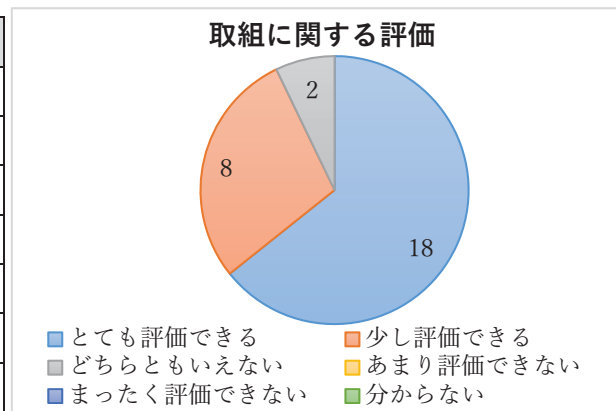
- ・ 専門分野以外の基礎学力（高3レベル）
- ・ 税理士試験免除制度
- ・ チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力
- ・ 市の職員として、地域の振興や市民サービスの工場に向け、熱意を持って行動できる人



問3. 本学大学院の改革構想

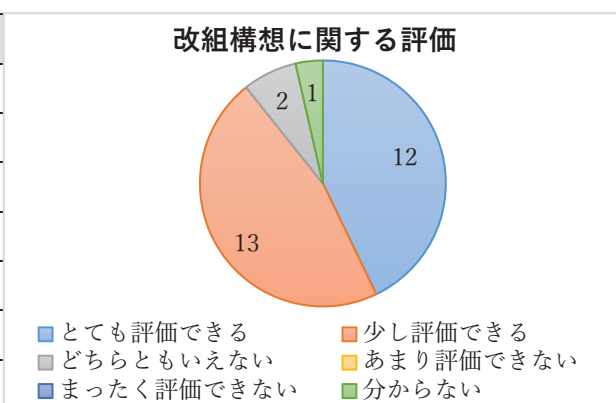
(1) 人社芸術研究科の新たな取組のうち、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて、実践的能力を養う「地域共創特別演習」について、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	18
少し評価できる	8
どちらともいえない	2
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	28



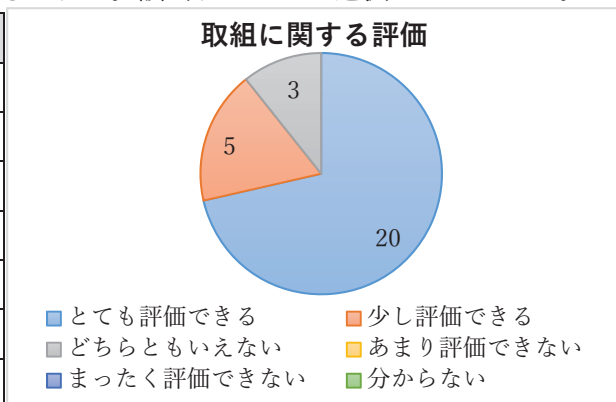
(2) 大学院人社芸術総合研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	12
少し評価できる	13
どちらともいえない	2
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	1
合計	28

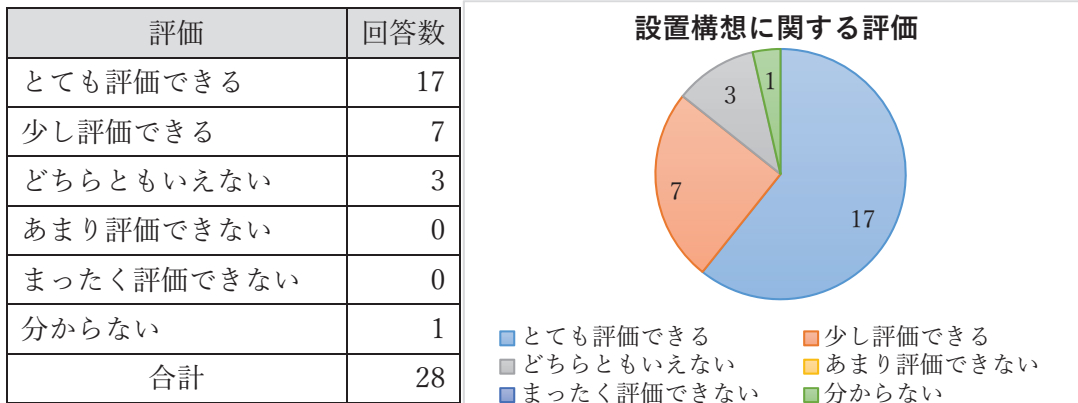


(3) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当するものを選択してください。

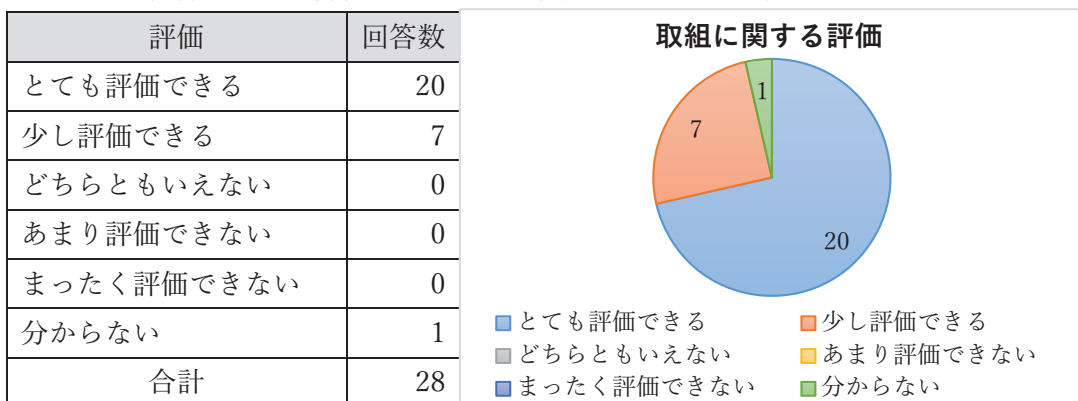
評価	回答数
とても評価できる	20
少し評価できる	5
どちらともいえない	3
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	28



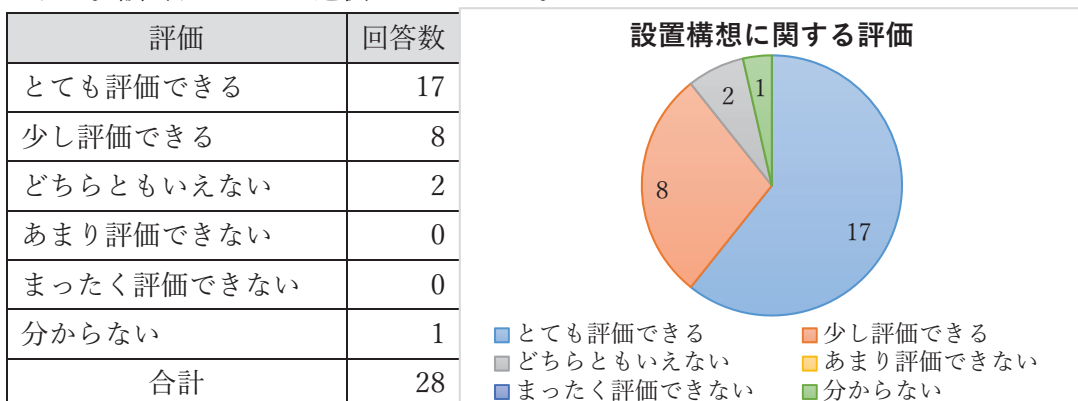
(4) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。



(5) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当するものを選択してください。

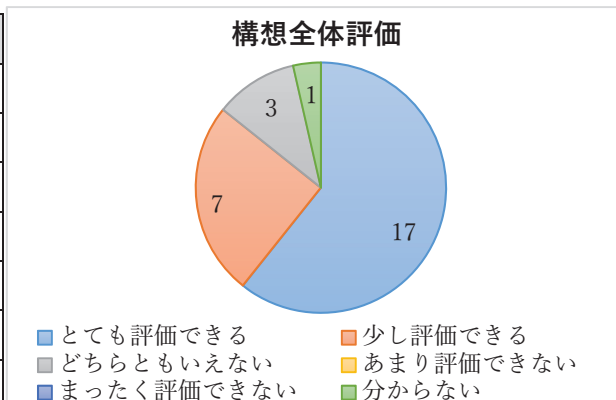


(6) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。



(7) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

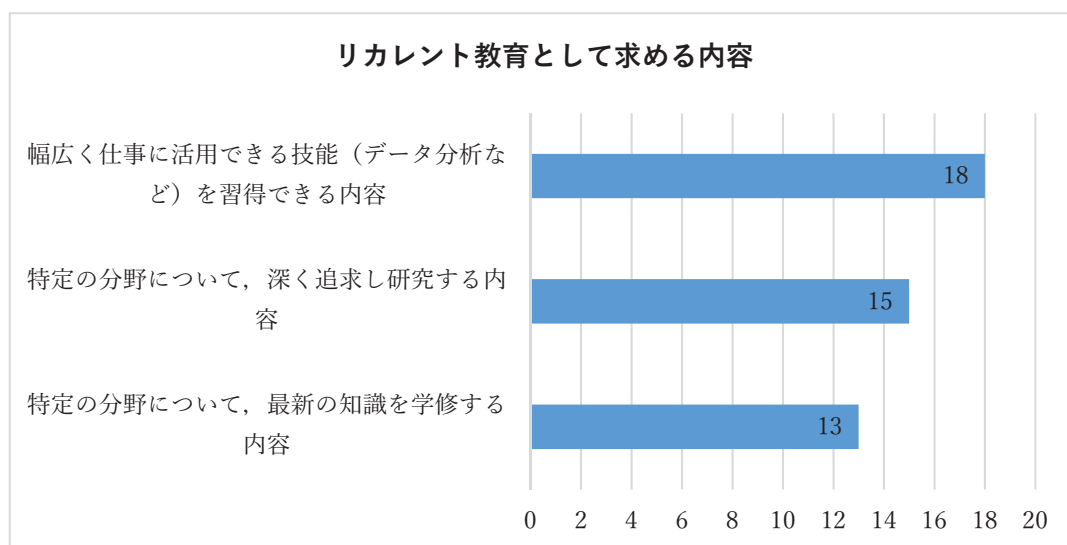
評価	回答数
とても評価できる	17
少し評価できる	7
どちらともいえない	3
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	1
合計	28



問4. 社会人に対するリカレント教育

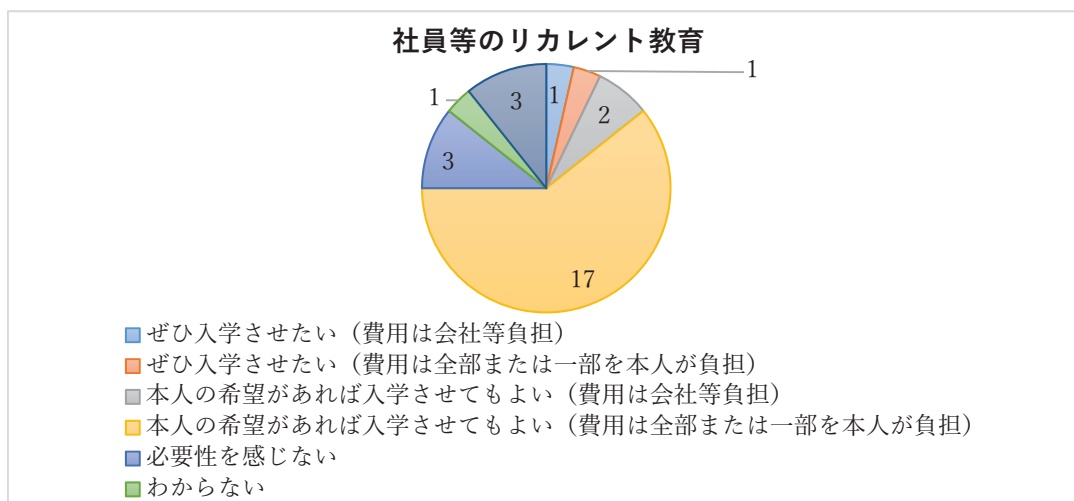
(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	13
特定の分野について、深く追求し研究する内容	15
幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容	18
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	17
合計	63



(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員等のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	1
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	1
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	2
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	17
必要性を感じない	3
わからない	1
その他	3
合計	28

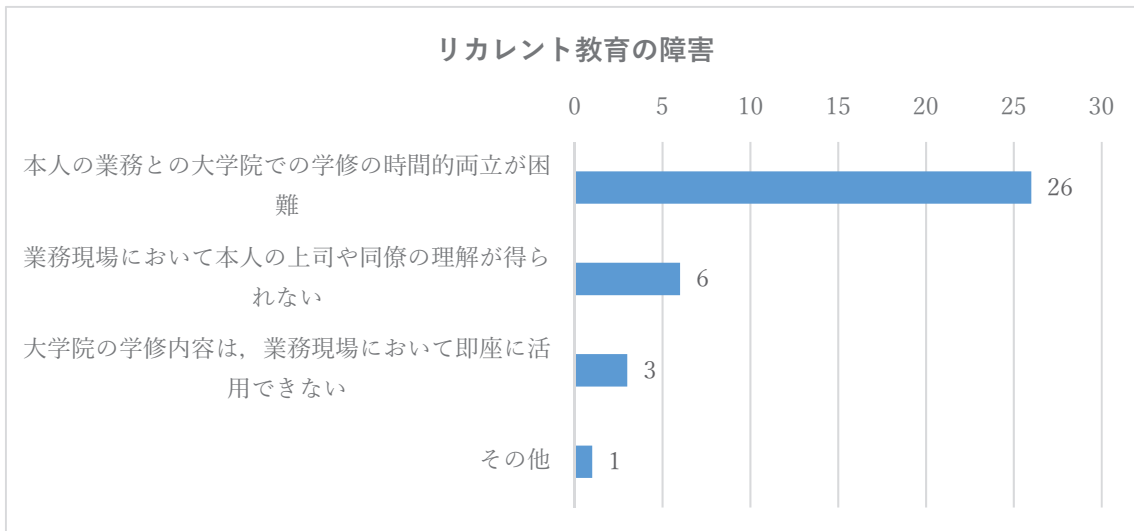


(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	26
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	6
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	3
その他	1
合計	36

その他の回答

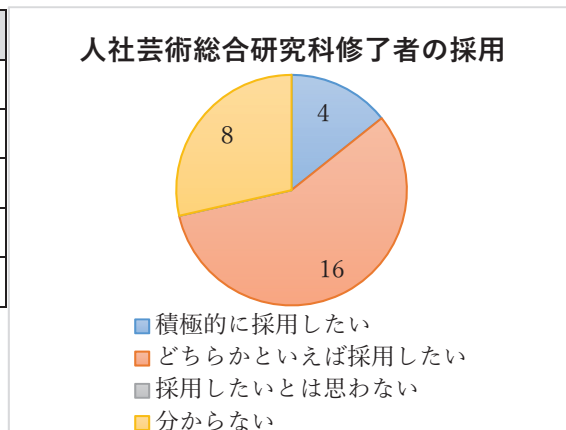
- ・現場に直結する分野に投資が偏ることはリスクと感じます



問5. 大学院修士課程修了者の採用

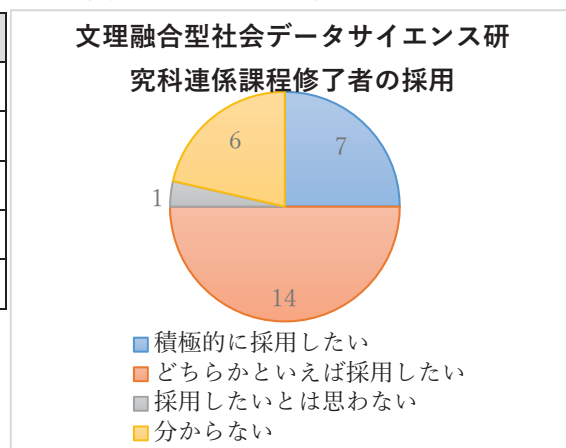
(1) 大学院人社芸術総合研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	4
どちらかといえば採用したい	16
採用したいとは思わない	0
分からない	8
合計	28



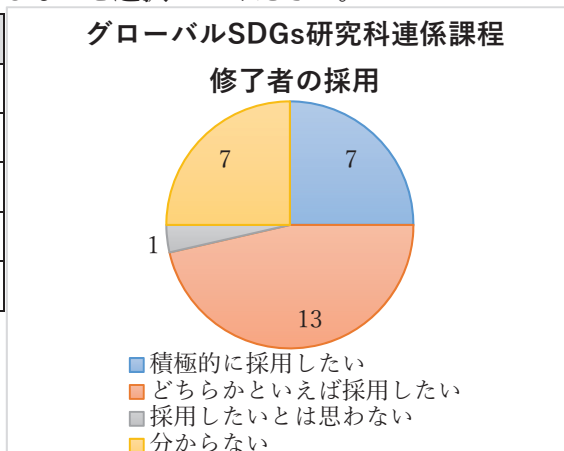
(2) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	7
どちらかといえば採用したい	14
採用したいとは思わない	1
分からない	6
合計	28



(3) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	7
どちらかといえば採用したい	13
採用したいとは思わない	1
分からない	7
合計	28



その他

(1) 差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

- 株式会社富山育英センター
- トヨタカローラ富山株式会社
- 七尾市役所
- 宮越工芸株式会社
- 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- アルコット株式会社
- カナカン株式会社
- 税理士法人 タックス総研
- 北陸電力株式会社
- 上越市役所
- 株式会社日本オープンシステムズ
- 富山労働局
- 福井県教育委員会
- 福井市役所
- 株式会社富山銀行
- 富山市

(2) 最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

- ・改組は簡単なものではないと思いますが、時代に合わせた変化に挑む姿勢はとても大切だと思います。

富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート

このアンケートは、改組予定の富山大学大学院の修了者に関する社会的ニーズを把握し、今後の改組準備に役立てるために実施するものです。調査結果は、本学の大学院教育の改革に活用していくものになりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

問1. 会社等の概要

貴社の概要について教えてください。

(1) 貴社・貴機関の属する業種について、該当する番号を記載してください（主たるものを1つ）。

回答番号：()

1. 農業，林業
2. 漁業
3. 鉱業，採石業，砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業，郵便業
9. 卸売業，小売業
10. 金融業，保険業
11. 不動産業，物品賃貸業
12. 学術研究，専門・技術サービス業
13. 宿泊業，飲食サービス業
14. 生活関連サービス業，娯楽業
15. 教育，学習支援業
16. 医療，福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く）
20. 上記以外 ()

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 50 人未満
2. 50～100 人未満
3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満
5. 1,000～2,000 人未満
6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

回答欄：()

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 採用実績あり
2. 採用実績なし

(2) 貴社・貴機関が文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する番号を記載してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

【知識】

- ・対象分野における高度な専門知識と運用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【思考】

- ・論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【コミュニケーション】

- ・自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・リーダーとしてチームをマネジメントする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【創造力】

- ・社会的・経済的・文化的価値を創出する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【高度スキル】

- ・データ処理, 分析, 活用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【倫理】

- ・研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【その他, 貴社がとくに重視したい能力がありましたら記載願います】

{ }

問3. 本学大学院の改革構想

大変お手数ですが、本設問は、別途添付している「富山大学大学院の改組構想」をご覧になった上で、ご回答ください。

(1) 人社芸術研究科の新たな取組のうち、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて、実践的能力を養う「地域共創特別演習」について、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(2) 大学院人社芸術総合研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(3) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(4) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(5) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(6) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(7) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

問4. 社会人に対するリカレント教育

用語説明：リカレント教育について

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えており、人生 100 年時代を見据え、転職や起業を行う「人生の再設計」や技術革新に対応したスキル修得のための「学び直し」の重要性が、内閣府の経済財政報告など複数の政府・行政機関の報告等で指摘されています。

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、理念が生まれた欧州における本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返して「学び直す」ことです。しかし、日本においては、長期雇用の慣行があることから、働きながら学び直すこともリカレント教育に含まれます。

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 5)

1. 特定の分野について、最新の知識を学修する内容
2. 特定の分野について、深く追求し研究する内容
3. 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容
4. 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容
5. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
2. ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）
3. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
4. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）
5. 必要性を感じない
6. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 4)

1. 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難
2. 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない
3. 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない
4. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院人社芸術総合研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(2) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(3) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

()

最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

()

以上

富山大学大学院の 改革・再編の構想 (主に文系)

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化科学研究科

大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

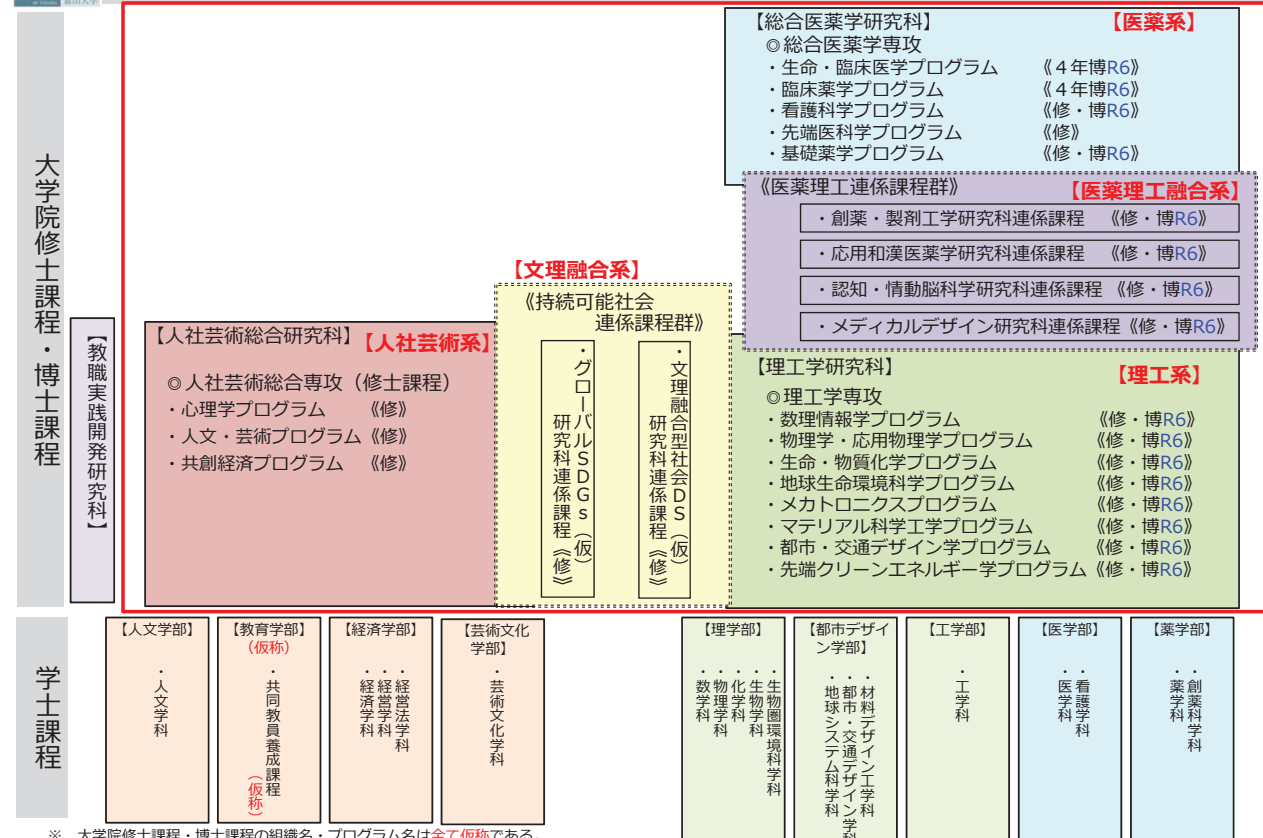
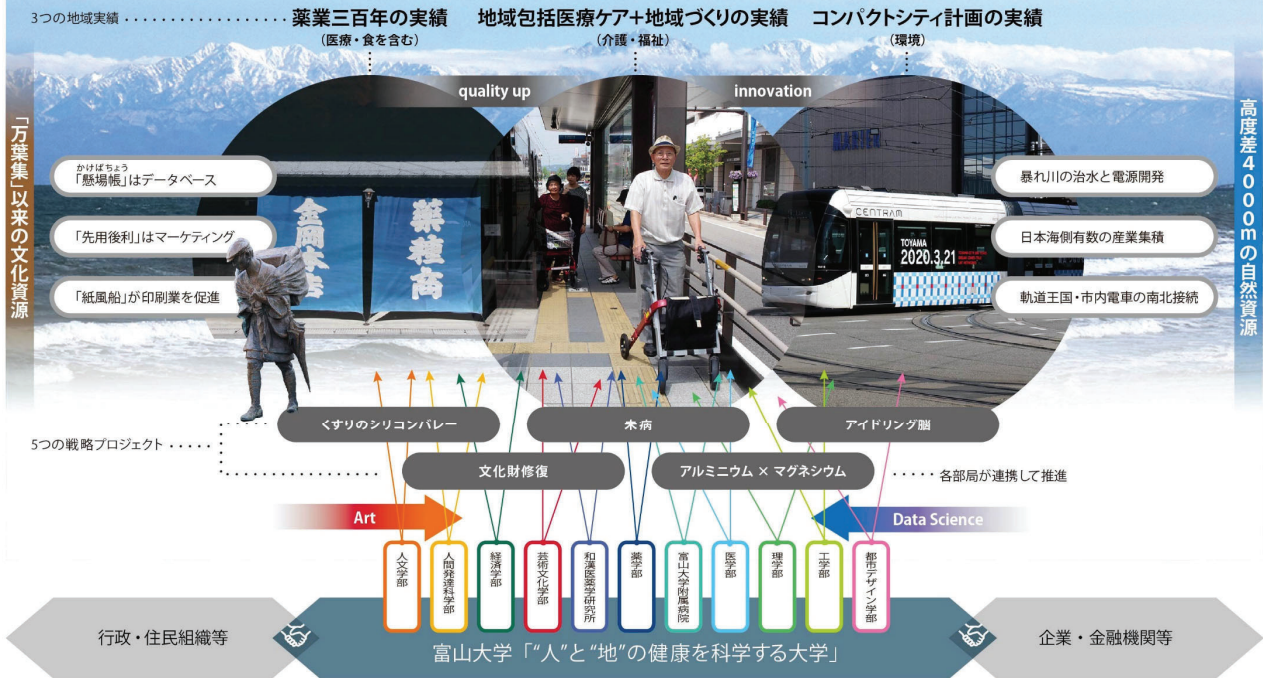
大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

〔大目標〕 “人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”

〔具体的戦略〕 “地域医療包括ケアと環境都市との相乗”



○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供

【授業科目】

- 研究倫理 必修
 - 科学技術と持続可能社会 必修
 - 地域共生社会特論
 - 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
 - アート・デザイン思考
 - 英語論文作成Ⅰ
 - 英語論文作成Ⅱ
 - データサイエンス特論
 - キャリア教育
 - 知的財産法
- ※名称は、全て仮称

○専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築

生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入する。客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

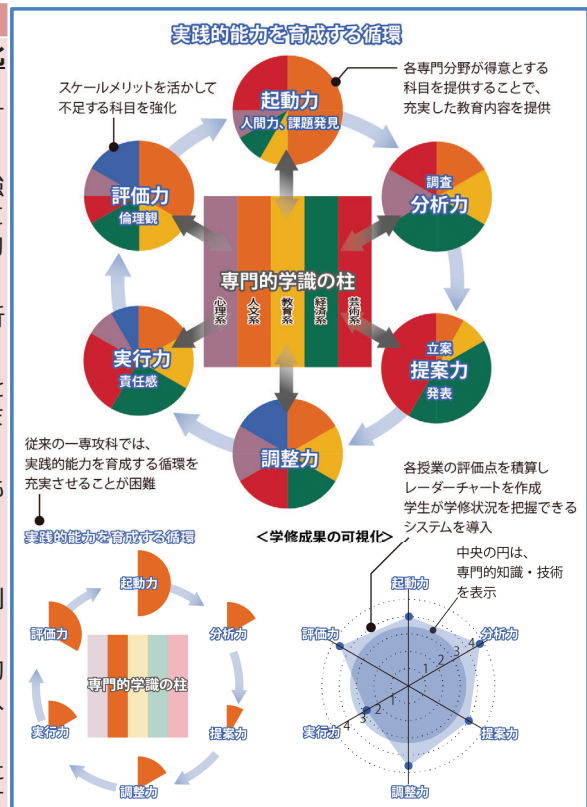
大括り化によって達成できる課題に対応した能力育成

・人社芸術総合研究科では、**人文科学、社会科学、芸術文化の専門的学識と社会における高い実践的能力**を相乗させ、新たな価値・文化・社会を創ることができる人材を養成する。

- ①起動力：課題解決または価値創造に向けた取り組みを、強い動機付けをもって始めようとする力。人社芸術系諸分野に関する基盤的学識によって涵養する人間力に基づく普遍的な理念と美的感性によって着眼する能力。
- ②分析力：取り組みを行うための条件を絞り込む調査・分析力。データサイエンスを活用して方向性を特定する力。
- ③提案力：営利・非営利、組織形態等を問わず、取り組みを実現するために、それぞれの専門的知識・技術を活かしまとめる立案力。
- ④調整力：提案に対する多様な意見聴取を行い、それらをもとに調整し、実現可能な取り組みにまとめあげる力。
- ⑤実行力：責任感を持って取り組みを推進していく行動力。
- ⑥評価力：倫理観を持って取り組みを社会的な観点から批判的、俯瞰的に捉える力。

・従来の一専攻科では充実させることが困難であった実践的能力を育成する循環を、大括り化によって充実させる。スケールメリットを活かして、不足する科目を強化。

・授業では各能力に対応した評価点をつけ、これを積算したレーダーチャートを作成することで、学修成果を可視化する。学位授与方針に直結した教育課程を編成を行い、それを評価することで社会が求める人材を確実の養成する。



実践的能力を養う研究科共通必修科目「地域共創特別演習」

<授業のねらい>

- ・学位授与方針に掲げる6つの能力を育成する科目として、現実の課題をテーマとしたPBL形式の演習科目（1年次2単位）とする。
- ・専門が異なる学生が混在するチームを編成し、お互いの能力を最大化する情報共有、意見調整、統合方法などの協働を学ぶ。

<達成目標>

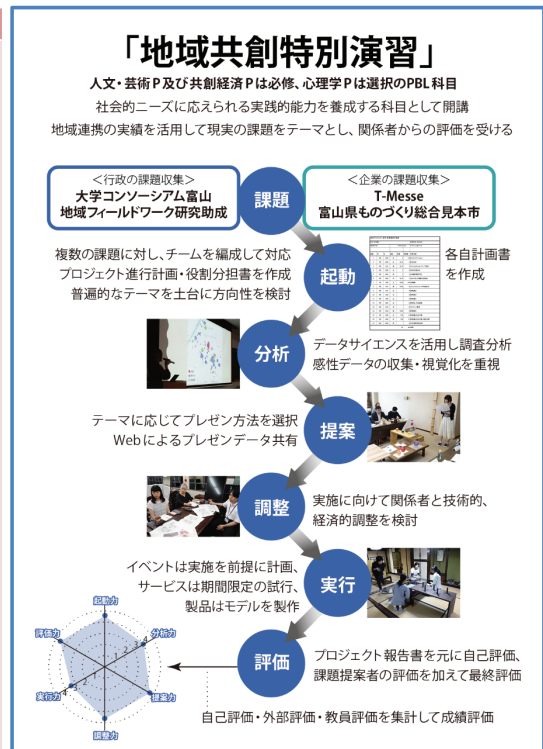
- ・6つの能力を一段階上げる（授業開始時自己評価と比較）。
- ・作業内容、日程、役割分担、予算計画など、プロジェクト管理できる能力を身につける。

<授業計画>

- ・組織的に集めた課題に対して、4～6名を1チームとして対応する。
- ①起動力：現実的な課題に対して、普遍的な理念や社会があるべき姿を起点に、課題解決への方向性を徹底的に議論する。
 - ②分析力：DSを活用、感性データの収集・視覚化を重視する。
 - ③提案力：テーマに応じたプレゼン方法を選択すると共に、Webによるプレゼンデータの共有を図る。
 - ④調整力：実施に向けて関係者と技術的、経済的課題を検討。
 - ⑤実行力：イベントは実施を前提に計画、サービスは期間限定の試行、製品はモデルを製作するなど課題に応じて成果対象を設定。
 - ⑥評価力：プロジェクト報告書を元に自己評価・学生評価を行う。

<成績評価>

- ・自己評価・外部評価・教員評価を集計して成績評価点をつけ、これをレーダーチャート化し、各自が自己点検を行う。



6

人文、社会、芸術に関わる自己の専門分野についての高度な専門的学識を有するだけでなく、人間の文化、社会、芸術活動を総合的に俯瞰する視野を備え、現代的諸課題に適切に対処することのできる人材を養成することを目的として3つのプログラムを設ける。

人文・芸術プログラム（学位：文学，芸術文化学，学術）

本プログラムは、幅広い分野に関する基礎的能力を有し、人文学、芸術文化学及びスポーツ科学に関わる諸分野についての高度な専門的学識、高い倫理観と豊かな創造力を持ち、これらの諸科学に関わる各分野を発展させ、その成果を社会に還元することのできる能力を備えた人材を養成する。

本プログラムの教育により、地方自治体・行政機関職員、学芸員、中学校・高校教員、大学職員、民間企業社員、アーティスト、デザイナー、文化財修復士を社会に送り出す。

共創経済プログラム（学位：経済学・経営学・学術）

経済学・経営学・法学という社会科学の主要な分野に関する基盤的能力と高度な専門的学識を有し、広く人間の経済的・社会的活動を俯瞰する視野を備え、現代的諸課題に適切に対処できる人材を養成する。同時に、経営学と芸術文化学を横断した教育により、デザイン経営に関わる学際的研究を行い、デザインの視点や思考を取り入れイノベーションを創出する能力を有する人材を養成する。

本プログラムの教育により、民間企業社員、地方自治体・行政機関職員、大学職員、経営者を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、激変する現代社会の課題に対応できるような専門的能力・知識を身に付けさせる。

心理学プログラム（学位：文学，学術）

心理学に関連する多様な分野に関する基盤的能力とともに、心理学の高度な専門的学識、多角的な洞察力及び専門性を要する職業に必要な実践力を有し、高い倫理観と豊かな想像力を持ち、心理学を発展させ、その成果を社会に還元することのできる能力を備えた高度専門的職業人を養成する。

本プログラムの教育により、地方自治体職員（児童相談所、福祉事業所、教育委員会など）、国家公務員（心理職）、病院職員、民間企業の専門職、大学職員、NPO（就労支援、障害者支援など）、スクールカウンセラー、ユースワーカーを社会に送り出す。

7

環境、経済、社会の課題は相互に絡み合っており、ひとつの課題に個別に対応するのではなく、ひとつの課題解決が他の課題解決にもつながるような取り組みが必要となる。このような課題解決についての大学院教育は、「専門性」を重視する個々の研究科では実施が困難であり、**文理の枠を超えて総合的・多角的に課題解決ができる人材の育成が必要**である。

「持続可能社会」を実現するためには、ひとびとの生活の場である「地域」に加えて「地球規模」でも持続可能なものにならなければならない。富山県は、高低差4,000 mの変化に富んだ自然環境の中に小さな集落や中核市が存在する日本の縮図と言え、持続可能社会を考え、学修するフィールドとして高いポテンシャルを持っている。我が国において解消が進まない首都圏一極集中や高齢化により地方の活力が低下する中、**自らが築いてきた専門性（バックグラウンド）を活かして、データサイエンス、AIを活用して地域課題を解決できる高度人材の育成が必要**である。一方、地球温暖化、海洋汚染、地域間格差の解消、大規模感染症対策をはじめとする、大規模な課題解決には、「地域」、「地球規模」の両方の視点に加えて「国際的」視点を持ち、**様々な課題に対して柔軟に対応し、SDGs達成に貢献していく高度人材の育成が必要**である。

こうした背景から、人社芸術総合研究科と理工学研究科が緊密に連係することにより、これら2分野の研究科等連係課程を新たに設ける。

文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程（学位：学術）

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決できる能力を養うだけでなく、そこから新しい価値を創造し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。

この課程における教育により、地域の経済・公的機関・産業をデータサイエンスで支えるオールラウンド型の人材を社会へ送り出す。さらに、この課程はリカレント教育を重視し、地方公共団体の行政職や企業に在籍する社会人を受け入れ、地域や在籍企業が直面する実際の課題を修士論文テーマと位置付けて課題を発見・解決する教育を行う。

グローバルSDGs研究科連係課程（学位：サステナビリティ学）

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

この課程における教育により、国内外官公庁、国連・国際NGO等の国際機関、地方自治体、教育機関、多国籍製造業、金融業（ESG投資関連企業）、CSR企業、研究機関において活躍する人材を社会に送り出す。

さらに、この課程はリカレント教育を重視し、研究より知識・技能の習得に重点を置いたスペシャリスト・トラックを設ける。

「人」と「地」の健康」に対し、スマートシティの実現にデータコンサルタントとして貢献できる人材を育成する

地域の経済・公的機関・産業をDSで支えるオールラウンド型

地域の経済を支える人材
総合商社、広告代理店、保険会社、金融機関、サービス産業

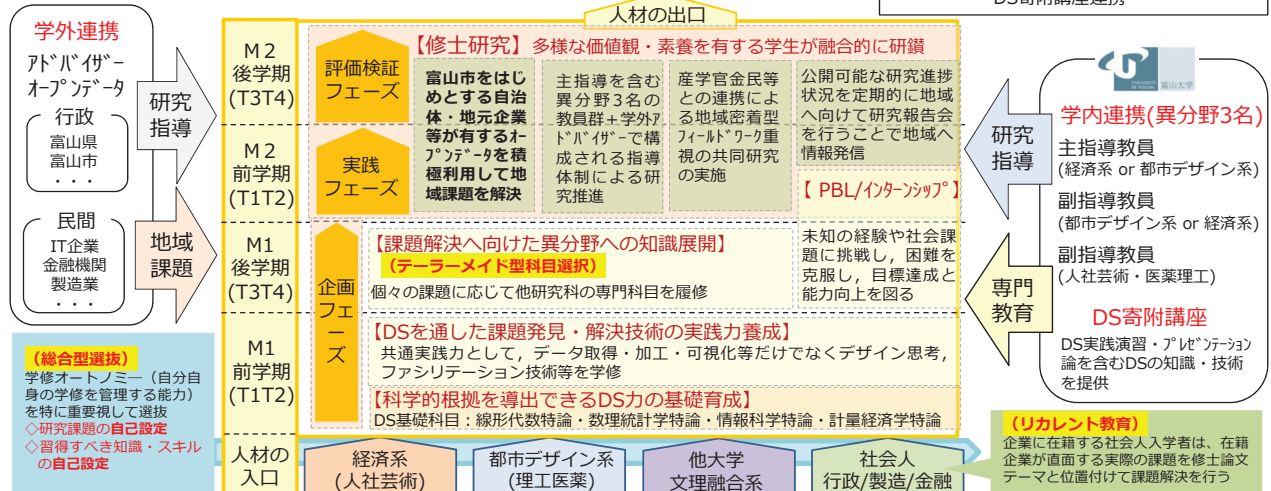
地域の公的機関を支える人材
行政機関（国・県・市町村）、病院・医療機関、インフラ業

地域の産業を支える人材
IT企業、製造業、製菓業、農林水産業

都市・交通デザイン系博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士（学術）
 想定進学元：経済系、都市デザイン系、他大学文理融合系、社会人
 想定就職先：国（総務省/国交省/環境省等）、地方自治体、コンサル（政策/都市/IT）、保険、IT社、旅行等
 キーワード：文理融合、持続可能社会、地方創生、地域課題解決、リカレント教育、DS寄附講座連携



個々の課題に応じたテラーメイド型学修プログラムによる文理融合型DSジェネラリストの育成

- 研究科連係課程の概要
現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことによる課題発見・解決力と価値創造力を有し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材育成を目指す
- 研究科連係課程の特色ある教育
 - ・研究課題に応じて習得すべき知識・スキルを事前に計画する能力を総合型選抜で精査（入学前に履修モデルを決定）
 - ・課題に応じて他研究科専門科目を履修するテラーメイド型学修プログラムと文理融合型の教育研究指導体制
 - ・富山市と連携し（物流や交通量などのオープンデータの活用）スマートシティの実現に向けた実践的な課題解決型の共同研究を推進
 - ・グローバルSDGsとの連携により、ローカルとグローバルの視点を養成
- 人と地の健康との関連
地域が抱える様々な課題に対して課題解決を導くデータ分析を行うことで、人と地の健康の実現に向けた様々な知見を得る

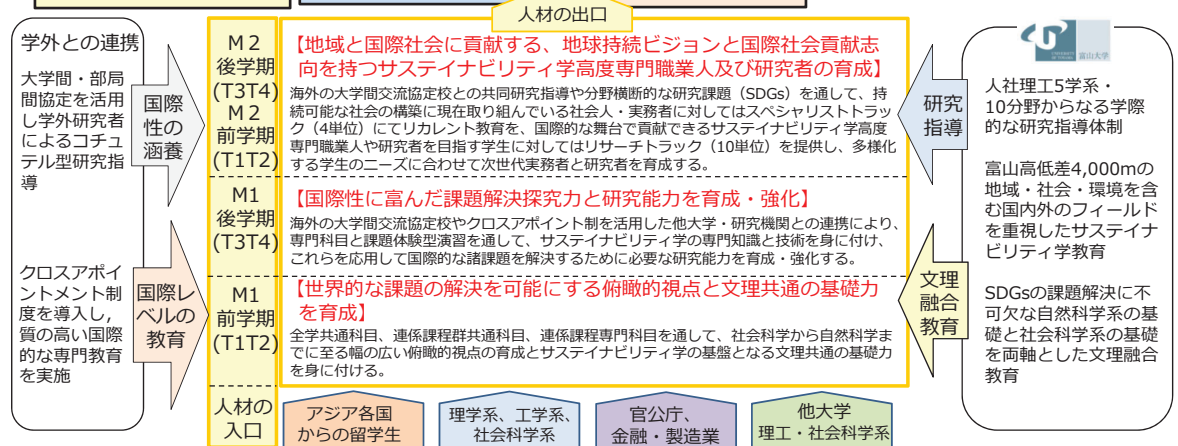


「人」と「地」の健康」に対して、高低差4,000mの自然環境と共生した中核市富山を舞台に地球持続ビジョンと国際社会貢献志向をもつ人材の育成から貢献する

政策立案者・公務員・教育職員 世界の舞台で活躍する企業人 サステナビリティ学研究者

国内外官公庁・国際機関（国連・国際NGO）・地方自治体（国際系）・教育機関
 多国籍製造業・環境コンサルタント・金融業（CSR企業・認証制度企業・ESG投資関連企業）
 研究者（公的研究機関・民間企業・サステナビリティ学系大学院進学）

授与学位：修士（サステナビリティ学）
 想定進学元：理工系、経済経営系、行政職員、金融業、製造業
 想定就職先：国内外官公庁（政策立案）・国連・国際NGO、地方自治体（国際系）、多国籍製造業・金融業、博士課程進学
 キーワード：持続可能社会、文理融合教育、バイリンガル教育、リカレント教育対応



地球規模、地域の両方の視点において、持続可能社会の実現のために課題解決ができる高度人材の育成

- 研究科連係課程の概要
 - ・環境・社会・経済の相互に関連する課題の解決を強く意識した文理融合型教育・研究を通して、持続可能社会の構築に必要な専門知識を修得する
 - ・持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”の教育を通して、SDGsの課題解決に貢献できる人材を育成する
- 研究科連係課程の特色ある教育
 - ・バイリンガル教育により、学生によっては英語により実施される授業のみで学位取得が可能な教育課程である
 - ・大学間交流協定校との連携により海外実践演習やコチュテル型研究指導を実施し、海外の研究者とのPBLを通じてSDGsの課題解決に必要な実践力を養う
 - ・多様化する学生のニーズに応じ、最先端の研究を重視したリサーチトラックとともに、リカレント教育に特化したスペシャリストトラックを提供する
 - ・文理融合型社会DSとの連携により、地域が抱える課題にも取り組み、SDGsの課題解決に必要な多様なデータを解析する技術を習得する
- 人と地の健康との関連
 - ・“One Planet, One Health”の理念に則り、科学的根拠に基づいて真に持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成する

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

人文社会芸術総合研究科 → 人文社会芸術総合研究科
 持続可能社会連係課程群 → 持続可能社会創成学環
 文理融合型データサイエンス研究科連係課程 → 社会データサイエンスプログラム
 グローバルSDGs研究科連係課程 → グローバルSDGsプログラム

医薬理工連係課程群 → 医薬理工学環
 創薬・製剤工学研究科連係課程 → 創薬・製剤工学プログラム
 応用和漢医薬学研究科連係課程 → 応用和漢医薬学プログラム
 認知・情動脳科学研究科連係課程 → 認知・情動脳科学プログラム
 メディカルデザイン研究科連係課程 → メディカルデザインプログラム

企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

理工系学部・大学院，創薬科学科・創薬科学専攻を卒業・修了した者を2名以上採用した企業等，又は1名採用で富山県，石川県，愛知県に本社又は事業所等がある企業等
428社・機関

(2) 調査の方法

上記対象企業等に，質問及び構想に関する資料を送付し，インターネットを通じて回答を得た。

(3) 回答数・回答率

回答数：73社・機関 回答率：17.0%

(4) 調査期間

令和3年1月29日～2月17日

2. 調査結果

問1. 会社等の概要

(1) 貴社・貴機関の属する業種について，次の中から該当するものを選択してください(主たるものを1つ)。

業種	回答数
製造業	32
卸売業，小売業	7
情報通信業	5
公務（他に分類されるものを除く）	5
学術研究，専門・技術サービス業	5
電気・ガス・熱供給・水道業	4
建設業	4
教育，学習支援業	3
サービス業（他に分類されないもの）	3
金融業，保険業	2
複合サービス事業	1
医療，福祉	1

合計	72
----	----

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当するものを選択してください。

従業員数	回答数
5,000人以上	7
2,000～5,000人未満	5
1,000～2,000人未満	8
300～1,000人未満	25
100～300人未満	20
50～100人未満	1
50人未満	6
合計	72

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

所在地	回答数
富山県	35
石川県	17
愛知県	11
東京都	3
福井県	2
兵庫県	1
大阪府	1
新潟県	1
岐阜県	1
合計	72

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

修士採用実績	回答数
採用実績あり	63
採用実績なし	9

合計	72
----	----

(2) 貴社・貴機関が理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
対象分野における高度な専門知識と運用能力	37	29	6	0	72
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	34	35	3	0	72
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	35	29	8	0	72
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	54	16	2	0	72
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	46	23	3	0	72
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	12	34	21	5	72
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	49	22	1	0	72
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	31	34	7	0	72
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	21	33	18	0	72
データ処理, 分析, 活用能力	36	29	7	0	72
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	29	31	11	1	72

その他の回答

- ・ 専門分野以外の基礎学力（高3レベル）
- ・ 自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力
- ・ 課題解決能力
- ・ 協調性、主体性、コミュニケーション能力
- ・ 基礎知識はある程度期待を持っておりますが、技術やスキルは仕事で培うことが可能なため、気遣いや積極性などの人間性を重視しております。
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 専門性だけでなく一般教養も大切だと思います。

問3. 本学大学院の改革構想

- (1) 大学院理工学研究科における幅広い分野が融合した教育を受けた人材を、これまでの単一の分野の専門的教育を受けた人材と比べて、より必要と考えますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
極めて必要である	17
どちらかという必要である	40
どちらともいえない	12
あまり必要でない	3
まったく必要でない	0
分からない	0
合計	72

- (2) 大学院理工学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	25
どちらともいえない	13
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	72

- (3) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	17
どちらともいえない	14
あまり評価できない	0

まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

- (4) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	19
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

- (5) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程において、医薬学系と理工学系との関係により医薬品研究開発プロセスを学び実践できる教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	15
どちらともいえない	12
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

- (6) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	16
どちらともいえない	12
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0

分からない	10
合計	72

- (7) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程において、和漢医薬学に関する専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、生命現象や創薬工学を深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	15
どちらともいえない	13
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

- (8) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	32
少し評価できる	14
どちらともいえない	16
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

- (9) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程において、神経科学での専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、認知科学や人工知能、さらに中枢神経作用薬開発などを深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	18
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	1

分からない	8
合計	72

- (10) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	32
少し評価できる	13
どちらともいえない	18
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	9
合計	72

- (11) 大学院メディカルデザイン研究科連係課程において、医療・福祉機器・サービス開発に関する工学系の知識に加えて、医療・福祉に関する基礎知識を、医学・病院関係者の協力に基づく正規の教育課程として体系的に身に付けさせる教育について評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	20
どちらともいえない	14
あまり評価できない	0
まったく評価できない	1
分からない	10
合計	72

- (12) 大学院メディカルデザイン研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	25
少し評価できる	21
どちらともいえない	16
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0

分からない	10
合計	72

- (13) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	32
どちらともいえない	7
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	6
合計	72

- (14) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	28
どちらともいえない	13
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	4
合計	72

- (15) 大学院グローバル SDGs 研究科連係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	36
少し評価できる	24
どちらともいえない	7
あまり評価できない	3
まったく評価できない	0

分からない	2
合計	72

(16) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	37
少し評価できる	23
どちらともいえない	10
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	1
合計	72

(17) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	22
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	4
合計	72

問4. 社会人に対するリカレント教育

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	43
特定の分野について、深く追求し研究する内容	46
幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容	41
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	28

合計	158
----	-----

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員等のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	3
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	2
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	13
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	41
必要性を感じない	7
わからない	1
その他	5
合計	72

その他の回答

- ・大学院の魅力は感じておりますが、会社側から大学院への入学を推奨する予定はございません。
- ・特定の大学と連携をとっているため。他大学は現状未定。
- ・本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部を本人が負担）
- ・会社や現場の理解が得られれば、入学させるのもやぶさかではない
- ・人事制度の整備が必要

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	96
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	16
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	13
その他	4
合計	96

その他の回答

- ・現場に直結する研究に投資が偏ることは大きなリスクと考えます
- ・特定の大学と連携をとっているため。他大学は現状未定。

- ・ 大学との距離 オンライン学習が望ましい
- ・ 社業との関連性

問5. 大学院修士課程修了者の採用

- (1) 大学院理工学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	32
どちらかといえば採用したい	29
採用したいとは思わない	3
分からない	8
合計	72

- (2) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	13
どちらかといえば採用したい	14
採用したいとは思わない	15
分からない	30
合計	72

- (3) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	11
どちらかといえば採用したい	12
採用したいとは思わない	19
分からない	30
合計	72

- (4) 大学院応用和漢医薬学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	7

どちらかといえば採用したい	12
採用したいとは思わない	20
分からない	33
合計	72

- (5) 大学院認知・情動脳科学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	5
どちらかといえば採用したい	23
採用したいとは思わない	17
分からない	27
合計	72

- (6) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	3
どちらかといえば採用したい	20
採用したいとは思わない	17
分からない	32
合計	72

- (7) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	17
どちらかといえば採用したい	29
採用したいとは思わない	6
分からない	20
合計	72

- (8) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
----------	-----

積極的に採用したい	15
どちらかといえば採用したい	25
採用したいとは思わない	5
分からない	27
合計	72

その他

(1) 差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

富山日産自動車株式会社

株式会社富山育英センター

株式会社広貫堂

株式会社サンコー

名古屋製酪株式会社

ディーピーティー株式会社

株式会社リョーシン

NOK 株式会社

株式会社ホクリクコム

富山県農業共済組合

株式会社ハイテックス

金森産業株式会社

Labore 株式会社

旭メタルズ株式会社

JAPAN TESTING LABORATORIES 株式会社

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

株式会社バッファロー

中村留精密工業株式会社

ダイト株式会社

新東工業株式会社

シロウマサイエンス株式会社

株式会社アルトナー

株式会社アテック

三和工機株式会社

富山高等専門学校

東振グループ (株式会社 東振精機 / 株式会社 東振テクニカル)

株式会社メイテツコム

北陸電力株式会社

竹田設計工業株式会社
株式会社クスリのアオキ
株式会社日本オープンシステムズ
富山労働局
福井県教育委員会
三谷産業イー・シー株式会社
興和株式会社
国土交通省北陸地方整備局
澁谷工業株式会社
富山市

(2) 最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

- ・薬都富山と環境をアピールでき、多様多様な人材が集まり、賑わいの創出に繋がるよう期待します。
- ・今後とも宜しく願います。
- ・弊社はモノづくり業界を中心とした『設計開発職』での募集をしておりますので、工学系（情報、機械、電気電子）以外の分野につきましては『採用したいとは思わない』を選択させていただいております。ご了承いただけますと幸いです。
- ・採用をわからないとしましたが、本組合に一般採用に大学院の基準がなく魅力を感じないのではと思い、わからないとさせていただきました。
- ・積極的貢献のできる修了者輩出に期待いたします。
- ・この度はアンケート回答の機会をいただきありがとうございます。社会環境の変化に伴う教育現場の構造改革について勉強させていただきました。今後ともよろしく願います。
- ・社会的背景を意識しつつ、富山大学の強みを残そうとする行動は非常に素晴らしいと感じました。
- ・すばらしい取り組みだと思います。これからの時代に活躍される人材を多く輩出されることを期待しています。
- ・壮大な構想は素晴らしいと思うが、絵に描いた餅に終わらせず、改組による劇的な変化・改革を期待したい。
- ・今回の改組のように新しいことへの取組は、時代の変化に応じて進めていくべきだと思います。
- ・引き続き質の高い教育をしていただき、優秀な学生を社会に送り出していただきましたら幸いです。

富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート

このアンケートは、改組予定の富山大学大学院の修了者に関する社会的ニーズを把握し、今後の改組準備に役立てるために実施するものです。調査結果は、本学の大学院教育の改革に活用していくものになりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

問1. 会社等の概要

貴社の概要について教えてください。

(1) 貴社・貴機関の属する業種について、該当する番号を記載してください。（主たるものを1つ）。

回答番号：()

1. 農業，林業 2. 漁業 3. 鉱業，採石業，砂利採取業
4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業 8. 運輸業，郵便業 9. 卸売業，小売業
10. 金融業，保険業 11. 不動産業，物品賃貸業 12. 学術研究，専門・技術サービス業
13. 宿泊業，飲食サービス業 14. 生活関連サービス業，娯楽業 15. 教育，学習支援業
16. 医療，福祉 17. 複合サービス事業 18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く） 20. 上記以外 ()

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 50 人未満 2. 50～100 人未満 3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満 5. 1,000～2,000 人未満 6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

回答欄：()

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 採用実績あり
2. 採用実績なし

(2) 貴社・貴機関が理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する番号を記載してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

【知識】

- ・対象分野における高度な専門知識と運用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【思考】

- ・論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【コミュニケーション】

- ・自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・リーダーとしてチームをマネジメントする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【創造力】

- ・社会的・経済的・文化的価値を創出する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【高度スキル】

- ・データ処理, 分析, 活用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【倫理】

- ・研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【その他, 貴社がとくに重視したい能力がありましたら記載願います】

{ }

問3. 本学大学院の改革構想

大変お手数ですが、本設問は、別途添付している「富山大学大学院の改組構想」をご覧になった上で、ご回答ください。

(1) 大学院理工学研究科における幅広い分野が融合した教育を受けた人材を、これまでの単一の分野の専門的教育を受けた人材と比べて、より必要と考えますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 極めて必要である
2. どちらかという必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. まったく必要でない
6. 分からない

(2) 大学院理工学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(3) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(4) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(5) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程において、医薬学系と理工学系との関係により医薬品研究開発プロセスを学び実践できる教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(6) 大学院創薬・製剤工学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(7) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程において、和漢医薬学に関する専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、生命現象や創薬工学を深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(8) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(9) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程において、神経科学での専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、認知科学や人工知能、さらに中枢神経作用薬開発などを深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(10) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(11) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程において、医療・福祉機器・サービス開発に関する工学系の知識に加えて、医療・福祉に関する基礎知識を、医学・病院関係者の協力に基づく正規の教育課程として体系的に身に付けさせる教育について評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(12) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(13) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(14) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(15) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(16) 大学院グローバル SDGs 研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(17) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

問4 社会人に対するリカレント教育

用語説明：リカレント教育について

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えており、人生 100 年時代を見据え、転職や起業を行う「人生の再設計」や技術革新に対応したスキル修得のための「学び直し」の重要性が、内閣府の経済財政報告など複数の政府・行政機関の報告等で指摘されています。

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、理念が生まれた欧州における本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返して「学び直す」ことです。しかし、日本においては、長期雇用の慣行があることから、働きながら学び直すこともリカレント教育に含まれます。

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 5)

1. 特定の分野について、最新の知識を学修する内容
2. 特定の分野について、深く追求し研究する内容
3. 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容
4. 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容
5. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
2. ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）
3. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
4. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）
5. 必要性を感じない
6. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 4)

1. 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難
2. 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない
3. 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない
4. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院理工学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(2) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(3) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(4) 大学院応用和漢医薬学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(5) 大学院認知・情動脳科学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(6) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(7) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(8) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

()

最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

()

以上

富山大学大学院の 改革・再編の構想 (主に理系大学院)

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化学研究科

大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

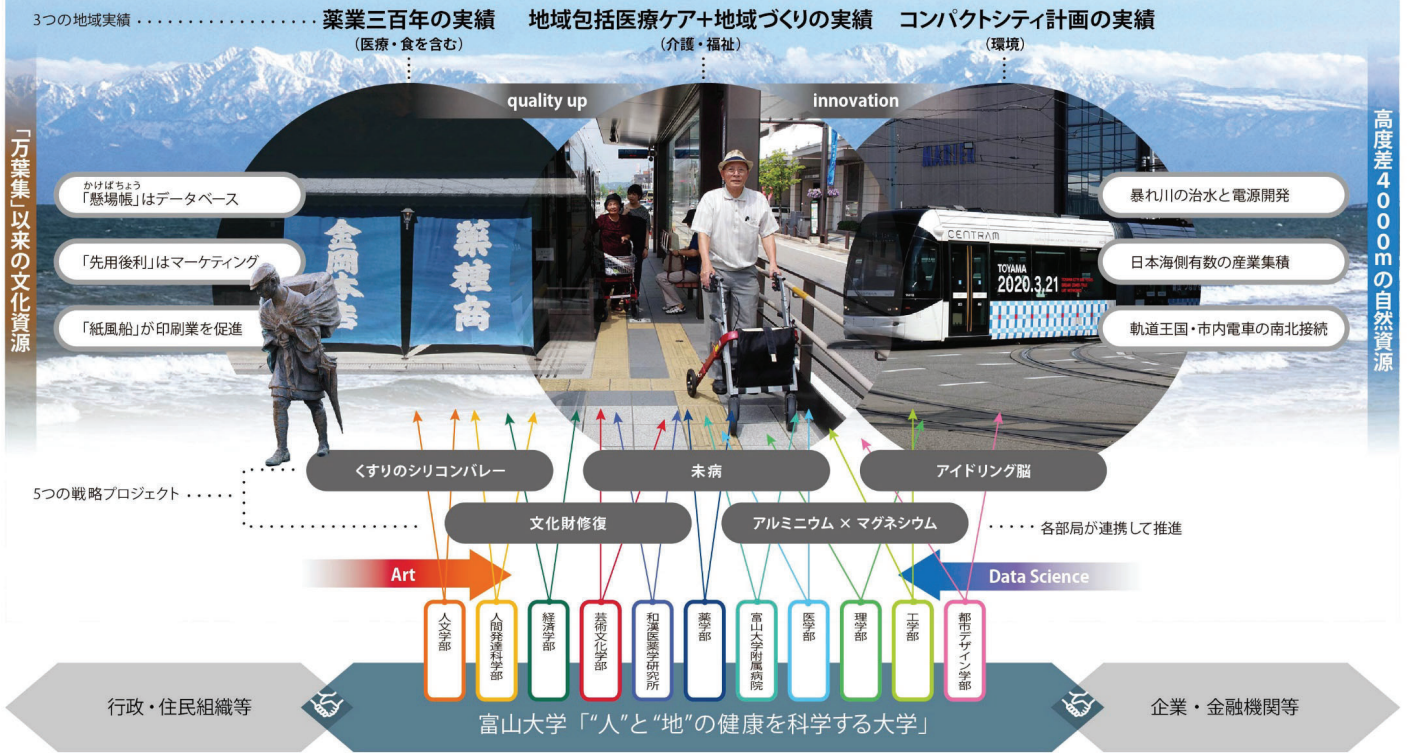
大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

〔大目標〕 “人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”

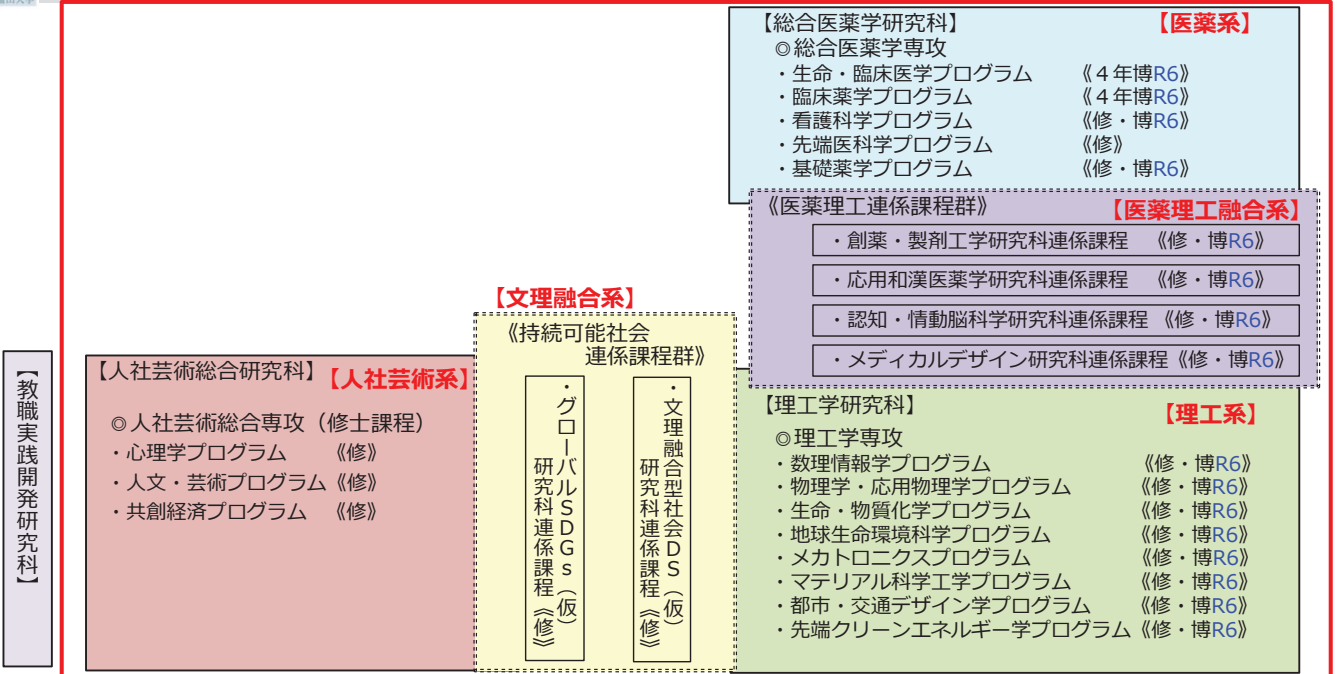
〔具体的戦略〕 “地域医療包括ケアと環境都市との相乗”



高度差4000mの自然資源

令和4年度の新たな大学院組織のイメージ

大学院修士課程・博士課程



<p>【人文学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人文学科 	<p>【教育学部】 (仮称)</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同教員養成課程 (仮称) 	<p>【経済学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済学科 経営法学科 	<p>【芸術文化学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化学科 	<p>【理学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物理学科 生物圏環境科学科 	<p>【都市デザイン学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市・交通デザイン学科 地球システム科学科 	<p>【工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工学科 	<p>【医学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学科 	<p>【薬学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 創薬科学科 薬学科
--	--	---	--	---	--	--	---	---

※ 大学院修士課程・博士課程の組織名・プログラム名は全て仮称である。

○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供

【授業科目】

- 研究倫理 必修
- 科学技術と持続可能社会 必修
- 地域共生社会特論
- 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
- アート・デザイン思考
- 英語論文作成Ⅰ
- 英語論文作成Ⅱ
- データサイエンス特論
- キャリア教育
- 知的財産法

※名称は、全て仮称

○専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築

生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入する。客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

・ **理学・工学の学問領域の相補的・相乗的な連携を強化した多様なプログラム**と、さらに、2つの学問領域の枠を超えた、新しい学問領域に対応するプログラムを組織し、教員が複数のプログラムに跨って学生を指導する。

・ **理学系の学生が工学系の教員から、自然科学分野の成果を社会実装することの意義と必要性を習得**ことができ、**工学系の学生が理学系の教員から、技術の社会実装における原理原則の重要性と必要性を修得**する。

・ 理学及び工学の分野の特徴を活かした理工学研究科共通科目により、それぞれの**学問分野を理学的視点と工学的視点の両面から理解する理工一体化した教育が可能**となり、**両学問の特徴を十分理解した上で専門分野の能力を社会で発揮できる人材を育成**する。

・ 本改組により

- ①自然科学の深い理解を基礎力として、先端的な自然科学の成果を社会実装できる高度理学系人材を育成する。
- ②技術の社会実装において、自然科学の原理・原則を十分理解し、社会的な説明責任が果たせる高度工学系技術者を育成する。
- ③新しい融合学問領域におけるイノベーションに貢献できる高度理工系人材を育成する。
- ④上記①～③により、「人」と「地」の健康を科学する大学」という富山大学のビジョンに適合し、地域の人々の健康や地域の産業振興を通じた地域社会の健全な発展（「人」と「地」の健康）を理工学分野から支える人材を育成する。

世界を見据え、地域の“人”と“地”の健康に貢献できる人材を育成する理工学研究科



理学と工学の各分野の連携により、従来あった理学と工学の各専攻を、新たに以下の8プログラムに再編する。各プログラムは、それぞれ理学、工学、理工学、数理情報学の学位を授与するが、理学・工学の枠にとらわれずに連携を図る。また、研究科共通科目によって、理工学共通の基盤を修得できるようにする。

数理情報学プログラム（学位：数理情報学）

数学の基礎的素養と情報学の素養を身に付け、幅広い数理情報学の知識、思考力、問題解決能力を持ち、これからの高度情報化社会を担うことができる人材を養成するプログラムで、数理情報学を基盤としたコンピューターサイエンスや量子情報及び情報処理分野の技術革新や教育普及活動を通じて、医療から製造業などの幅広い地域関連産業の振興や教育水準の向上を達成し、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、IT産業における高度情報系技術者、各種産業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の担い手、数理情報学系研究者などの高度理工系技術者などSociety 5.0の根幹を支える人材や、中学校・高等学校の数学教員を社会に送り出す。

物理学・応用物理学プログラム（学位：理工学）

物質の本質を探究する物理学を理解し、実社会に実装された物質に対する洞察力、思考能力を身に付け、問題提起・問題解決に向けて行動できる高度専門職業人を養成するプログラムで、物理学的思考とその応用を基盤として課題の解決に取り組める人材を育成し、関連産業の技術革新及び教育普及活動により地域の産業振興や教育水準の向上を達成し、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、製造業、運輸インフラ業の研究開発技術者などの高度理工系技術者や中学・高等学校の理科教員などの人材を社会に送り出す。

生命・物質化学プログラム（学位：理工学）

生命科学と、化学の基礎から応用を包括する物質化学における幅広い知識、思考力、問題解決能力を有する高度理工系人材を養成するプログラムで、生命科学と物質化学を基盤とした創薬、製薬、バイオセンシング技術、健康の維持・増進、化学関連産業の活性化、地域環境問題の解決等に関する技術革新を通して「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、化学産業、製薬産業、化学分析および生命関連産業に貢献できる高度理工系技術者や研究者を社会に送り出す。

地球生命環境科学プログラム（学位：理学）

地球科学、生物学、環境科学について、高度で幅広い知識と思考力を有する高度理工系人材を養成するプログラムで、地球科学、生物学、環境科学を基盤として、医薬、農業、環境関連産業などに関する技術革新や地域環境問題の解決を通して、地域における人々の健康や産業振興および環境の保全・改善を支えることにより「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、地図、地質、気象、医薬品、食品、農業、環境、分析の各分野の高度理工系技術者や中学校・高等学校の理科教員などの人材を社会に送り出す。

6

メカトロニクスプログラム（学位：工学）

機械工学や電気・電子工学とその関連分野である有機デバイスや情報工学分野の幅広い知識と問題解決能力を持つ人材を養成するプログラムで、電気・電子工学と機械工学を基盤とした技術革新と、それらの関連分野を融合することにより社会的に新しい価値を創出することによって「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、機械、電気・電子産業や関連する情報工学やデバイス関連産業に広く貢献できる高度工学系技術者や研究者を社会に輩出する。

マテリアル科学工学プログラム（学位：工学）

材料科学とその関連分野において、安全・安心社会を構築する材料研究者・エンジニア、マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーを育成することにより、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、金属系素材産業や輸送機械製造メーカーにおいて新規材料の創製・技術開発が可能な高度理工系技術者や、国際的視点を持ち安全・安心で持続可能社会を創成できる人材を社会に送り出す。

都市・交通デザイン学プログラム（学位：工学）

都市・交通デザイン学のスペシャリストを養成するプログラムであり、これらの人材が人口減少・高齢化の時代に求められる「持続可能な地域づくり」を担い、都市・地域創生をリードすることで、「人」と「地」の健康の実現に貢献する。本プログラムの教育により、総合建設業や橋梁メーカーなどで社会インフラを支える高度技術者や、都市・交通計画、防災・環境計画を担当するスペシャリストを社会に送り出す。

先端クリーンエネルギープログラム（学位：理工学）

先端的なクリーンエネルギーに関する即戦力人材を育成するプログラムであり、環境に配慮したクリーンエネルギーの開発・活用を通じて「人」と「地」の健康のうち特に「地」の健康の実現に貢献する。本プログラムの教育により、電力等のインフラ、プラント等の製造業の高度理工系技術者を社会に送り出す。

7



理工学研究科 数理工情報学プログラムの構想概要

基本情報

授与学位：修士（数理工情報学）
博士（数理工情報学）
 想定進学元：理工系，IT産業，教育・学習支援業
 想定就職先：IT企業，国・地方自治体（理工系），教員，教育業
 キーワード：地域産業活性化，イノベーション

「人」と「地」の健康」に対して、数学と情報学の融合による**コンピューターサイエンスや情報処理技術関連分野**で貢献できる人材を育成する

情報科学技術者

IT産業系技術者，システムエンジニア，
アクチュアリー，データサイエンティスト，
数学教材開発者，インベーター

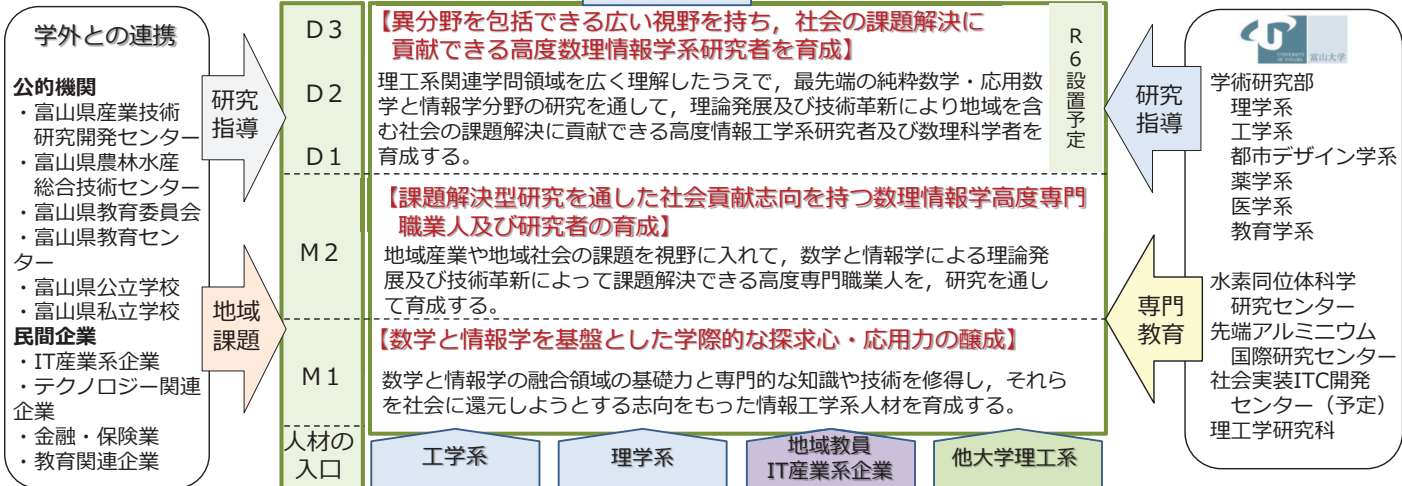
理工系研究者

公的研究機関研究者，理工系
民間企業研究者

公務員・アドバイザー・教員

官公庁公務員，情報系アドバ
イザ，中学校・高等学校教員

人材の出口



地域の諸課題に数理工情報学の立場から貢献出来る高度専門職業人を養成

○プログラムの概要

- ・ Society 5.0を見据えた技術の社会実装へ，地域産業の活性化に**情報処理技術**により貢献できる情報学系技術者・数理工情報学系研究者を輩出
- ・ 人生百年時代を見据え，イノベーションを通じて地域の人々の幸福度を向上させる数理工情報学系人材を輩出

○プログラムの特色ある教育

- ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
- ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
- ・ 教育現場を含む社会との積極的交流による課題把握と実践力の育成
- ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連 数学と情報学の融合によるイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム



理工学研究科 物理学・応用物理学プログラムの構想概要

基本情報

授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
 想定進学元：理工学系学部，教員
 想定就職先：製造業，運輸業，
教育職員，国・地方自治体
 キーワード：思考力と実践力の教育，
研究室インターンシップ，
教育の質の保証

「人」と「地」の健康」に対して、**物理学・応用物理学的思考により物質の本質的な理解とその応用**に実践的に取り組む人材を育成する

製造業技術研究者

製造業・インフラ研究開発技術者(半導体・プロセス，真空技術，企画受注製造分野，これらの技術営業分野等)

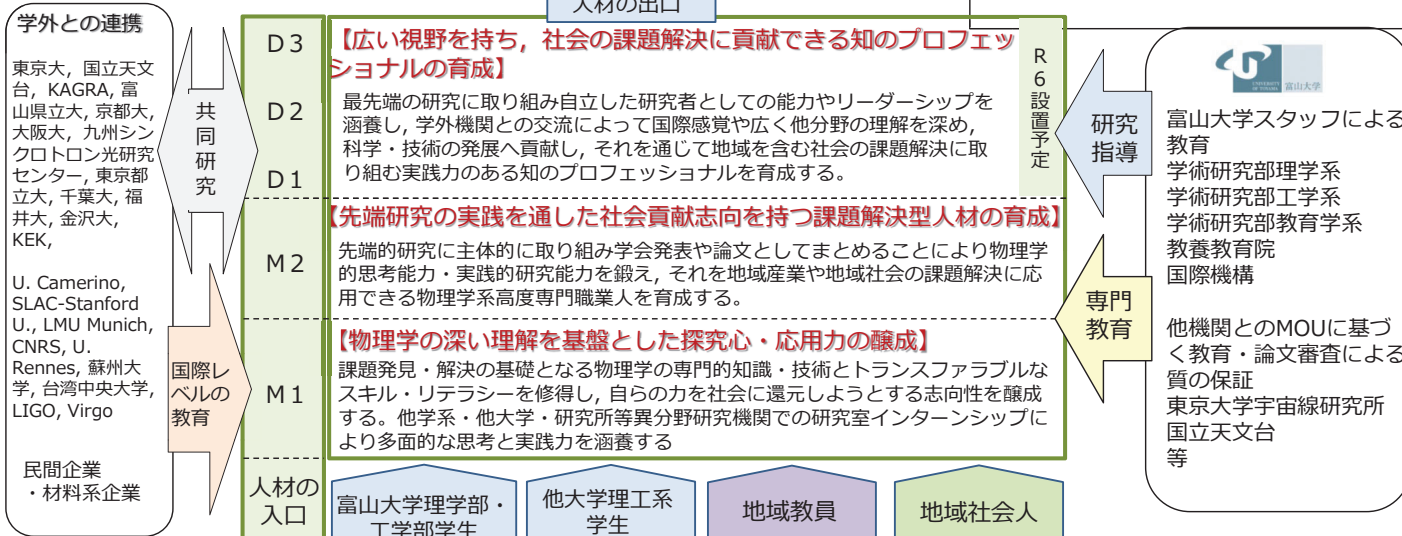
理工系研究者

公的研究機関研究者，
理工系民間企業研究者

教員・公務員

中学・高校教育職員，教育産業，高
等教育機関の教員・教育職，国・地
方自治体公務員

人材の出口



物理学的思考能力を身に付け多様な問題提起・問題解決に向けて行動できる高度専門職業人を養成

○プログラムの概要

- ・ 人生100年時代を見据えマルチステージで普遍的に通用する物理学的思考能力を身につけ，問題解決や教育研究に貢献できるロジカルで実践的行動力のある高度専門職業人として，半導体・プロセス，真空技術，企画受注製造など幅広い物理学・応用物理学の活用が必要となる製造業分野，これらの技術営業分野，理科教育分野等で活躍する人材を育成

○プログラムの特色ある教育

- ・ 研究室インターンシップによる多面的な思考と実践力を涵養する教育
- ・ 国内外の大学，研究所，企業等との活発な連携を活かした広い視野と筋道立った物理学的思考能力・国際感覚・実践力を修得させる教育
- ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連

- ・ 人と地の健康を含めた社会の諸問題に挑む思考力と実践力のある物理学・応用物理学プロフェッショナルの育成

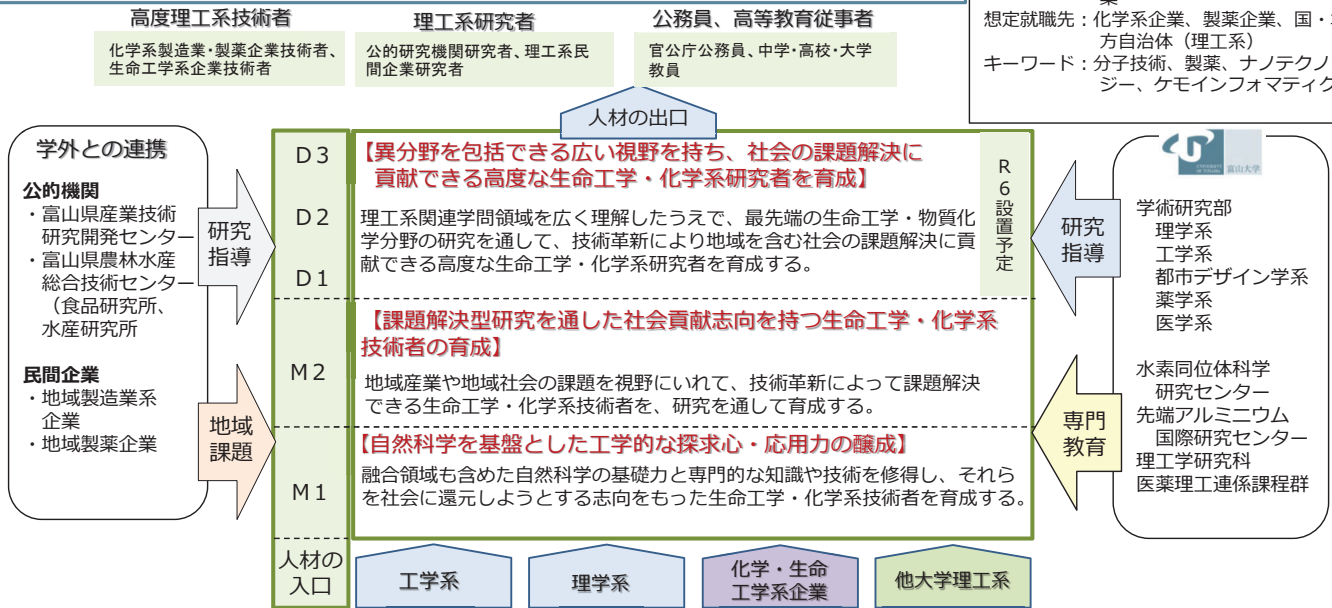


理工学研究科 生命・物質化学プログラムの構想概要

基本情報

「人」と「地」の健康」に対して、生命工学と物質化学を基盤として、**化学と工業化学、さらには物理学や生物学との境界領域**で活躍する人材を育成する

授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
想定進学元：理工系、化学系・生命工学系企業
想定就職先：化学系企業、製薬企業、国・地方自治体（理工学）
キーワード：分子技術、製薬、ナノテクノロジー、ケモインフォマティクス



生命工学と化学を基盤とした教育研究により産業の発展と人々の幸福度を向上させるプログラム

- プログラムの概要
 - ・ Society5.0を見据え、ケモインフォマティクスを活用して地域産業の活性化に貢献できる生命工学・化学系技術者・研究者を輩出
 - ・ 人生百年時代を見据え、イノベーションを通して地域の人々の幸福度を向上させる生命工学・応用化学系人材を輩出
 - ・ 自然科学の基礎と化学に関する専門的な知識をベースに地域の問題解決や高等教育に貢献できる高度理工系人材を輩出
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
 - ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
 - ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 生命工学と物質化学を基盤としたイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム

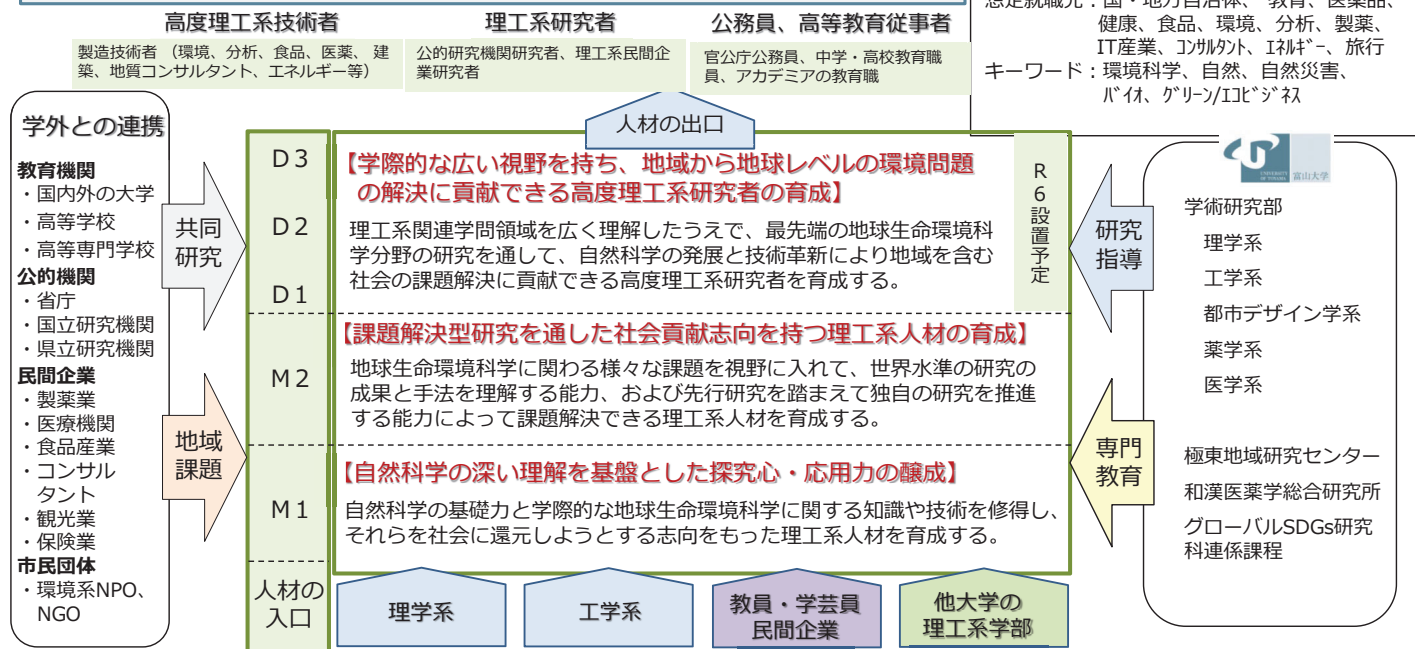


理工学研究科 地球生命環境科学プログラムの構想概要

基本情報

「人」と「地」の健康」に対して、**地域から地球レベルの自然環境問題の解決**に貢献できる人材を育成する

授与学位：修士（理学）
博士（理学）
想定進学元：理工系、行政職員、企業、学芸員
想定就職先：国・地方自治体、環境、分析、製薬、IT産業、ソフトウェア、人材、旅行
キーワード：環境科学、自然、自然災害、ババ、グリーンITビジネス



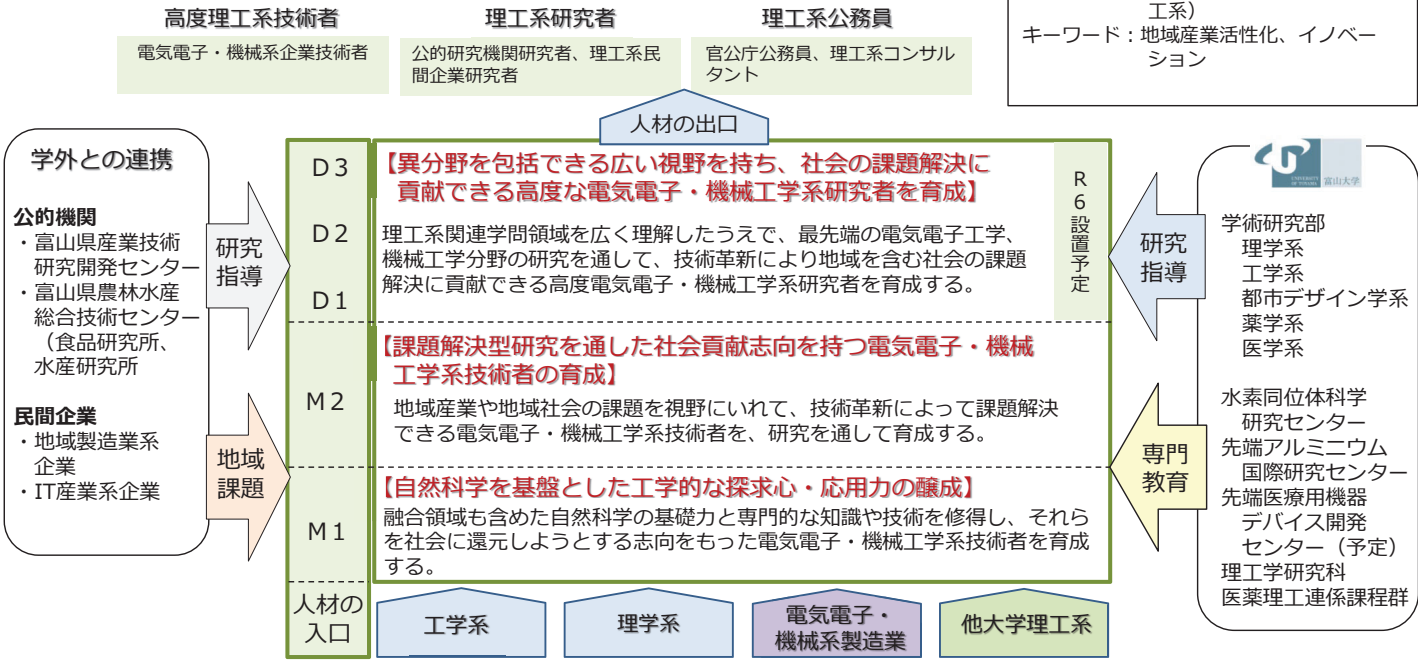
地球生命環境科学に関する最先端で学際的な知識と思考力を持つ、高度理工系人材を育成

- プログラムの概要
 - ・ 自然科学に関する基礎力や地球生命環境科学に関する高度な学際的な知識と思考力を身に付け、社会に貢献できる高度理工系人材の育成
 - ・ Society 5.0を見据えて、研究で身に付けた高度な分析技術・知識を、産業や社会生活に結び付けてイノベーションを創出する人材の育成
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 立山から富山湾に至る高低差4,000mの自然環境を生かしたフィールド教育および研究
 - ・ 生物学から環境科学、地球システム科学まで含めた学際的な地球生命環境科学の研究・教育を展開
 - ・ 学外（行政、民間、学校や公共団体等）と連携しながら、学際的な地球生命環境科学の視点から様々な社会問題を考える講義の実施
 - ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 地域から地球レベルの自然環境問題を認識・解決する人材を育成

「人」と「地」の健康」に対して、電気電子工学と機械工学を基盤として、機械要素設計、エネルギー機器、メカトロニクス・エレクトロニクス・ロボティクス等の分野で活躍できる人材を育成する

基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：理工系、製造業
想定就職先：製造業、国・地方自治体（理工系）
キーワード：地域産業活性化、イノベーション



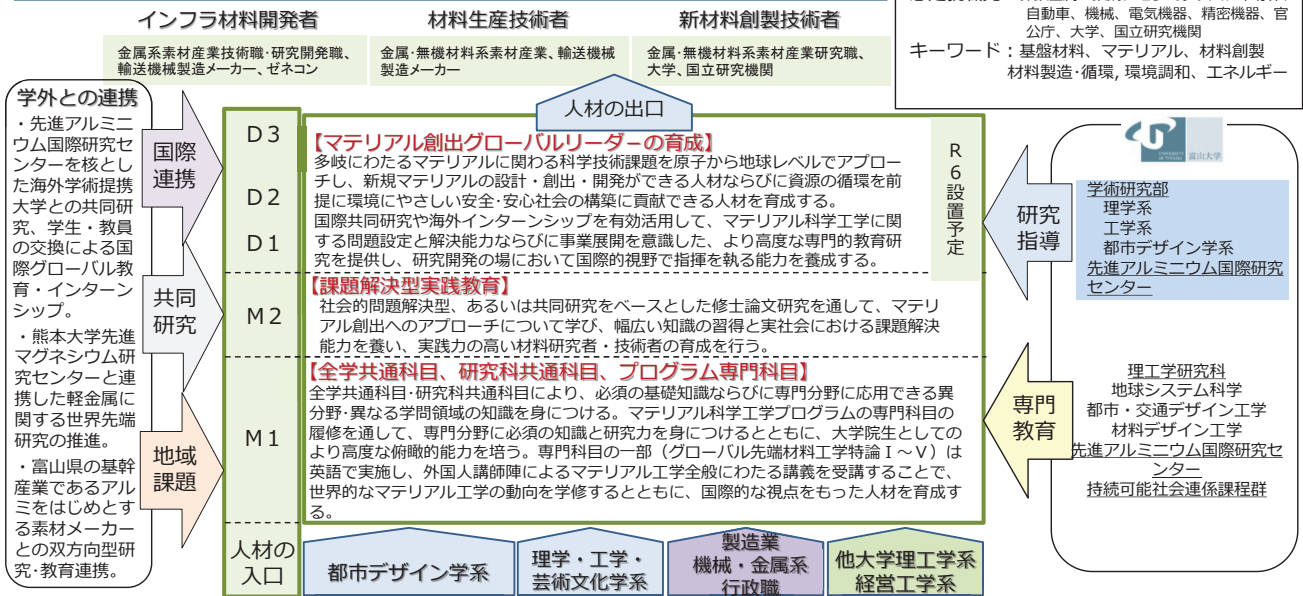
イノベーションを通して地域産業の活性化と地域の人々の幸福度を向上させる人材を輩出するプログラム

- プログラムの概要
 - ・ Society 5.0を見据えた技術の社会実装により、地域産業の活性化に貢献できる電気電子・機械工学系技術者・研究者を輩出
 - ・ 人生百年時代を見据え、イノベーションを通して地域の人々の幸福度を向上させる電気電子・機械工学系人材を輩出
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
 - ・ 医薬理工連携融合教育プログラムであるファーマメディカルエンジニア養成プログラムの実施と修了証明書の授与
 - ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
 - ・ 分野の異なる主旨指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 電気電子工学と機械工学を基盤としたイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム

「人」と「地」の健康」に対して、安全・安心社会を構築する材料研究・エンジニア、マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーを育成する

基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：材料系、素材産業、製造業
想定就職先：非鉄金属・鉄鋼、セラミックス、半導体、自動車、機械、電気機器、精密機器、官公庁、大学、国立研究機関
キーワード：基盤材料、マテリアル、材料創製、材料製造・循環、環境調和、エネルギー



マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーの育成

- プログラムの概要
 - ・ 金属・合金、セラミックス、半導体など、多岐にわたるマテリアルに関わる科学技術について原子から地球レベルの視点でアプローチを行い、「マテリアル」の革新により、AI、バイオ等の先端技術の革新やSociety5.0及びSDGsの達成、環境・エネルギー等の国内外の重要課題の達成を支え、安全・安心な社会形成を目指して地域の経済・社会の発展に貢献し、世界を舞台にして活躍できる人材を育成する。
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 外国人講師陣により専門科目の一部を英語で実施し、年次ごとに深化するグローバル化教育によって幅広い専門知識と国際的な視点を備えた人材を育成
 - ・ 先進アルミニウム国際研究センター及び企業との共同研究を通じた実際の研究ベースの課題解決型の実践的教育の提供。
 - ・ 富山県の基幹産業であるアルミをはじめとする素材メーカーとの双方向型問題解決授業の実施。
- 人と地の健康との関連
 - ・ マテリアル革新力により産業と技術革新の基盤づくりに貢献するとともに、安全・安心に住み続けられる都市インフラを実現する原動力となる。

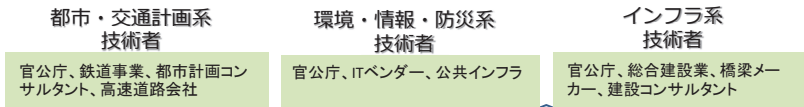


理工学研究科 都市・交通デザイン学プログラムの構想概要

基本情報

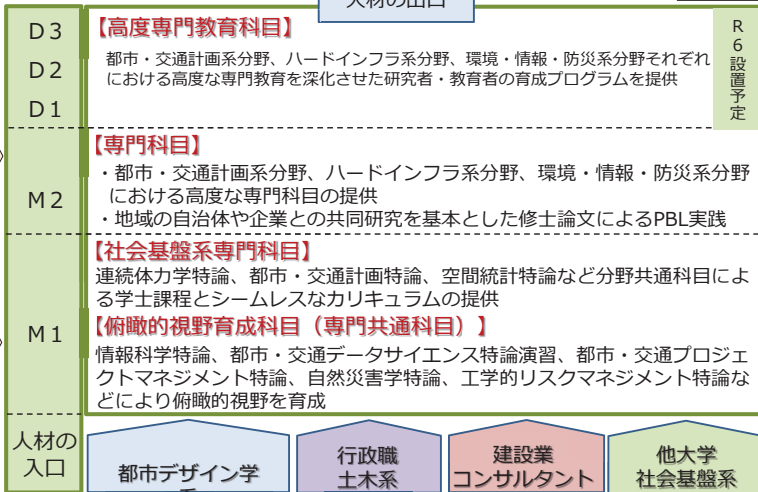
授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：都市デザイン学系、行政職、建設業
想定就職先：官公庁、総合建設業、鉄道事業、高速道路会社、橋梁メーカー、建設・都市計画コンサルタント等
キーワード：都市・地域創生、情報・防災系基盤、実践的デザイン思考、リカレント教育対応

「人」と「地」の健康」に対して、都市・地域創生をリードするスペシャリストを育成する

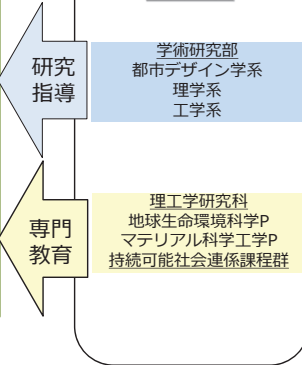


学外との連携

- 共同研究
 - 富山県内の自治体や民間企業との共同研究ベースで取り組む修士研究
 - 所属企業等（社会人入学者）が直面する課題に取り組む修士研究
- 地域課題
 - 先進的都市政策で知られる富山市における中心市街地や中山間地域でのフィールドワークによる課題発見



学内連携



都市・地域創生を導く都市・交通デザイン学のスペシャリストを養成

○プログラムの概要

- 中心市街地から中山間地域の広域における都市と交通に関する課題発見やその課題解決を真に導くことのできる高度な知識、判断力、創造力、感性などを有し、俯瞰的視点と専門的知見を以て都市・地域創生をリードする人材を育成することで、地域との連携を強化する

○プログラムの特色ある教育

- 都市・交通計画系分野、インフラ系分野等の旧来の社会基盤系専門教育に加え、情報学・データサイエンス・防災行動学を重視した専門教育プログラム
- 理工学研究科のプログラム（地球生命環境科学、マテリアル科学工学）、持続可能社会連携課程群との連携による俯瞰的視点育成プログラムの提供
- 先進的都市政策で知られる富山市における中心市街地や中山間地域でのフィールドワーク、共同研究ベースの修士研究による実践的デザイン思考教育・PBLの強化

○人と地の健康との関連

俯瞰的視野と高度な専門知識を以て、社会インフラである（地）とそこで生活する（人）のハード・ソフトの両面から、安全・安心・快適な都市・地域の創生に貢献

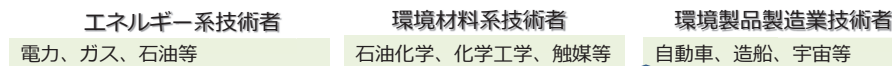


理工学研究科 先端クリーンエネルギープログラムの構想概要

基本情報

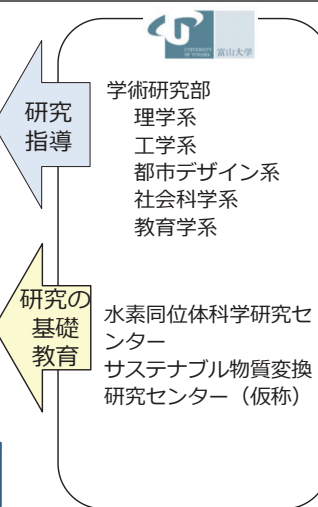
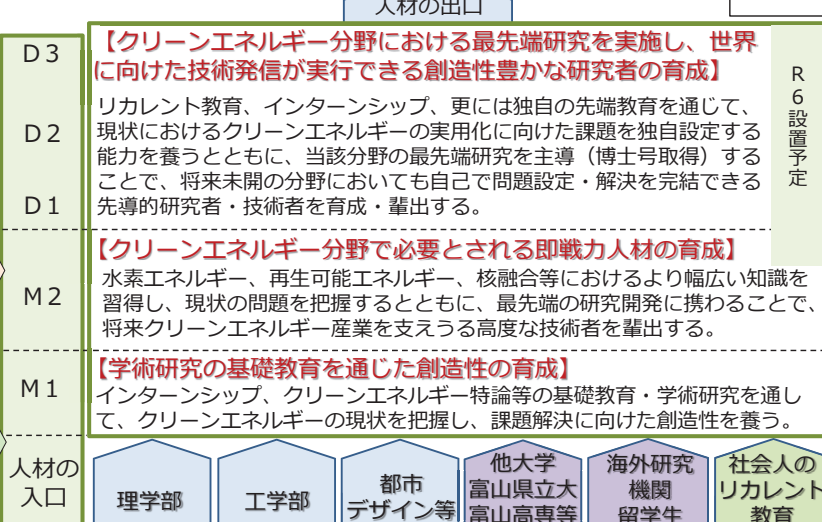
授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
想定進学元：理学系、工学系等
想定就職先：電力、ガス、石油、自動車、触媒等
キーワード：リカレント教育、クアアボを利用した社会人講師の招聘、インターンシップ・就職の斡旋

「人」と「地」の健康」に対し、クリーンエネルギー分野における最先端研究の推進と当該分野に秀でた即戦力となる人材を育成する



学外との連携

- 研究指導
 - 富山県立大学
 - 富山高等専門学校
 - (社会人講師)
 - IT、電力、ガス、石油、触媒、自動車、金属等
- 研究の基礎教育
 - (リカレント教育)
 - (実績) 化学企業、鉄鋼企業、石油企業、電気設備企業、富山県工業技術センターなど
- インターンシップ支援



環境・エネルギーに資する即戦力の人材育成

○プログラムの概要

- 富山大学（とその近隣）の環境配慮型エネルギーの研究者を中心に、学術研究やインターンシップ等を重視した基礎から応用までを網羅した総合的な教育プログラムを行うことで、創造する力を有し、且つ環境・エネルギー分野を担う即戦力の人材を育成する。

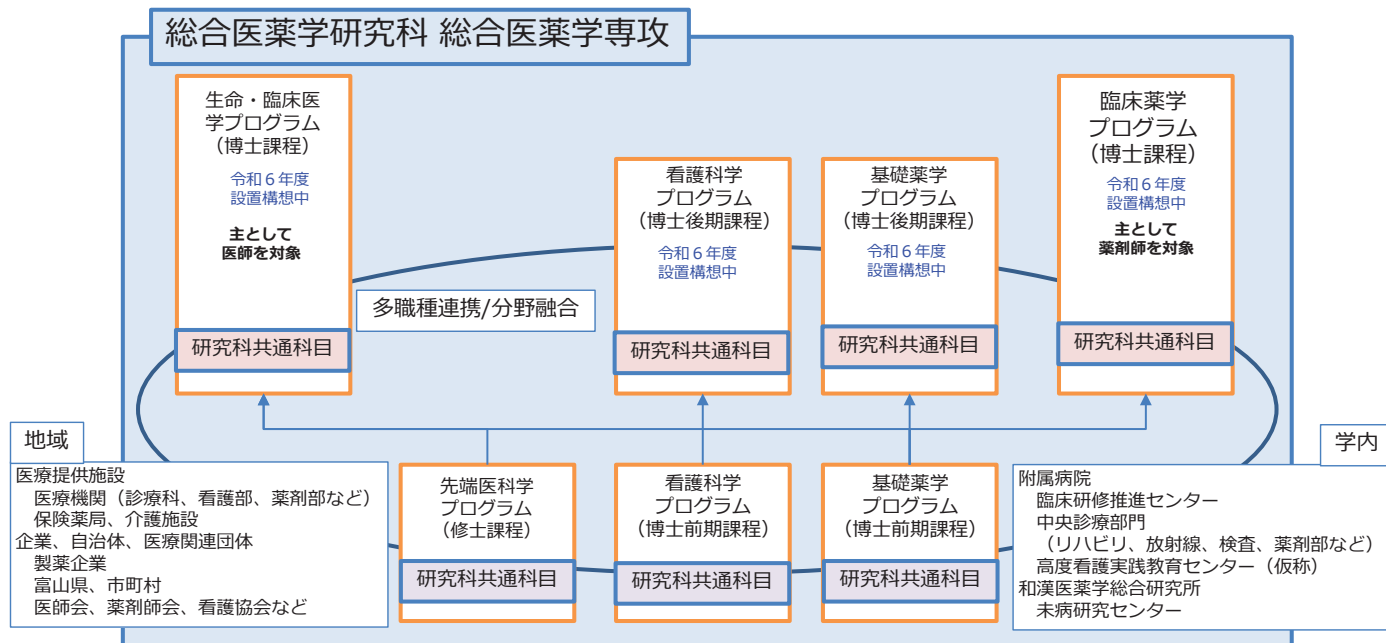
○プログラムの特色ある教育

- 地元企業を含む国内外企業との委託、共同研究の推進
- リカレント教育による知識、技術の習得
- クアアボを利用した社会人講師の招聘
- 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連

- クリーンエネルギー分野における最先端研究の即戦力となる人材を育成

- ・医療における幅広い研究ならびに高度な医療を提供できる人材を養成することを目的として、医学・薬学・看護学共通の科目を設ける。医学、薬学、看護学でそれぞれ実施している授業科目を見直し、大学院共通科目、研究科共通科目などを開設し、**学際的な総合力を育成**する。
- ・大学院改組により、融合型・分野横断的教育を目的として異なる学系分野を背景とする教員が一つの組織で大学院教育を実施することから、教員間の研究情報共有が進み新たな共同研究が生まれる可能性が高まり、その共同研究に大学院生が参加することで、学生及び教員の実績が活発化する。
- ・医療系という大きな枠の中で融合的・分野横断的な環境の中で学修/研究することによって、**目まぐるしく変化する医療に対する社会的ニーズや研究分野の進歩に対応**できるようになる。
- ・医療従事者（看護師、検査技師、理学・作業療法士、放射線技師、臨床工学士など）は、学部卒業後に一旦医療現場に就職してから大学院に進学するケースが多い。それらのうち、看護師に対しては、看護学学位プログラムにおいて専門看護師CNS コースや診療看護師NP コースを設置し、より高度な看護の実践と教育ができる能力を身につけることができる。また、看護師以外のメディカルスタッフに対しては、医科学学位プログラムを通してそれぞれの分野での臨床問題の解決に向けた研究を行うことができる。
- ・教育や研究の成果を社会に還元し、イノベーションにつなげることでできる人材を育成するために、附属病院や臨床研究支援センターなどと共同して、**社会的ニーズの把握や研究開発と社会実装のプロセスを体験的に学修し、多職種連携や創薬/知財/臨床研究のプロセスなどの包括的な医療的素養**を身に付けさせる。
- ・本改組により、
 - ①AI やデータサイエンス等に基づく病態予測や薬の処方ができる高度な医師、看護師、薬剤師、医学・薬学研究者の養成
 - ②医薬品の物性、体内動態、作用機序等が理解できる「薬学的素養」を身に付けた修士/博士（医学、看護学、医科学）の養成
 - ③病気を深く理解し患者に寄り添うことのできる「医学的素養」を身に付けた修士/博士（薬学、薬科学）の養成
 が可能となり、「進化・深化したプロフェッショナルリズム」を身に付けた医療人・研究者を輩出する。



他職種連携/分野融合を促進する共通科目

研究科共通科目（博士課程）：先端医薬学特論、創薬研究特論、腫瘍医薬学特論、和漢医薬学特論、エンドオブライフ学、統合医療ケア学
 研究科共通科目（修士課程）：臨床統計学基礎、臨床薬理学、病態生理学、心身健康科学、臨床研究計画法、公衆衛生学特論、研究倫理・研究方法論
 * 上記科目を含む講義形式の授業は、社会人入学（リカレント）を考慮して、e-learningとウェブによる双方向性クラス形式で行う

総合医薬学研究科は各プログラムの出口が比較的明瞭であるため、多職種連携並びに分野融合を目的とした共通プログラムや教育体制、さらに学内並びに学外との連携を深めることで、医療に関する実践的な多職種連携とイノベーションに繋がる包括的な医療的素養を身につけた医療人の輩出を目指す。

医学・薬学・看護学分野における基盤的研究の深化とこれら分野間の連携・融合の更なる強化を図り、医学・薬学・看護分野の枠組みを超えて協同するため、医学・薬学・看護学分野を包括する医学薬学専攻を1専攻として組織し、専門分野（医科学、看護学、薬科学、医学、薬学）ごとに学位プログラムを設ける。

先端医科学プログラム（学位：医科学）

医薬看の分野横断的な専門知識と研究倫理を学び、幅広い医療の先端的知識と研究能力を基盤として、本学が目指す「人」と「地」の健康」に医科学人材として貢献できる専門職医療人、医科学研究開発人材を育成する。

本プログラムの教育により、専門職医療人(臨床検査技師、理学療法士など)、医科学研究開発人材(創薬、臨床治験、企業等)を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、現職の専門職医療人等を受け入れて、能力向上を図る。

看護科学プログラム（学位：看護学）

現代社会の多様な要請に応えるために、**看護学専門領域における研究や学際的知見の成果を総合的に活用して、保健・医療・福祉の分野で活躍できる高度医療専門職業人又は教育研究者を育成**する。

本プログラムの教育により、看護師指導者、保健所等行政機関における指導者、看護教育・研究者を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、専門看護師CNS コースやナースプラクティショナーNPコースを設け、看護師としての高い専門性を身に付けさせる。

基礎薬学プログラム（学位：薬科学）

幅広い知識を基盤とする高い専門性と、医学的素養を含む豊かな創造力、人間尊重の精神を基本とする総合的な判断力を培い、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成する。

本プログラムの教育により、企業(製薬企業創薬研究者、MR(製薬企業等の医薬情報担当者)、化学メーカー研究者)、アカデミア(薬学研究者、生命科学研究者)、治験関連(CRA(注 Clinical Research Associate, 臨床開発モニター)、CRO(注 医薬品開発業務受託機関(Contract Research Organization)), CRC(Clinical Research Coordinator, 治験コーディネーター)を社会に送り出す。



総合医薬学研究科 先端医科学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に医科学専門職人材として貢献する

専門職医療人

医科学研究開発人材

医学系博士
課程へ進学

臨床検査技師、理学療法士など

創薬、臨床治験、企業等

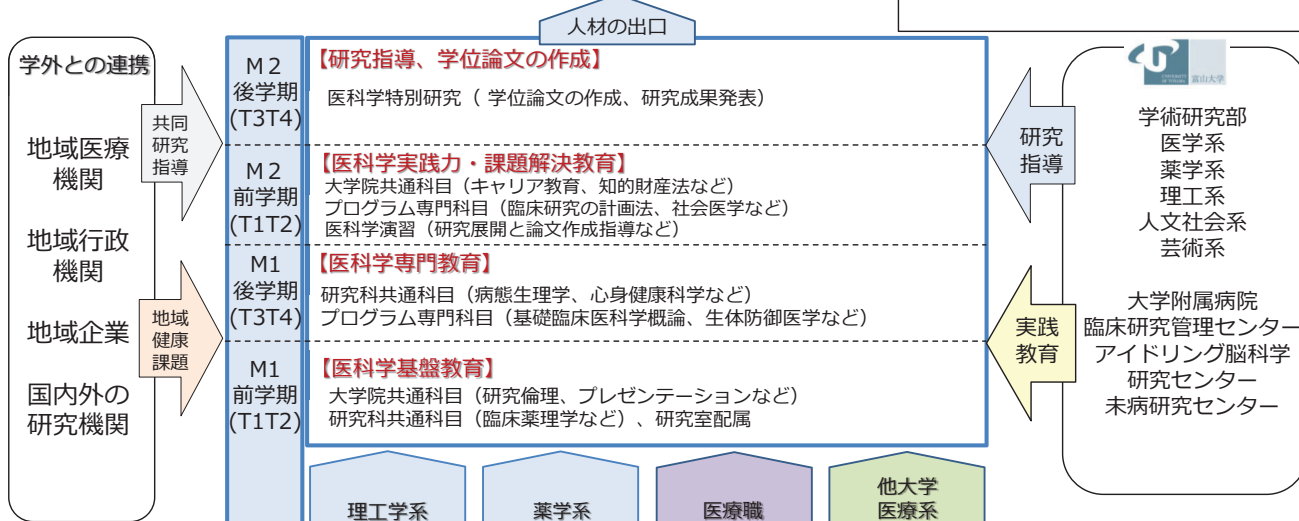
基本情報

授与学位：修士（医科学）

想定進学元：医療系、臨床検査技師、理学療法士

想定就職先：国（医療系）地方自治体（医療系）、医療職、介護職等

キーワード：スキルアップ、リカレント



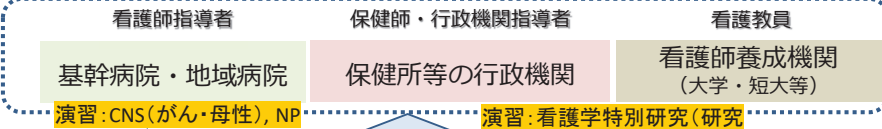
先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

- プログラムの概要
 - ・地域の医療関係職のキャリアアップのニーズに応えるための幅広い医科学の専門知識の学修
 - ・専門的な医科学研究の実践
- プログラムの特色ある教育
 - ・研究基盤力となる全学共通科目の履修
 - ・臨床現場（附属病院、臨床研究管理センターなど）からの実践的な講義、実習
- 人と地の健康との関連
 - ・地域で活躍する医療専門職、コメディカル、医科学研究者として人と地の健康に貢献する。



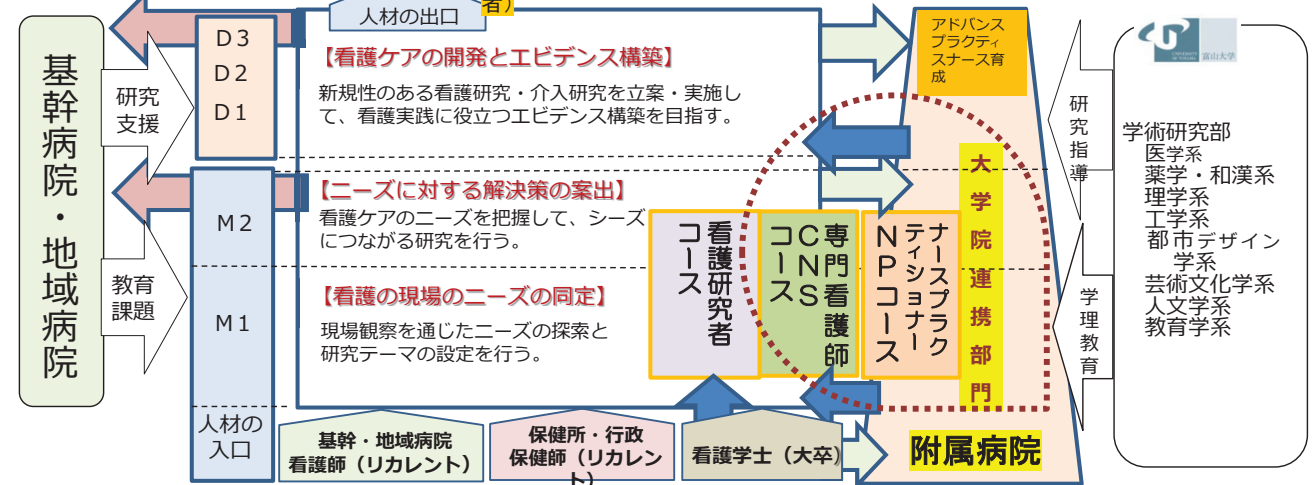
総合医薬学研究科 看護科学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康に関わる看護ケアの専門職として社会に貢献する。



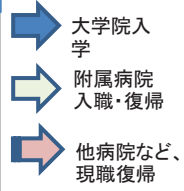
基本情報

授与学位：修士（看護学）、博士（看護学）
 想定進学元：基幹病院、地域病院、保健所、行政機関、大卒（学士）
 想定就職先：基幹病院、地域病院、保健所、行政機関、看護師養成機関
 キーワード：リカレント教育対応、看護研究者、専門看護師（CNS）、ナースプラクティショナー（NP）



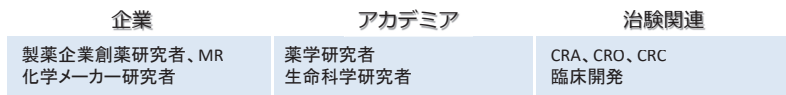
“人”の健康を増進し、社会支援につながる看護ケアの創造とそのための人材育成

- プログラムの概要
 - ・附属病院の中に**大学院連携部門**を設置し、連携して社会支援につながる実践的な看護ケアの人材育成を行う。
- プログラムの特色ある教育
 - ・看護研究者（新卒者・リカレント対応）、専門看護師（CNS/がん看護・母性看護領域）、ナースプラクティショナー（NP）の3つのコースを整える。NPコース（新設）は、慢性期領域のAdvance Practice Nurse育成から始め、急性期領域へ拡充する。CNSおよびNPコースは看護師経験5年目以降の者が対象となる。
- “人と地の健康”との関連
 - ・看護領域は「人の健康」に直接かかわる領域であり、看護ケアの専門職として社会に直接貢献する。



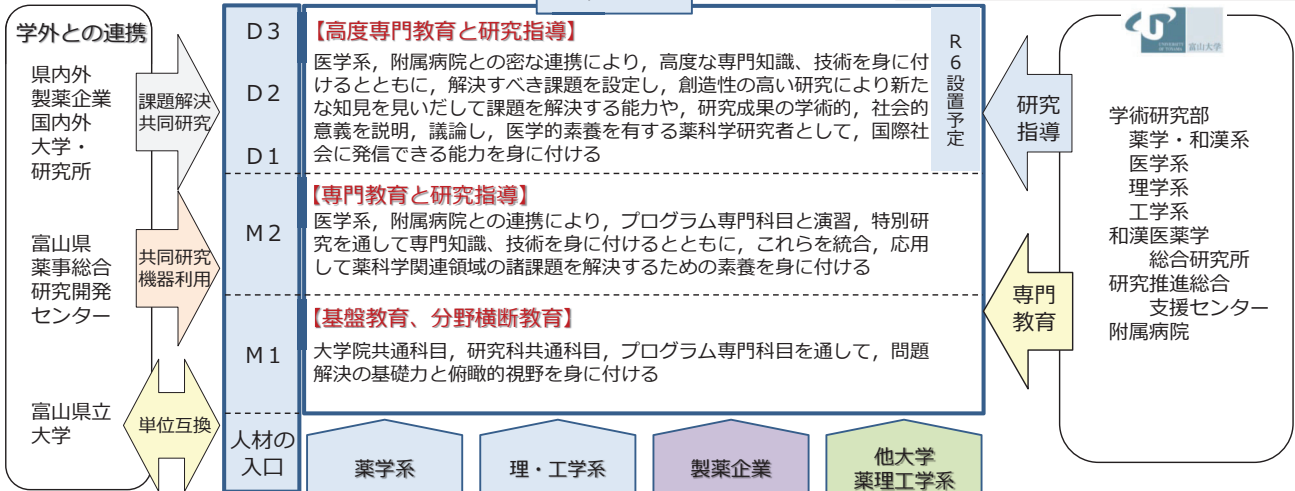
総合医薬学研究科 基礎薬学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に最先端の薬科学研究を遂行できる人材の育成により貢献する



基本情報

授与学位：修士（薬科学）
 博士（薬科学）
 想定進学元：薬学系、理学系、工学系、製薬企業
 想定就職先：製薬、化学関連、治験関連、アカデミア等
 キーワード：創薬富山



創薬科学、生命科学研究から人々の健康と将来を支える

- プログラムの概要
 - ・薬科学分野の幅広い知識、高い専門性と、人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力、総合的な判断力を養成
 - ・医学的素養を有する薬科学研究のスペシャリストとして高度な社会的要請に応える人材を育成
- プログラムの特色ある教育
 - ・医学系、附属病院との連携を活かしたプログラム専門科目、薬科学関連領域の諸課題に対する柔軟な対応力の養成、臨床医学的視点の涵養
 - ・博士後期課程では海外留学（ダブルディグリープログラム）や国際学会発表を推進
- 人と地の健康との関連
 - ・薬科学及び学際的領域の最先端研究を遂行する研究者・教育者・技術者を育成して人々の健康に貢献

富山大学の特徴と強みである「創薬・製剤」、「和漢医薬学」、「脳神経科学」及び「メディカルデザイン」分野は、分野横断・融合的であるものの、特定の研究科・専攻等だけの教育に留まり、十分な教育体制であるとは言い難かった。そのため、総合医薬学研究科と理工学研究科が緊密に連携することにより、これら4分野の研究科等連係課程を新たに設ける。

創薬・製剤工学研究科連係課程（学位：薬科学）

理学・工学の化学的・生物学的な素養に加え、**医薬品開発・製剤の基礎**を身に付け、**医薬品開発の基礎から臨床応用まで幅広く学修し、製薬企業において即戦力として活躍できる人材を育成**する。

本課程の教育により、製薬企業の創薬部門における医薬品設計や製剤開発研究部門における製剤設計を担当できる研究者、専門的技術者を社会に送り出す。

応用和漢医薬学研究科連係課程（学位：薬科学）

医薬学と理工学の融合的教育により、**和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーション、分子から臓器連関までを網羅した病態解析に関する専門的知識**を身に付け、**俯瞰力、実践力、応用力を持つ人材を育成**する。

本課程の教育により、和漢医薬学研究に基づいた医薬品開発とレギュレーション、未病研究に基づいた健康・医療の創生などを行える薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び審査官（行政官）など、和漢医薬を含めた伝統医薬からの創薬と人々の健康維持、並びに学術研究の進歩に貢献できる人材を社会に送り出す。

認知・情動脳科学研究科連係課程（学位：神経科学）

脳科学研究分野における**基本的な情報収集、論理的思考、情報発信、英語論文の基本的な理解と概説、研究内容について他者との議論が**でき、**研究を支える基盤的能力を有し、同分野における知識や論文内容について理解し、他者と議論できる学識を身に付け、かつ専門研究分野の学会などにおいて、情報収集、議論、情報発信ができる専門的な学識を有し、生命倫理・研究者倫理を身に付け、社会規範に沿った適切な行動が取れる倫理観を有する人材**を養成する。

本課程の教育により、製薬企業で創薬、臨床試験等を担う医薬品開発者を社会に送り出す。

メディカルデザイン研究科連係課程（学位：医工学）

基礎から臨床・社会実装に至る幅広い観点から医学・福祉・看護学・理工学等の基礎的な考え方と知識、疾病の予防・病態解明・診断・治療・社会復帰に関する医工学の知識と研究手法を修得し、実践的な研究活動とプレゼンテーション能力を身に付け、医療・福祉の現場と企業を橋渡しして先端的な医療・福祉機器・サービスの研究開発を担うことができる人材を育成する。

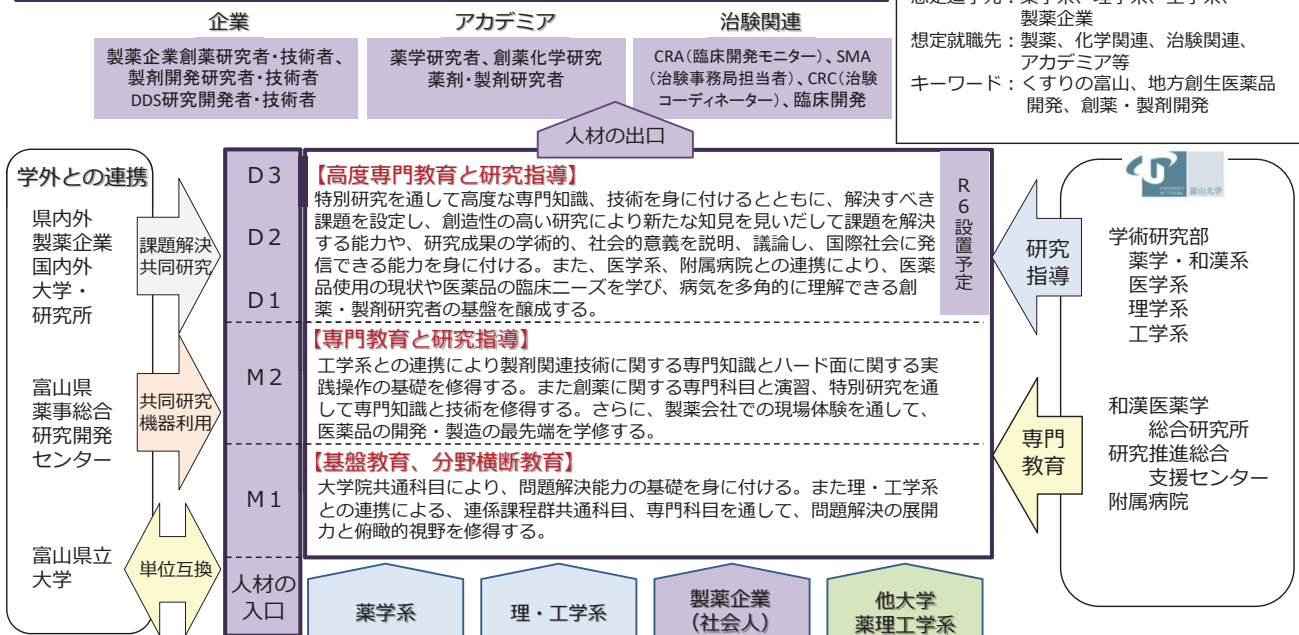
本課程の教育により、ヘルスケア機器メーカーの開発エンジニア、ヘルスケアサービス企業のサービス・ビジネスモデルプランナー、医用・福祉工学の研究者などを社会に送り出す。

医薬理工連係課程群 創薬・製剤工学研究科連係課程の構想概要

「人」と「地」の健康」に創薬・製剤開発の次世代を担う人材の育成により貢献する

基本情報

授与学位：修士（薬科学）
博士（薬科学）
想定進学元：薬学系、理学系、工学系、製薬企業
想定就職先：製薬、化学関連、治験関連、アカデミア等
キーワード：くすりの富山、地方創生医薬品開発、創薬・製剤開発



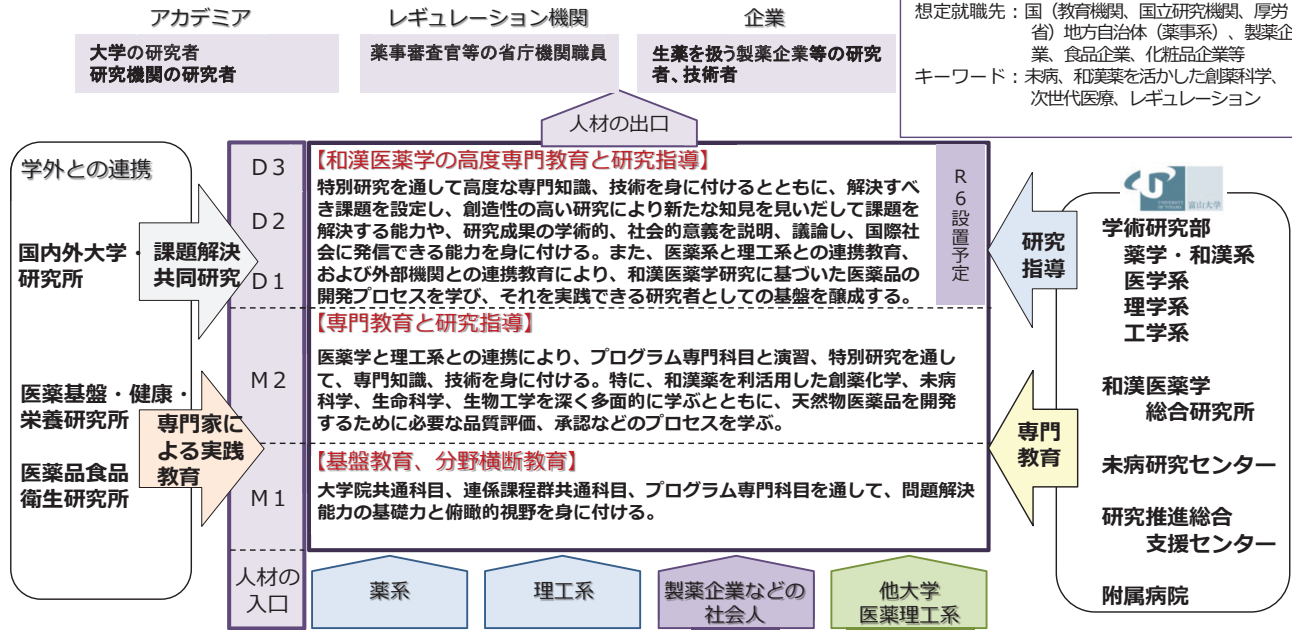
創薬・製剤開発の次世代を担う人材育成からくすりの富山を支える

- 研究科連係課程の概要
 - ・医薬品の開発には、薬を探索、創薬し、製剤化して最終的に臨床試験する必要がある。本連係課程は、医薬理工教員による医薬品研究開発プロセスを学び実践できる特別プログラムであり、疾病を多角的に理解できる**創薬・製剤研究者・技術者**を育成する。
- 研究科連係課程の特色ある教育
 - ・製薬会社のインターンシップにより創薬・製剤開発の実践を身に付けることができ、即戦力の創薬・製剤研究者・技術者を育成
 - ・富山県の製薬会社から社会人として入学できるような柔軟性を持たせたカリキュラム構築
 - ・博士後期課程では海外留学（ダブルディグリープログラム）や国際学会発表を推進
- 人と地の健康との関連
 - 密に連携の取れた個別指導体制と多岐にわたる教育プログラムを通じくすりの富山に貢献できる人材輩出と医薬品開発の実践で人々の健康に貢献

「人」と「地」の健康を支える次世代医療創生に挑戦する人材育成に貢献する

基本情報

授与学位：修士（薬科学）
 博士（薬科学）
 想定進学元：薬学・理学・工学系、製薬企業
 想定就職先：国（教育機関、国立研究機関、厚労省） 地方自治体（薬事系）、製薬企業、食品企業、化粧品企業等
 キーワード：未病、和漢薬を活かした創薬科学、次世代医療、レギュレーション



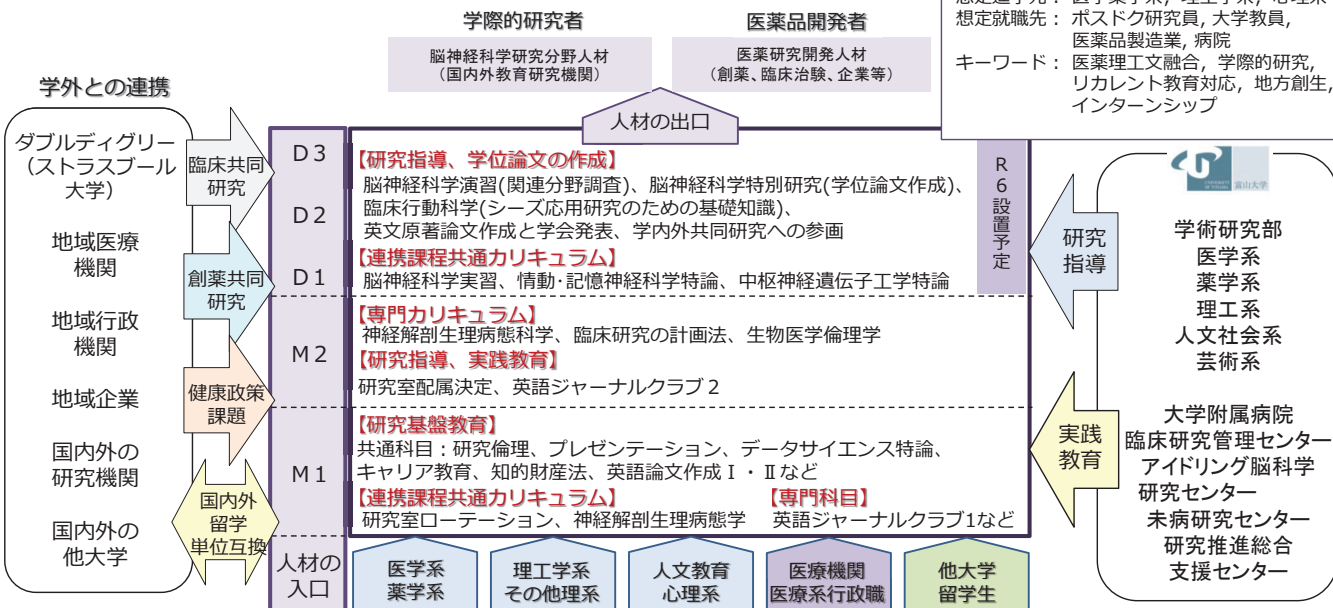
和漢医薬学と理工学の融合による予防と治療を目指した次世代医療創生を担う人材育成

- 研究科連携課程の概要
 和漢医薬学の教育と研究を基盤にし、さらに理学・工学との融合的教育を行うことにより、和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーションに貢献し、健康・医療を担う人材を育成する。医薬学、生命科学、創薬化学、生物工学等の先端技術と知識を学修するとともに、俯瞰力、実践力、応用力を養う。
- 研究科連携課程の特色ある教育
 本課程では、和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーション、分子から臓器連関までを網羅した病態解析に関する特徴ある専門的教育を実施し、疾病の予防と治療を目指した応用和漢医薬学の基礎と実践を学修する。
- 人と地の健康との関連
 未病を含む次世代医療のための和漢薬からの創薬、天然資源の持続的活用、医薬品のレギュレーションを遂行できる研究者、教育者及び技術者を育成することで、人と地の健康を支える。

「人」と「地」の健康に最先端の脳科学研究人材を輩出することにより貢献する

基本情報

授与学位：修士（神経科学）
 博士（神経科学）
 想定進学元：医学薬学系、理工学系、心理系
 想定就職先：ポスドク研究員、大学教員、医薬品製造業、病院
 キーワード：医薬理工文融合、学際的研究、リカレント教育対応、地方創生、インターンシップ



学際的アプローチにより基礎と臨床から発展する脳神経科学

- 連携課程の概要：基礎医学、臨床医学、理工学、薬学、人文社会学など学際的・融合的なアプローチにより、先端的な脳神経科学者を育成する。人間らしさの科学（心の総合科学）の構築を目指し、医薬理工文の教員が集結して教育・研究を行う。
- 連携課程の特色ある教育
 - ・研究テーマに関連する臨床医学的知識習得や現場の見学などを通じて研究を進展させ、また学生のモチベーションを高める
 - ・臨床を含む医学、医薬品や装置の開発を含む薬理工、さらに異なる視点の人文心理系など、多分野の複数教員からの研究指導
 - ・当該連携課程担当教員を副指導とすることで希望するさまざまな学部の卒業研究生の配属を促進し、早期からの研究活動への参加を可能とする
 - ・修士課程で研究室ローテーションを行い、認知・脳神経科学研究科連携課程等での博士課程進学を希望する場合は準備教育で単位の前倒し取得が可能
- 人と地の健康との関連
 - ・分野融合的な教育により基礎研究者が現場のニーズを、臨床研究者が基礎のシーズを把握することで最先端の研究成果を医薬品開発に繋げる

「人」と「地」の健康」にヘルスケア機器・サービスの創造を通じて貢献する

ヘルスケア機器・サービスを創造する人材

医用・福祉工学を推進する人材

ヘルスケア機器メーカーで機器を開発するエンジニア

ヘルスケアサービス企業でサービスやビジネスモデルを開発するプランナー

大学、研究機関で医用・福祉工学を研究する研究・教育者

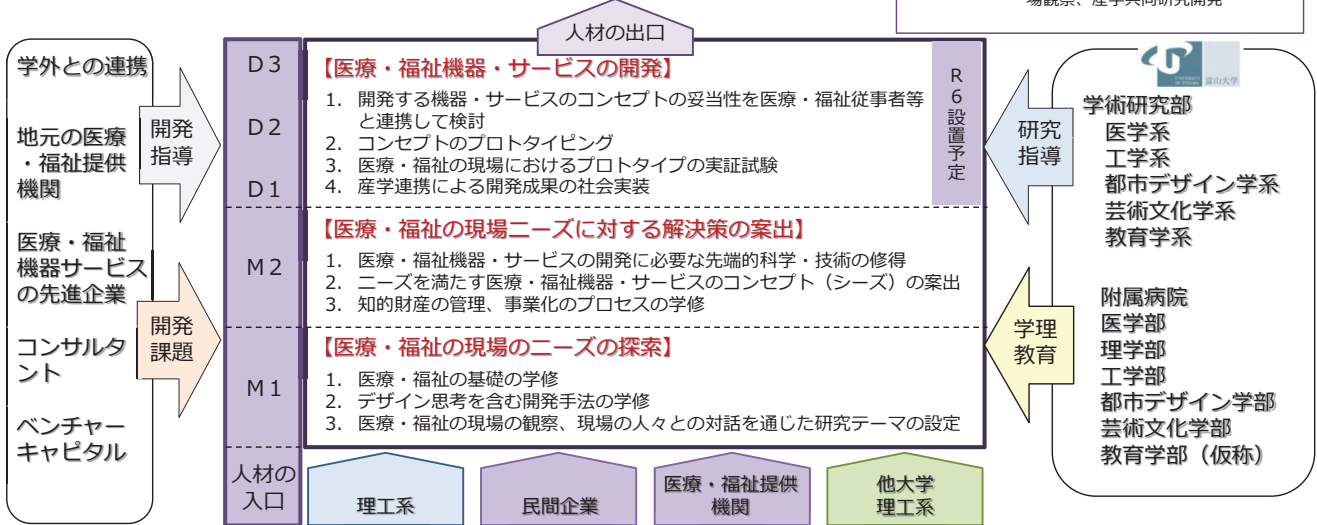
基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）

想定進学元：理工学学部、民間企業、医療・福祉提供機関、他大学理工学系

想定就職先：ヘルスケア機器・サービス企業、医療・福祉提供機関、大学、研究機関等

キーワード：リカレント教育対応、医療・福祉の現場観察、産学共同研究開発



未病を科学し、健康を増進するヘルスケア機器・サービスを創造

○研究科連係課程の概要

・医療・福祉分野の学問的基礎と関連する機械・情報・化学・生物・デザイン等の先端的科学技術を学際的に修得し、生涯現役社会の実現に寄与できるヘルスケア機器・サービスの開発者、研究者を育成する。

○研究科連係課程の特色ある教育

・医療・福祉の現場におけるニーズ探索を通し、真に社会に役立つ研究テーマを設定する。
・社会人大学院生が受講しやすいよう、遠隔・集中講義を充実させ、所属企業等の業務として研究開発を行うことを可能にする。

○人と地の健康との関連

・地元の医療・福祉の現場で見つけたニーズに対する解決策を研究開発し、地元の人々の健康増進に貢献する。

持続可能社会連係課程群の2つの研究科等連係課程

環境、経済、社会の課題は相互に絡み合っており、ひとつの課題に個別に対応するのではなく、ひとつの課題解決が他の課題解決にもつながるような取り組みが必要となる。このような課題解決についての大学院教育は、「専門性」を重視する個々の研究科では実施が困難であり、**文理の枠を超えて総合的・多角的に課題解決ができる人材の育成が必要**である。

「持続可能社会」を実現するためには、ひとつの生活の場である「地域」に加えて「地球規模」でも持続可能なものにしなければならない。富山県は、高低差4,000 mの変化に富んだ自然環境の中に小さな集落や中核市が存在する日本の縮図と言え、持続可能社会を考え、学修するフィールドとして高いポテンシャルを持っている。我が国において解消が進まない首都圏一極集中や高齢化により地方の活力が低下する中、**自らが築いてきた専門性（バックグラウンド）を活かして、データサイエンス、AIを活用して地域課題を解決できる高度人材の育成が必要**である。一方、地球温暖化、海洋汚染、地域間格差の解消、大規模感染症対策をはじめとする、大規模な課題解決には、「地域」、「地球規模」の両方の視点に加えて「国際的」視点を持ち、**様々な課題に対して柔軟に対応し、SDGs達成に貢献していく高度人材の育成が必要**である。

こうした背景から、人芸総合研究科と理工学研究科が緊密に連携することにより、これら2分野の研究科等連係課程を新たに設ける。

文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程（学位：学術）

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決できる能力を養うだけでなく、そこから新しい価値を創造し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。

この課程における教育により、地域の経済・公的機関・産業をデータサイエンスで支えるオールラウンド型の人材を社会へ送り出す。さらに、この課程はリカレント教育を重視し、地方公共団体の行政職や企業に在籍する社会人を受け入れ、地域や在籍企業が直面する実際の課題を修士論文テーマと位置付けて課題を発見・解決する教育を行う。

グローバルSDGs研究科連係課程（学位：サステナビリティ学）

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

この課程における教育により、国内外官公庁、国連・国際NGO等の国際機関、地方自治体、教育機関、多国籍製造業、金融業（ESG投資関連企業）、CSR企業、研究機関において活躍する人材を社会に送り出す。

さらに、この課程はリカレント教育を重視し、研究より知識・技能の習得に重点を置いたスペシャリスト・トラックを設ける。

「人」と「地」の健康」に対し、スマートシティの実現にデータコンサルタントとして貢献できる人材を育成する

地域の経済・公的機関・産業をDSで支えるオールラウンド型

地域の経済を支える人材
総合商社、広告代理店、保険会社、金融機関、サービス産業

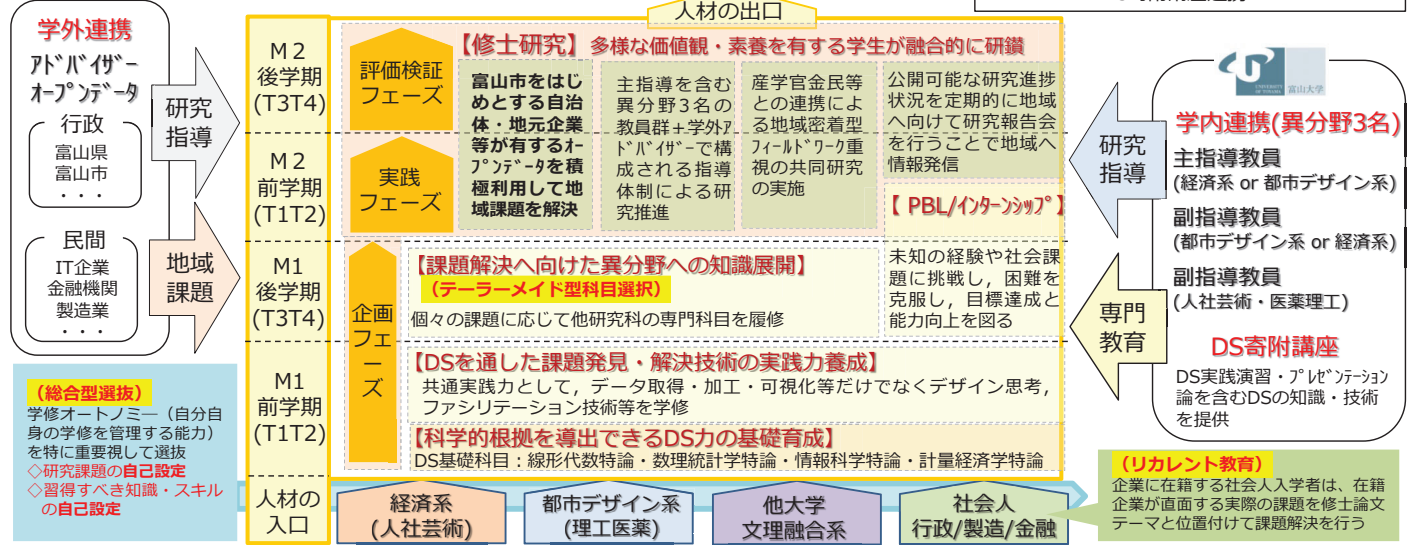
地域の公的機関を支える人材
行政機関(国・県・市町村)、病院・医療機関、インフラ業

地域の産業を支える人材
IT企業、製造業、製菓業、農林水産業

都市・交通デザイン学系博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士(学術)
 想定進学元：経済系、都市デザイン系、他大学文理融合系、社会人
 想定就職先：国(総務省/国交省/環境省等)、地方自治体、コンサル(政策/都市/IT)、保険、IT/IT、旅行等
 キーワード：文理融合、持続可能社会、地方創生、地域課題解決、リカレント教育、DS寄附講座連携



個々の課題に応じたテーラーメイド型学修プログラムによる文理融合型DSジェネラリストの育成

○研究科連係課程の概要
 現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことによる課題発見・解決力と価値創造力を有し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材育成を目指す

○研究科連係課程の特色ある教育

- 研究課題に応じて習得すべき知識・スキルを事前に計画する能力を総合型選抜で精査(入学前に履修モデルを決定)
- 課題に応じて他研究科専門科目を履修するテーラーメイド型学修プログラムと文理融合型の教育研究指導体制
- 富山市と連携し(物流や交通量などのオープンデータの活用)スマートシティの実現に向けた実践的な課題解決型の共同研究を推進
- グローバルSDGsとの連携により、ローカルとグローバルの視点を養成

○人と地の健康との関連
 地域が抱える様々な課題に対して課題解決を導くデータ分析を行うことで、人と地の健康の実現に向けた様々な知見を得る

「人」と「地」の健康」に対して、高低差4,000mの自然環境と共生した中核市富山を舞台に地球持続ビジョンと国際社会貢献志向をもつ人材の育成から貢献する

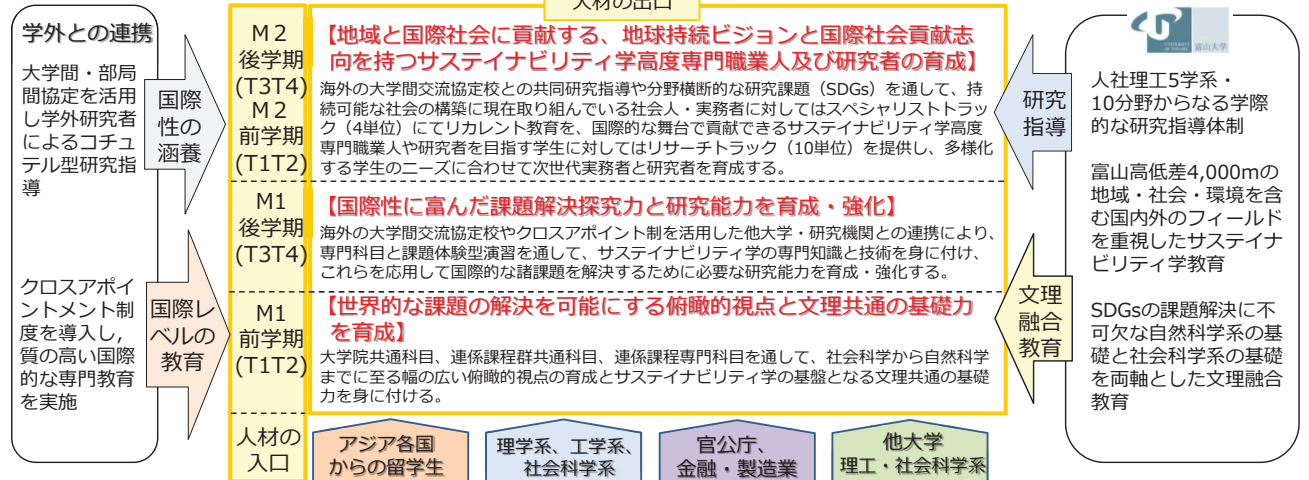
政策立案者・公務員・教育職員
国内外官公庁・国際機関(国連・国際NGO)・地方自治体(国際系)・教育機関

世界の舞台で活躍する企業人
多国籍製造業・環境コンサルタント・金融業(CSR企業・認証制度企業・ESG投資関連企業)

サステナビリティ学研究者
研究者(公的研究機関・民間企業・サステナビリティ学系大学院進学)

基本情報

授与学位：修士(サステナビリティ学)
 想定進学元：理工系、経済経営系、行政職員、金融業、製造業
 想定就職先：国内外官公庁(政策立案)・国連・国際NGO、地方自治体(国際系)、多国籍製造業・金融業、博士課程進学
 キーワード：持続可能社会、文理融合教育、バイリンガル教育、リカレント教育対応



地球規模、地域の両方の視点において、持続可能社会の実現のために課題解決ができる高度人材の育成

○研究科連係課程の概要

- 環境・社会・経済の相互に関連する課題の解決を強く意識した文理融合型教育・研究を通して、持続可能社会の構築に必要な専門知識を修得する
- 持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野「サステナビリティ学」の教育を通して、SDGsの課題解決に貢献できる人材を育成する

○研究科連係課程の特色ある教育

- バイリンガル教育により、学生によっては英語により実施される授業のみで学位取得が可能な教育課程である
- 大学間交流協定校との連携により海外実践演習やコミュニティ型研究指導を実施し、海外の研究者とのPBLを通じてSDGsの課題解決に必要な実践力を養う
- 多様化する学生のニーズに応じ、最先端の研究を重視したリサーチトラックとともに、リカレント教育に特化したスペシャリストトラックを提供する
- 文理融合型社会DSとの連携により、地域が抱える課題にも取り組み、SDGsの課題解決に必要な多様なデータを解析する技術を習得する

○人と地の健康との関連

- 「One Planet, One Health」の理念に則り、科学的根拠に基づいて真に持続可能社会の構築に貢献できる人材を育成する